



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	一、こがねむしニ關スル研究報告(第三)：我國ニ産スルこがねむし及其分布(追加及訂正)(圖版第一乃至第三)
Author(s)	新島, 善直; Niijima, Y.; 木下, 榮次郎 他
Citation	北海道帝國大學農學部演習林研究報告, 4, 1-97
Issue Date	1927-07
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/20613
Type	departmental bulletin paper
File Information	4_P1-97.pdf



演習林研究報告第四卷

一、こがねむしニ關スル研究報告 (第三)

我國ニ産スルこがねむし及其分布 (追加及訂正)

(圖版第一乃至第三)

林學博士 新 島 善 直

林學士 木 下 榮 次 郎

Die Untersuchungen über Japanische

Melolonthiden III.

Erster Nachtrag der

Melolonthiden Japans und ihre Verbreitung.

(Taf. I-III.)

von

Prof. Y. Nijima und Assist.-Prof. E. Kinoshita.

北海道帝國大學演習林研究報告第二卷第二號ニ於テ本邦産ノこがねむし類ヲ記載シタル後新ニ標本ヲ加ヘタルモノ少ナカラズ、從ツテ前ニ未記載ノモノニシテ調査ヲ行ヒ得タルモノアリ、且ツ著者ノ一人新島ハ大正十四年中歐洲ニ旅行シ前報告發表ノ際檢スルヲ得ザリシ文献ヲ調査シ又規範標本ヲ見ルヲ得タルヲ以テ前ニ既往ノ記載ノミニ由リテ決定セシ種類ノ訂正ヲ要スルモノヲ生ジタリ、之ヲ以テ本報告ニハ既知十五種及ビ新種十二個ノ記載ヲ掲ゲタリ。

著者ハ特ニ貴重ナル標本及ビ文献ノ使用ヲ許シ且ツ種々ノ注意ヲ與ヘラレタル マインツ 博物館ノ オーハウス (Dr. Ohaus) 氏及ビ ハルツ ノ モーゼル (Hauptmann Moser) 氏ニ謝意ヲ表ス。

1. びろうどこがね亞科

Sericinae

びろうどこがね亞科ニ就テハ新タニ十三種ヲ調査スルコトヲ得タリ。即チ *Autoserica* 九種 *Sericania* 三種ナリ *Serica* 一種ハチベット (Thibet) 産トシテ知ラレタルモノナルガ朝鮮ニ於テ全ク同一種ヲ同定シタリ。此ノ内 *Autoserica* 中三種ハ新種ニ屬シ四種ハ支那ニ産スルモノトシテ知ラレタルモノナルガ新産地ヲ加ヘ得タルモノ、二種ハ既知ノモノナリ。 *Sericania* ノ二種ハ新種ニシテ一種ハ既知ノモノナリ。此他數種ノ新種ト認ムベキモノアルモ或ハ雄ヲ缺キ或ハ標本不完全ナルヲ以テ他日ノ研究ニ譲レリ。

Autoserica castanea ハアロー氏 (Arrow) ニヨツテ日本ニ最普通ナル種類タルヲ記載セラレタルモ著者等ハ未ダ之ヲ手ニスルヲ得ザリキ、然ルニ大正十五年十月ガードナー氏 (T. R. Gardner) ニヨリ著者等ハ四個ノ *Autoserica castanea* Arrow ノ標本ヲ得タリ (Minnesota 及ビ Mt. Vernon ノ産) 氏ハ此ノ種ノ性質ガあかびろうどこがね *Autoserica japonica* Mots. ニ全ク同一ナルヲ認ムルヤノ疑ヲ存スルコトヲ記セリ。著者等ハ兩種ノ原記載ヲ見ルニ全ク異點ヲ見出ス能ハズ又著者等ノ有スル標本ニ就テ比較スルニ其ノ外部ノ性質ニ於テモ亦雄交尾器ノ構造ニ於テモ全ク差違ヲ認ムル能ハズ故ニ著者等ハ *A. castanea* Arrow ヲ以ッテ *Autoserica japonica* Mots. ノ異名ト認メタリ。

ちべつとびろうどこがね

Serica thibetana Brenske.

Berl. Ent. Zeitschr. 1897, p. 395.

産地 Thibet; 朝鮮 (B. Efremoff)

體長 8 幅 4.5 mm.

體黒褐色、長卵形光澤ナシ。脚褐色光澤アリ。

觸角九節。三個ノ片狀節ハ柄部ヨリ著シク長ク稍ヤ反張ス。

頭部黑色弱キ光澤ヲ有ス。頭楯ハ前方巾少シク狭ク前縁上反シ波狀ニ凹入ス。點刻強クシテ稍ヤ密ナリ。甚ダ僅少ノ毛ヲ存ス。前頭稍ヤ圓味ヲ帶ビ前縁少ク内方ニ灣曲ス。強キ點刻ヲ不規則ニ粗付ス。後頭部ハ略滑カナリ。全然刺毛ヲ缺ク。

胸背板ハ幅廣クシテ短カク細點ヲ密布シ。側縁ニ黃褐色ノ短刺毛ヲ列生ス。中央ニ凹線ヲ有スルコトナシ。

稜狀板ハ長楕形ヲナシ先端鈍ク尖リ微細點ヲ存ス。

翅鞘ハ明カナル線條ヲ有ス。線條ニハ不規則ナル略一列ヲナセル細點ヲ存ス。中間帶ハ幅廣クシテ少ク高マリ上面ニ細點ヲ散布ス。全面ニ毛ヲ生ズルコトナキモ側縁ニ一列ノ小刺毛ヲ存ス。但シ先端ニ之ヲ缺ク。

尾節板ハ密ニ細點ヲ存シ先端ニ近ク小數ノ稍長キ刺毛ヲ存ス。

腹節ハ光澤ナク細點ヲ密布シ各節明カナル一列ノ刺毛列ヲ存ス。

後脚ノ腿節ハ幅廣クシテ光澤ヲ有シ細點ヲ散布シ内縁ニ沿ヒテ一列ノ刺毛列ヲ存ス。

脛節ハ細長ニシテ其端棘ハ外側ノモノ内側ノモノヨリ長ク跗節ノ第一ヨリ僅カニ短シ。

記載ニテハ本標本ハチベツト産本種ニ屬スルモノト認ム。

ほりしやびろうどこがね

Serica horishana Nijima et Kinoshita, n. sp.

Taf. I. fig. 3. (♂) 4. (♀)

產地 臺灣(埔里社)

體長 8.2—11.4 幅 4.3—5.5 mm.

觸角黃褐色ニシテ十節。雄ノ片狀節ハ長クシテ柄部ノ二倍ニ達ス。體長橢圓形茶褐色ニシテ鈍キ光澤アリ。翅鞘赤褐色ニシテ中間帶ハ黑色ノ縱帶ヲナス。全面ニ散生スル淡黃色ノ毛ハ集リテ所々ニ小白斑ヲナス。眼ハ著シク突出ス。

(4)

頭部黒色。細カキ點刻ヲ有シ淡黃色ノ小鱗毛ヲ生ジ其ノ間ニ少シク褐色ノ長毛ヲ混ズ。頭楯黒褐色光澤ヲ有シ前方ニ狹細スルコト無ク前縁少シク隆起シ同幅ナリ。上面細點ヲ密布シ長刺毛ヲ散生ス。前頭トノ會線明ラカナリ。

胸背板黒褐色中央綠黑色ノ光澤ヲ有ス。全面細カキ點刻ヲ密布シ中央線ニヨリ左右相對的ニ黃色ノ小鱗毛ヲ生ズ。側縁前方ニ狹細シ前縁角ハ圓味ヲ帶ビ後縁角ハ直角ニ近シ。刺毛ヲ列生ス。

稜狀板ハ稍々長クシテ鈍ク尖ル。縁邊赤褐色ニシテ細點ヲ有シ小鱗毛ヲ生ズ。中央ノ部ハ黒色ヲ呈シ鱗毛無シ。

翅鞘ハ細ク明カナル數多ノ條線アリ。點刻ヲ列生ス。中間帶ハ隆起シ黒色ヲナス。上面淡黃色ノ鱗毛ヲ配列ス。特ニ後部ニ最モ多ク集合スルヲ見ル。雌ニ於テハ鱗毛少シヅツ相集合シテ中間帶上ニ配列シ稍々規則正シキ斑點ヲナス。雄ニテハ中央ヨリ稍々後方及ビ先端ニ近ク斑紋狀ヲ呈ス。側縁ニハ小刺毛ヲ列生ス。

尾節板ハ細點ヲ密布シ中央ニ縱隆線ヲ認メ得。先端ニハ少シク長キ黃褐色ノ毛ヲ生ズ。

腹節ニハ細點ヲ密布シ關節ニ沿ヒテ小鱗毛及ビ僅少ノ長毛ヲ有ス。後腿節ハ細カキ點刻ヲ有シ、中央淡綠色ノ光澤アリ。細毛ヲ列生ス。先端細小ナリ。後脛節細長ニシテ茶褐色ヲ帶ビ荒キ點刻ヲ有シ搔傷ノ如キ刻斑アリ。端刺ハ長クシテ第一跗節ノ二分ノ一以上ナリ。

予等ノ調査セル標本ハ雄二雌二ニシテ何レモ埔里社產ナリ。雌ハ雄ヨリ形大ニシテ翅鞘ノ斑點小ニシテ列狀ヲナシ雄ノ大ナル斑紋ノ位置ニ於テ斜線狀ノ細カキ斑紋アリ。

本種ハ福州香港ニ産スル *Serica nigroguttata* Brenske ニ類似スレドモ觸角ノ關節數ニヨリ區別シ得ベシ。即チ本種ハ雌雄共ニ十節ナルニ彼ニ於テハ九節ナリ。

ちやいろびろうどこがね

Autoserica ovatula Fairm.

Taf. I. fig. 2.

Ann. Soc. Ent. Belg. XXXV. 1891, Compt. rend. p, CXCXV (*Serica*)

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr. XLII, 1897, p. 403. l. c. XLV, 1902, p. 46.

産地 China: Tschifou, Hainan; Korea: Soeul; 朝鮮(李, Gallois), 臺灣(石田)

體長 6,5—7 幅 4—5 mm.

長卵形上下面褐色ニシテ光澤ナク上面絨光アリ。脚ノ脛節及跗節ハ光澤ヲ有ス。

頭楯ハ光澤無ク前方ニ狭クシテ前縁ハ反張ス。點刻ハ互ニ密着スルコトナシ。中央ニ縦隆起アルモ基部ニ近ク消失ス。中央ヨリ前部ニ刺毛點ヲ有ス。前頭部ハ濃色ニシテ微細ナル點刻ヲ散布ス。

觸角ノ片狀節ハ雄ハ柄部ト略同長ニシテ雌ハ著シク短シ。

胸背板ハ前縁ノ中央稍ヤ波狀ニ前出ス。兩側ハ僅カニ圓味ヲ帶ブ基部ハ前方ヨリ僅カニ幅廣シ。側縁ニ列生スル刺毛ハ細クシテ短シ。上面ノ點刻ハ甚小ナリ。

翅鞘ハ線條ノ中央ニ一列ノ明ナル點刻ヲ有シ、其レニ添フテ不規則ニ小點刻ヲ存ス。

中間帶ハ弱ク隆起シ點刻ヲ缺ク。第一帶ハ第二ヨリ幅狭シ。

尾節板ハ稍ヤ尖リ細點ヲ有シ先端ニ近ク刺毛ヲ存ス。上面ノ中央ニ縦隆線ヲ認メ得ベシ。

腹節ハ刺毛列ヲ存ス。

後腿節ハ幅殆ンド同ク細點無ク前端ニ近ク細長ナル小數ノ刺毛ヲ具フ。後脛節ノ端棘ハ第一跗節ト同長ナリ。

調査セル朝鮮及臺灣ノ標本ハ本種ノ原記載ニ比スレバ著シク小形ナリ。即チ原記載ニハ長サ 8—10mm. 幅 4,5—5,5mm. トアルモ此ハ長サニ於テ 7mm. ヲ超ユルモノナシ然レドモモゼル氏(Moser)ハ此内臺灣産ノ一ヲ此種ニ同定シ且ツ記載モ略ホ一致スルヲ以テ此種名ヲ充ツルコト、セ

すすいろびらうどこがね

Autoserica infuscata Moser.

Taf. I. fig. 1.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1915 p. 340.

産地 China: Kiautschou, Korea; 朝鮮京城 (Gallois) 臺灣 (石田)

體長 10,5 幅 6,5 mm.

上面濃褐下面淡褐光澤無ク胸背板ノ側縁ニ近キ部及ビ翅鞘ノ兩側少ク淡色ナリ。

頭楯ハ光澤ヲ有シ稍ヤ粗布セル點刻ヲ存ス。前方ニ幅狹ク前縁反張シ少ク灣入ス。前頭ハ光澤無ク微細點ヲ有ス。

觸角ハ淡褐ニシテ十節ヨリ成ル。雌ハ片狀節柄部ヨリ短シ。原記載ニ由ルニ雄ハ殆ド同長ナリ。又觸角ノ環節九節ヲ認ムルモノアリト云フ。

胸背板ハ細點ヲ有シ兩側縁ハ少ク圓味ヲ帶ブ。前縁角ハ少シク突出シ後縁角ハ略直角ヲナス。側縁ヨリ前縁ニ小數ノ黃褐色刺毛ヲ存ス。

翅鞘ハ線條ニ細點ヲ有ス。中間帶ハ弱ク隆マリ細點ヲ散布ス。

尾節板ハ又細點ヲ稍ヤ疎ニ有ス。先端ニ近ク粗ニ黃色ノ刺毛ヲ存ス。

腹面ハ胸部ノ中央ニ細溝狀ノ線アリ、其兩側ニ刺毛ヲ散布ス。腹節ニハ各一橫列ノ刺毛ヲ存ス。

後脚ノ基節ハ點刻ヲ稍ヤ密ニ存シ其側方ノモノニハ刺毛ヲ有ス。後腿節ハ光澤弱ク後縁ニ添ヒ前方ニ小數ノ刺毛ヲ存ス。後脛節ハ光澤ヲ有シ端棘ハ跗節ノ第一ト略同長ナリ。

本標本ハ ガロア 氏 (Gallois) 採收ノ朝鮮産一個ト石田氏標本臺灣産二個ニシテ原記載ト一致スルヲ以テ之ヲ決定ス。

しなびらうどこがね

Autoserica stridula Brenske.

Berl. Ent. Zeitschr. XLII, 1897, p. 401.

產地 China, Tschefou; 臺灣(富本)

體長 9—10 幅 5,5 mm.

暗褐色ニシテ光澤無ク長卵形ヲナス絨光ヲ有ス脚ハ茶褐色ナリ。

頭楯ハ前方ニ幅狹ク細點相密着セズ前頭部光澤無ク微細ナル點刻ヲ有シ中央ニ細キ縦隆線アリ。

胸背板ハ兩側略平カニシテ前方少シク圓味ヲ帶ブ緣側ニ刺毛列ヲ存ス或ハ此刺毛甚少シ。上面ニ甚微細ナル毛ヲ存ス點刻細小ナリ。

翅鞘ハ線條上ニ密ニ不規則ニ點刻ヲ有ス。中間帶ハ狹クシテ少ク隆起ス。點刻小ニシテ細短毛ヲ具フ緣毛ハ密ニシテ短シ。

尾節板ハ幅廣クシテ稍ヤ瘤狀ニ隆起シ、前方鈍ク尖ル。中央僅カニ縦隆起ヲ存ス。

腹節ノ刺毛列ハ甚ダ強シ。

後腿節ハ平タクシテ前部著シク狹搾セズ。光澤ナシ後緣先端ニ近ク僅カニ灣入ス。凡ソ九個ノ刺毛ハ明カナリ。前緣ニ僅少ノ毛ヲ存ス。面上ニ點刻ナシ。後脛節幅廣ク點刻ナク外側ニ三棘刺群ヲ存ス。端棘ハ第一跗節ト同長ナリ。

觸角ノ片狀節ハ柄部ヨリ僅カニ長シ。

此種ハ支那ニノミ知ラレタルモノナルガ又臺灣ニ産スルコトヲ知リ得タリ。

てうせんかほいろびろうどこがね

Autoserica cariniceps Moser.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1915, p. 341.

產地 Korea; 朝鮮

體長 10 幅 5,5 mm.

體暗褐色ニシテ光澤無ク絨光ヲ有シ最モヨク前種ニ似ル然モ體ノ點刻及ビ雄交尾器ノ構造ヲ異ニス。

前頭ノ前部ニ點刻ヲ散布シ後部ニ黃色刺毛ヲ存ス。

觸角ノ片狀節ハ雌雄共ニ柄部ヨリ短カシ。

胸背板ハ前緣角少シク突出シ、側緣ヨリ前緣ニ刺毛狀ノ黃毛ヲ存ス。

翅鞘ハ線條ニ不規則ナル密點ヲ存シ中間帶ハ少シク隆起シ甚タ僅カニ點刻ヲ散布ス。

尾節板ハ散點ヲ有シ其後方ニ長キ毛ヲ散生ス。

下面ノ胸部ニ刺毛ヲ存シ腹部ニハ散生セル刺毛アリ。

後腿節ハ光澤ナク前緣ノ後方ヨリ後緣ニ斜線狀ノ刺毛列アリ脛節ハ光澤アリテ共ニ甚シク幅廣カラズ。

たいなんびろうどこがね

Autoserica laboriosa Brenske.

Taf. I. fig. 5.

Berl. Ent. Zeitschr. XLII, 1897. p. 399, 401.

產地 China: Kiukiang; 臺灣,臺南(石田)

體長 8,5—9,5. 幅 5,8—6 mm.

體黑褐色下面僅ニ色淡シ光澤無ク甚タ弱キ絨光アリ。

頭楯ハ光澤アリテ前方幅狹ク不規則ニ少ク相聯ナレル強キ點刻ヲ有ス。

前頭ハ點刻小ニシテ散在シ小數ノ刺毛ヲ存ス。

胸背板ハ前緣平カニ兩側ハ前方ニ少ク圓味ヲ帶ブ稍ヤ強キ點刻アリテ僅少ノ刺毛ヲ具フ。

稜狀板ハ大形ニシテ前端尖ル尖緣ニ近ク點刻ヲ欠ク。

翅鞘ハ線條ニ一列圓形ノ點刻ヲ稍ヤ密ニ存ス中間帶ノ隆起ハ強カラズシテ線條ト同様ナル點刻ヲ散布ス側緣ニハ短キ黃褐ノ刺毛ヲ存ス。

尾節板ハ圓味ヲ帶ビ鈍ク尖リ點刻細ク先端ニ僅少ノ刺毛ヲ存ス。

腹節ノ刺毛列ハ疎ナレドモ明カニ認メ得ベシ。

後腿節ハ幅廣ク光澤ナク絨光アリ先端ノ前ニ少ク灣入ス刺毛列ハ小

ナルモ明カナリ。後脛節ハ幅廣ク光澤アリテ滑カナリ。小ナル點ヲ散布ス。
外縁ニ二又ハ三ノ棘群ヲ存ス。端棘ハ第一跗節ト同長ナリ

觸角ハ九節ナリ。原記載ニハ九節及ビ十節トス。片狀節ハ雌雄略ボ同形
ニシテ柄部ヨリ短シ。

本種ハ支那ニ産スルトシテ知ラレタルモノナルモ石田氏採收ノ臺灣
産標本三個ハ之ニ當ルモノナリ。

ひだびろうどかね

Autoserica gibbiventris Brenske.

Taf. I. fig. 6.

Berl. Ent. Zeitschr. XLII. 1897, p. 396, 401.

産地 China: Tschang-Yang am Yantsekiang; 朝鮮水原(李鐘晔)

體長 11 幅 6,5 mm.

上面濃褐下面褐色光澤ナク又絨光ナシ。

頭楕幅廣ク縁線弱ク反張ス。大ナル強キ點刻ヲ不規則ニ粗布ス。中央僅
ニ隆起ス。

前頭ハ黑色ニシテ微細ナル點刻ヲ有ス。眼縁ニ僅數ノ褐色毛アリ。

胸背板ハ前縁略平カニシテ前縁角突出シ兩側縁ハ圓味ヲ帶ビ僅少ノ
刺毛ヲ存ス。

點刻ハ小ニシテ微細ナル毛ヲ具フ。

翅鞘ハ線條甚ダ密ニ一列ヲナセル點刻ヲ有シ中間帶ハ略ボ平カニシ
テ一様ニ小點ヲ散布ス。點刻ニハ微細毛ヲ存シ側縁ニハ刺毛ヲ具フ。

尾節板ハ鈍ク尖リ粗ニ散布セル點刻ヲ有ス。

腹節ハ圓味ヲ帶ビ雄ニテハ其先端ヨリ第三節ノ後縁ガ中央ニ於テ隆
起シ少ク襞狀ヲナス。先端ノ一節ハ強ク灣入シ短キ刺毛ヲ有ス。雌ハ記載
ニ依ルトキハ第三節ノ襞狀部ヲ欠キ其部ニ細瘤點ヲ存ス。

後腿節ハ光澤ヲ欠キ幅甚タ廣カラズ刺毛點ハ凡ソ七個アリテ相接近
セズ後脛節ハ又幅著シカラズ外縁ニ二群ノ刺毛點ヲ存ス。端棘ハ第一跗

(10)

節ト同長ナリ。後基節ハ大形ニシテ側縁ニ刺毛アリ。

觸角ノ片狀節ハ雄ニ於テハ大形ニシテ柄部ヨリ長ク雌ハ之ヨリ短カシ。

本種ハ支那ニ於テ知ラレタルモノナルガ又朝鮮ニ産スルコトヲ知リ得タリ。

さいとうびろうどこがね

Autoserica Saitoi Nijima et Kinoshita, n. sp.

Taf. I. fig. 7. Taf. III. fig. 1.

產地 臺灣埔里社(齋藤)

體長 6—6.5 幅 4—4.5 mm.

暗褐色ニシテ上下同色光澤無ク弱キ絨光ヲ有ス。

頭楯著シク光澤ヲ有シ前方ニ狹搾シ前縁反張ス。強クシテ稍ヤ連ナレル點刻ヲ有ス。中央部明カニ隆起ス。刺毛ヲ缺ク。

前頭部ハ光澤無ク微細點ヲ有ス兩側ニ數個ノ刺毛ヲ存ス。

胸背板ハ前縁殆ド平カニ兩側ハ前方ニ少ク圓味ヲ帶ビ前縁角ハ突出ス。點刻小ニシテ細毛ヲ存ス。側縁ニ刺毛列ヲ有ス。

稜狀板ハ稍ヤ大ニシテ尖ル。色少ク淡シ。

翅鞘ハ線條部ニ一列ノ稍ヤ密ニ排列セル點刻ヲ有ス其兩側ニ散點ヲ具フ。第二ノ中間帶幅最モ廣ク隆起弱ク第三ハ幅狹ク隆起強シ中間帶ノ上面ハ點刻ヲ欠キ點刻ニハ明カニ細毛ヲ存ス。側縁ニハ黃褐色ノ刺毛ヲ列生ス。

尾節板ハ鈍ク尖リ點刻ハ細毛ヲ有ス先端ニ近ク小數ノ長毛ヲ存ス。

腹節ニハ短キ刺毛列ヲ存ス。

後腿節ハ光澤無ク内縁ノ灣入甚弱シ列狀ノ刺毛點ハ弱キモ明カナリ。

後脛節ハ光澤アリテ平滑ナリ甚ダ弱キ散點ヲ具フ。外縁ノ刺毛群ハ二個ニシテ端棘ハ第一跗節ト殆ンド同長ナリ。

觸角ハ九節ニシテ雄ハ片狀節柄部ヨリ長ク雌ハ之ヨリ短シ。

雄交尾器ハ第三圖版第一圖ノ如シ。

本種ハ記載ニヨルトキハたいなんびろうどこがね *Autoserica laboriosa* Brenskeニ似ル如キモ其翅鞘ノ構造全ク異ナリ。埔里社北海道帝國大學演習林ニテ齋藤良秀氏採收ノ♂♀二個ノ標本ニ由ル。

たかをびろうどこがね

Autoserica takaoana Niijima et Kinoshita. n. sp.

Taf. III. fig. 2.

產地 阿波、高雄山

體長 10 幅 6—6.5 mm.

上面黒褐又ハ濃褐僅カニ絨光ヲ有ス腹面ハ上部ト同様ノ色ヲナス。

頭楕ハ光澤アリ前縁稍ヤ強ク反張ス點刻小ニシテ密集スルコトナシ。前縁ニ並行シテ鈍ク隆起ス。前方ニ僅少ノ刺毛ヲ存ス。

前頭ハ光澤ナク細微ニシテ殆ンド不明ナル點刻ヲ散布ス。僅少ノ黃色刺毛アリ。

觸角ハ十節ニシテ片狀節ハ雌雄共ニ柄部ヨリ短シ。

胸背板ハ基部ニ幅廣ク前方ニ狹シ前縁角ハ突出シ後縁角ハ略直角ヲナス細點ヲ散布ス。側縁ニハ小數ノ刺毛ヲ存ス。

稜狀板ハ正三角形ヲナシ胸背板ト同様ノ細點ヲ散布ス。

翅鞘ノ線條ハ明カニ細溝狀ヲナシ一列狀ノ細點ヲ存ス。中間帶ハ緩ニ隆起シ略一樣ニ細點ヲ散布ス。側縁ニハ強刺毛ヲ列生ス。

尾節板ハ稍ヤ散在セル細點ヲ有ス。先方ニ近ク僅少ノ刺毛ヲ存ス。

腹節ニハ一列ノ強刺毛ヲ存ス。

後基節ハ稍ヤ強キ點刻ヲ有シ側縁ニ近ク刺毛ヲ存ス。後腿節ハ光澤ナク僅少ノ刺毛ヲ外縁ニ向ツテ斜列狀ニ存ス。後脛節ノ端棘ハ大ナルモ略第一跗節ト同長ナリ。

雄交尾器ハ第三圖版第二圖ノ如シ。

此標本八個ニ就テ見ルトキハ最モヨク *A. infusata* Br.ニ似ルモ翅鞘ノ

點刻ニ於テ全ク異ナルヲ認メ得ベシ。

すじびろうどこがね

Autoserica Uyei Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. I. fig. 8, Taf. III. fig. 3.

產地 大分

體長 10—10,5 幅 6,5 mm.

黒褐色ニシテ光澤ナキモ翅鞘ノ中間帯ノミ光澤アル線條ヲナス。

頭楯ハ光澤ヲ有スルモ前頭ノ會線ニ接シテ潤濁ス。前縁ニ向テ幅狭ク前縁反張シ少ク灣入ス。中央部少ク隆起ス。點刻前方ニ粗大ニ後方ニ微小ナリ。前頭部ハ光澤ナク微細ナル點刻ヲ有ス。會線ハ内方ニ灣曲シ甚ダ不明ナリ。眼ニ接シテ數個ノ褐色刺毛ヲ列狀ニ具フ。

胸背板ハ底部幅廣ク前方ニ向テ次第ニ狹細ス。前縁僅カニ前出シ兩側縁角ハ突出ス。兩側縁ヨリ前縁ニ強キ褐色刺毛ヲ存ス。點刻微細ナリ。

稜狀板ハ正三角形ヲナシ微細ナル點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ幅廣キ光澤ナキ窪ミタル線條ヲ有ス。條上ニハ密ナル略不規則ナル三列ヲナセル點刻アリ。中間帯幅線條部ヨリ狹ク光澤アリ。僅少ノ細點ヲ存ス。側縁ニ強キ刺毛ヲ有ス。

尾節板ハ鈍ク尖リ少シク圓味ヲ帶ブ。點刻細微ニシテ縁ニ添ヒ少シク刺毛アリ。

胸部ノ中央線ノ兩側ニ刺毛ヲ列狀ニ存ス。

腹節ハ列狀ノ刺毛點ヲ有シ先端ノ節ハ多クノ毛ヲ存ス。

觸角十節ニシテ雄ノ片狀節ハ柄部ヨリ長ク雌ハ短シ。

後脚ノ腿節ハ光澤ヲ有シ僅カノ細點アリ。前端ニ向テ僅カニ灣入ス。刺毛點ハ密接セズ。後脛節ハ幅廣ク外縁ニ二ノ刺棘群ヲ有ス。端棘ハ第一跗節ヨリ少ク短シ。

雄交尾器第三圖版第三圖ノ如シ。

本種ハ大分ニ於テ上添治氏ノ採收セル標本四個ニ由リタルモノナル

ガ外見ハ *A. stridula* Brenske ニ似ルモ其翅鞘ニ於テ全ク異ナレリ。

くろちやいろこがね

Sericania fuscolineata Mots.

Taf. I. fig. 9.

Schrencks Reisen Amurland II. 2. 1860, p. 136, t. 9, f. 10.

Brenske, Berl. Ent. Zeitschr. 1897, p. 384; l. c. 1902, p. 42

Reitt. Verh. Nat. Ver. Brünn. XL, 1901, p. 139

産地 Ostsibirien, Amurland, Korea, Japan: Yokohama, Chuzenji; 高雄山, 中禪寺 (Gallois.)

體長 8—10 幅 4.5—5 mm.

強キ光澤アル褐色翅鞘ノ隆起アル中間帶稍ヤ黑色ヲ帶ブルモノアリ。
上面ニ全ク毛ヲ有セズ。

觸角ハ片狀節雄ニアリテ柄部ヨリ長ク雌ハ著シク短カシ。

頭楯ハ前方ニ幅狹ク側縁及ビ前縁反張ス。點刻ハ疎ナリ。前頭トノ會線ハ稍弱シ前頭ハ中央ニ隆線ヲ認メ得ベク點刻ハ不規則ニ散布ス。後頭部ノ點刻ハ前頭部ヨリ小ナリ。

胸背板ハ前方ニ幅狹ク前縁角突出ス。上面ノ中央少シク縦ニ凹ム點刻ハ稍強キモ密布セズ。側縁ニ甚ダ僅少ナル刺毛ヲ存ス。

稜狀板ハ長形ニシテ中央ヲ除キ密ニ點刻ヲ有ス。

翅鞘ノ線條ハ幅廣クシテ密ニ不規則ナル點刻ヲ有ス。中間帶ハ濃色ニシテ殆ンド點刻ヲ有セズ。

尾節板ハ細點ヲ散布ス。後縁ニ沿ヒテ僅少ノ刺毛ヲ存ス。

腹面ニハ一樣ニ密布セル細點刻ヲ有シ刺毛列ヲ缺ク。

脚ノ後腿節ハ一樣ニ點刻ヲ有シ細長ナル刺毛ヲ一列狀ニ具フ。脛節ハ細ク端棘ハ略同長ニシテ第一附節ヨリ短シ。

ガロア氏採收ノ本標本↑二個♀二個ニ就テ本種ノ原記載ト比較スルニ頭楯ノ前部ニ横隆線ヲ存ストアルモ標本ニテハ不明ナリ。然レドモ他

ノ部分ハヨク記載ト一致スルヲ以テ此學名ニ充當スルモノタルヲ認定シタリ。

つやちやいろこがね

Sericania fulgida Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. I. fig. 59, Taf. III. fig. 4.

產地 中禪寺 (Gallois)

體長 8.5—9 幅 4.5 mm.

黃褐色光澤ヲ有ス腹部ノミ黒褐脚褐色ナリ。

觸角九節雄ノ片狀節ハ四節ニシテ柄部ヨリ甚シク長ク雌ハ三節ニシテ柄部ヨリ短シ。

頭部黑色ニシテ弱キ光澤アリ頭楯ハ前方ニ幅狹ク前縁上反シ少シク灣入ス點刻強クシテ前頭部ノ會線ニ向テ甚シク密布ス殆ド毛ヲ有セズ前頭部ハ中央ニ雄ハ明ナル縦隆線ヲ有シ雌ハ不明ナリ點刻強キモ頭楯ヨリ粗ニ存ス後頭部ハ滑カニシテ點刻ナク光澤強シ。

胸背板ハ黃褐ナルモ中央廣キ斑紋狀ニ濃褐色ヲ帶ブ中央ハ縦ニ鈍ク窪ム強キ點刻ヲ不規則ニ存ス側縁ニ長キ刺毛ヲ列生ス。

稜狀板ハ濃褐色ニシテ長楕形ヲナシ兩側縁ニ沿ヒ稍ヤ密ニ點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ肩部ニ於テ幅狹ク先端ニ廣シ毛ヲ有セズ線條ハ不規則ナル點刻ヲ有シ中間帶ハ稍ヤ強ク隆起シ其上部點刻ヲ缺キ強キ光澤アリ會合線ノ兩側ノ一條ハ濃褐又ハ黒褐ヲ帶ブ。

尾節ハ上面光澤アル濃褐色ヲナスモ先端ノ側縁ニ沿ヒ白霜狀ノ潤濁ヲナス點刻粗ナリ。

腹部ハ暗褐又ハ黒褐ニシテ光澤アリ散布セル點刻ヲ有ス。

後脚ノ脛節ノ端棘ハ同長ニシテ跗節ノ第一ヨリ短シ。

本種ハガロア氏ノ中禪寺採收ノ標本♂♀各一個ニ由リタルモノニシテ *S. fuscolineata* Mots. ニ似ルモ稍ヤ小ニシテ黃褐色ヲナス且ツ雄交尾器

(第三圖版第四圖)ノ構造全ク異ナリトス。

がろあちやいろこがね

Sericania Galloisi Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. I. fig. 58, Taf. III. fig. 5.

産地 中禪寺 (Gallois.)

體長 10 幅 5 mm.

體長形暗褐色ニシテ光澤ナク脚光澤アル褐色ヲナス。

觸角ノ片狀節ハ四節ヨリナリ柄部ト略ボ同長ニシテ内方ノ一ハ短ク他節ノ三分ノ二ナリ。

頭楯濃褐ニシテ光澤アリ兩側縁ト前縁ノ角圓味ヲ帶ブ前縁反張スルモ少シク灣入ス甚密ニ點刻ヲ有ス前頭黑褐中央ニ縦ノ隆線ヲ存ス點刻密ナルモ頭楯ヨリハ稍ヤ疎ナリ。

胸背板ハ幅廣クシテ短ク前縁ノ兩側ハ前方ニ鈍角ヲナシテ突出ス上面ニ鈍キ光澤アリテ強キ點刻ヲ稍ヤ密ニ存ス。

翅鞘ハ暗褐色ニシテ光澤ナク白霜狀ノ尖影ヲ存ス肩ノ位置ニ小隆起ヲ有ス線條ハ廣ク窪ミテ不規則ナル細點ヲ有ス中間帶ハ上面ニ甚ダ僅少ノ細點ヲ具フ全ク毛ヲ有セズ。

稜狀板ハ楯狀ニシテ微細點ヲ存ス。

尾節板ハ光澤無ク細點ヲ密布シ細刺毛ヲ存ス。

腹部ハ胸部ヨリ濃色ヲナシ細點ヲ密布シ刺毛列ヲ存セズ。

後脚ノ腿節ハ僅カニ光澤アリ細點ヲ有ス後縁ニ刺毛列ヲ缺ク脛節ノ端棘ハ跗節ノ第一ヨリ短シ。

本種ハガロア氏ニヨリテ中禪寺ニ採收セラレタル一種ナリ本邦ニ於テ記載セラレタルモノト全ク似タルモノナシ形狀大サハ *S. fuscolineata* Mots. ニ似ルモ之ハ全ク前種ノ如キ光澤ナシ。

其雄交尾器(第三圖版第五圖)ハつやちやいろこがね (*Sericania fulgida* N. et K.)ニ似ルモ甚ダ短大ナリ。

2. こふきこがね亞科

Melolonthinae

本亞科中新種トシテ記載シタルモ研究ノ結果既ニ記載セラレテ異名トスベキモノ下ノ如シ。

Holotrichia pruinosa N. et K. たいわんおほくろこがねハ *Holotrichia lata* Brenske ト改ム。*Lepidiota cratacea* N. et M. しろこがねハ *Cyphochilus insulanus* Moser ト改ム。

前報告後調査シ得タルモノ十二種ニシテ此内六種ハ支那、シベリア等ニ産シタルモノニシテ新ニ我國ニ見出シ得タルモノ、三種ハ新種ニ屬シ、三種ハ既知ノモノナリ。且ツ三屬らじをぶしす *Lasiopsis*, あかちやこがね *Sophrops* 及ビとれまとうです *Trematodes* ヲ加記セリ。

しなかんしよこがね

Apogonia chinensis Moser.

Taf. I. fig. 21.

Stett. Ent. Zeit. 79, 1918, p. 231.

產地 China, (Chang-Yang); 朝鮮京城(李鐘昨)

體長 7.5—8 幅 4.4 mm.

光澤アル黒褐色ヲナス。原記載ニ依ルトキハ黒色、黒褐色又ハ褐色ナリ。頭楕ハ新月形ヲナシ強キ點刻ヲ密布ス。前頭ハ點刻強キモ頭楕ヨリ小ナリ。

胸背板ハ基部ニ於テ長サノ二倍アリ。中央ヨリ少シク後方腫起ス。上面前頭ヨリ更ニ稍ヤ小ナル點刻ヲ密布ス。後縁角ハ稍ヤ圓味ヲ帶ビ前縁角ハ少ク突出ス。

稜狀板ハ中央縦ニ隆起シ其兩側ニ少數ノ小點刻ヲ有ス。

翅鞘ニハ點刻ナキ細キ隆線アリ。點刻ハ胸背板ヨリ大形ナルモ密ナラズ。

尾節板ニハ淡褐ノ細短毛ヲ有スル大形ノ點刻ヲ有ス。

腹面ハ中央粗ニ兩側密ナル點刻ヲ有ス之等ノ點刻ニハ又淡褐ノ細刺毛ヲ存ス。

觸角ノ片狀節ハ柄部ヨリ著シク短シ。

前脛節ハ三齒ヲ有ス其第三ハ小ナリ後腿節ハ幅著シク廣カラズ。

本種ハ支那産トシテ記載サレタルモノナルモ朝鮮産二個ノ標本ニツキモーゼル Moser 氏ノ同定ニヨリ同地ニモ存スルコトヲ知り得タリ。

次ノ種ハ未ダ其ノ標本ヲ得ル能ハズ。

Apogonia Sauteri Moser.

Stett. Ent. Zeit. 79. 1918, p. 232.

產地 Formosa (Anping, Sokutsu)

けいじょうくろこがね

Holotrichia sichotana Brenske.

Taf. I. fig. 10.

Berl. Ent. Zeitschr. XLI. 1896, p. 343.

Reitter, Verh. Nat. Ver. Brünn. XI, 1901. p. 177.

產地 Sibirien, Amurgebiet, Tibet; 朝鮮京城(高木)

體長 16,5—17 幅 8,5 mm.

濃褐色ニシテ上面光澤アリ。下面胸節ニ黃色毛ヲ密生ス。

頭楯幅廣クシテ甚ダ短シ前縁明カニ灣入ス點刻強クシテ稍ヤ粗ナリ。前頭ノ點刻ハ更ニ大ナルモ粗布ス。

觸角ハ十節ヨリ成リ光澤アル濃褐色ニシテ片狀節ハ雌雄共ニ短カシ。

胸背板ハ上面粗大ナル點刻ヲ有ス其前縁ニ近キモノ稍ヤ小ニシテ密集ス後縁角略直角ニシテ側縁ハ中央外方ニ灣曲シ其前部小鋸齒狀切込ヲ存シ褐色毛ヲ生ズ。

稜狀板ハ扁平ナル三角形ヲナシ僅數ノ微小ナル點刻ヲ存ス。

翅鞘ハ會合線及ビ一個ノ稍ヤ明カナル隆線及二三ノ不明ナルモノヲ

有ス點刻粗ニシテ不規則ナリ。

尾節板ハ小ナル點刻ヲ存シ細短毛ヲ具フ雌雄共ニ先端ニ近ク強ク隆起ス。

腹部ハ雄ニ於テ縱壓セラレタル狀ヲ呈ス雌ハ著シカラズ。

雄ノ尾節前ノ一節ニハ基部ノ中央ノ後ニ弓狀ノ張起ヲ存ス。此部ハ平滑ニシテ光澤ヲ有シ此後方溝狀ニ窪ミ點刻ヲ存ス其前ノ一節ハ前縁ニ近ク狹キ溝狀部アリ雌ニテハ尾節腫起シ密ニ細點刻ヲ存ス其前節ハ簡單ナリ。

前脚ハ強キ三個ノ外齒ヲ有シ爪ハ深キ切込ヲ有ス。兩齒略同長、内部ノモノガ他ノ基部ニ直角ヲナシテ生ズルコトナシ。

高木氏採收ノ雌雄二個ノ標本ハ本種ノ記載ニ合スルヲ以テ同定シタリ。

おほちやいろこがね

Holotrichia Titanis Reitt.

Taf. I. fig. 11.

Verh. Nat. Ver. Brünn XI, 1901 (1902)

(Best-Tab. 50), p. 178.

產地 Ussuri; 朝鮮

體長 18,3—22,1 幅 9,8—12,4 mm.

體長橢圓形ニシテ黃褐色、頭部及胸背板ハ赤褐色、翅鞘ハ黃赤色ニシテ光澤アリ。

頭小ニシテ光澤アリ兩眼ノ間ニ横線ヲ有ス前頭大ニシテ強キ點刻ヲ密布ス頭楯幅狹ク又密布セル點刻ヲ有シ前縁角圓ク前縁上反シ中央灣曲ス。

胸背板幅廣クシテ翅鞘ト同一ナリ前縁角ハ直角、後縁角ハ鈍角ヲナシ側縁突出シテ強ク灣曲ス前縁ハ縁リ取ラレ後縁モ亦中央部ヲ除ク外少シク縁リ取ラル上面ノ中央ニ滑カナル縦線アリ、點刻ハ淺ク小形ニシテ中央部ヨリ側縁ニ至ルニ從ヒ密ニ散布ス。

翅鞘ハ後方少シク幅廣ク黄赤色ニシテ光澤アリ會合線ノ外三個ノ縦隆線アレドモ外方ノ二個ハ弱クシテ認メ難シ、中間帶ニハ淺キ點刻ヲ密布ス。

尾節板ハ稍ヤ扁平ニシテ少シク密ニ弱キ點刻ヲ有ス下面胸部ニハ細カキ點刻ヲ有シ黄色ノ長キ毛ヲ生ズ。

腹節ハ弱キ點刻ヲ粗布シ黄色ノ短細毛ヲ生ズ最終節ノ側面ニハ細キ點刻ト長キ毛ヲ有ス前脚ノ脛節ニハ三齒ヲ有ス其ノ第三齒ハ發達シテ長ク伸長ス内面ニハ第一齒及ビ第二齒ノ中間ノ位置ニ對シ一個ノ細長ナル刺棘ヲ有ス後脚ノ跗節第一節ハ第二節ヨリ小ナリ爪ハ大ニシテ中央ヨリ分枝ス分爪ハ太クシテ直角ノ位置ニアリ。

觸角ハ黄褐色十節ニシテ片狀節ハ三節ヨリナリ小ニシテ卵形ヲ呈ス。

本種ハウスリー地方ヨリ記載セラレタルモノナルモ予等ハ掛場、高木氏等ノ京城、水原其他ニテ採取セル多數ノ標本ヲ有ス。

がいれんけうせるこがね

Holotrichia Geilenkeuseri Brenske

Taf. I. fig. 12.

Reitt. Verh. Nat. Ver. Brünn. XL, 1901 (1902)

(Best.-Tab. 50), p. 175.

產地 China; 臺灣(埔里社)

體長 19,2—20,3 幅 9,7—10,4 mm.

體長橢圓形後部幅稍ヤ廣シ黄褐色ニシテ光澤無シ頭部及胸背板ハ暗赤褐色翅鞘ハ赤褐色ナリ體ノ全面僅ニ白霜ヲ被ル。

頭及頭楯ハ一樣ニ細キ點刻ヲ有ス頭楯幅狹ク前緣角ハ圓シ前緣稍ヤ上反シ中央ニ於テ先端僅カニ灣曲ス前頭トノ會線明瞭ニシテ外方ニ弱ク灣曲ス。

胸背板ハ大ニシテ幅廣ク上面微細ナル點刻ヲ密布ス前緣ハ緣リ取ラレ後緣ハ中央部ヲ除ク外又少シク緣リ取ラル前緣角及後緣角ハ共ニ鈍

角狀ヲナシ側縁ノ中央強ク外方ニ灣曲ス灣曲ヨリ前方ノ側縁ニハ小鋸齒ヲ具フ稜狀板ハ赤褐色半圓狀ヲナシ周邊ニ沿ヒ細キ點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ會合線ノ外四個ノ縱隆線ヲ認ムレドモ外方ノ二個ハ明カナラズ中間帶ニハ微細ナル點刻ヲ密布ス。

下面中胸節ニハ長キ黄褐色ノ毛ヲ被リ腹節ニハ細キ弱キ點刻ヲ疎布ス脚ハ赤褐色ニシテ光澤アリ前脚ノ脛節ノ外面ニハ三個ノ齒アリ内面ニハ第二齒ニ對シテ一個ノ棘刺ヲ有ス後脚ノ跗節第一節ハ第二節ヨリ長カラズ觸角ハ十節ニシテ片狀節三節ヨリ成リ長カラズ。

本種ハ支那産ナルガ又臺灣ニ産スルヲ知リ得タリ支那ニ普通ナル一種たいわんちほくろこがねニ似テ稍ヤ小形ナリ。

らじをふしす屬

Lasiopsis Er.

體長形ニシテ立毛ヲ有シ皆光澤アル赤褐色ヲナス觸角九節前頭ニ一皺狀斜線ヲ有ス頭部狹小胸背板ノ底部ニ縁線無ク其前縁ノ縁線ハ全ク不明ナリ爪ハ中央ヨリ後方ニ深キ切込ミヲナス。

ぎーるべるどこがね

Lasiopsis Sahlbergi Mannerh.

Taf. I. fig. 13.

Bull. Soc. Nat. Moscou XXII, 1849, I, p. 239 (*Rhisotrogus*)

Kraatz, Deutsche Ent. Zeits. XXVII, 1893, p. 154

Semen, Bull. Soc. Nat. Moscou (n. s.) XII, 1898, p. 92.

Reitt. Verh. Nat. Ver. Brünn XI, 1901 (1902)

(Best.-Tab. 50), p. 168

產地 Daurien, Sibirien; 臺灣(臺北)

體長 12,6 幅 6,2 mm.

體橢圓形黄褐色頭部及胸部赤褐色翅鞘黄褐色ニシテ光澤アリ。

頭部兩眼ノ間ニ横線アリ前頭ノ點刻強クシテ皺狀ヲナス頭楕幅廣クシテ前縁角圓ク前縁稍ヤ上反ス前縁ノ中央部殆ンド灣曲セズ。

胸背板ハ前縁少シク縁リ取ラル。前縁角稍ヤ突出シ後縁角ハ鈍角ヲナス。側縁ハ中央部外方ニ突出ス。細キ點刻ヲ稍ヤ密ニ散布ス。

稜狀板ハ赤褐色ニシテ三角狀ヲナシ滑カニシテ側縁ニ沿ヒ少シク弱キ點刻アリ。

翅鞘ハ會合線ノ外三條ノ弱キ縱隆線アレドモ外端ノ一條ハ殆ンド表ハレズ。上面甚ダ細カキ點刻ヲ弱ク密布ス。

胸部下面ハ褐色ニシテ黃色ノ柔軟ナル長毛ヲ密生ス。腹節ハ光澤ヲ有シ各節細點ヲ粗布シ最終節ノ兩側ニハ稍ヤ強キ點刻ト長キ毛ヲ有ス。尾節板ハ三角狀ヲナシ弱キ點刻ヲ有シ細毛ヲ粗布ス。

脚ハ黃褐色。前脛節ノ外齒ハ三個ヲ有シ、内側ニハ第一及第二外齒ノ中間ニ對シ一個ノ刺棘ヲ生ズ。爪ハ中央ニ於テ深ク分枝ス。

觸角ハ九節ニシテ片狀節ハ三節ヨリ成リ黃褐色ヲナス。

本種ハシベリヤ地方產トシテ記載セラレタルモノナルガ臺北ニ於テ加藤正世氏採取ノ二個ノ標本ハ全ク原記載ニ當ルヲ以テ之レヲ同定セリ。

たいわんきこがね

Lasiopsis formosanus Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. I. fig. 14, Taf. III. fig. 6.

產地 臺灣(埔里社)

體長 10,3—11,2 幅 5,0—5,5 mm.

體細長形、黃褐色ニシテ光澤アリ。

頭部茶褐色ニシテ小ナリ大ナル圓キ點刻ヲ密布ス。兩眼ノ間ニハ襞狀ノ橫線ヲ有ス。

頭楯幅廣ク前縁上反シ中央ニ於テ少シク灣曲ス。前縁角ハ圓形ナリ上面圓形ノ點刻ヲ有ス。前頭ノ會線直線狀ヲ成ス。

胸背板ハ茶褐色ニシテ光澤アリ。幅廣クシテ長サノ殆ンド二倍ニ達ス。前縁角ハ直角、後縁角ハ鈍角ヲナス。前縁少シク縁リ取ラレ後縁ハ中央部ヲ除ク外少シク縁リ取ラル。淺キ圓形ノ點刻ヲ不規則ニ散布ス。

稜狀板ハ半圓狀ニシテ先端稍ヤ尖ル茶褐色ニシテ光澤アリ。上面平滑ニシテ僅少ノ細點ヲ有ス。

翅鞘ハ黃褐色ニシテ光澤アリ。會合線ノ外ニ三個ノ縱隆線ヲ認メ得ルモ最モ外ニアルモノ頗ル弱シ。

中間帶ニハ弱キ圓形ノ點刻ヲ密布ス。

尾節板ハ三角狀ヲナシ扁平ナリ。表面圓キ點刻ヲ有ス。下面中胸部ニ細キ點刻アリ。黃色ノ細長キ毛ヲ密生ス。各腹節ハ弱クシテ細キ點刻ヲ有シ。黃色ノ短キ細毛ヲ散生ス。

脚ハ黃褐色ニシテ前脚ノ脛節ニハ外側ニ三個ノ齒アリ。第一乃至第二齒ノ中間ニ對シ内面ニ一個ノ刺棘ヲ有ス。爪ハ深ク二分ス。

本種ハ記載ニ由ルトキハ北蒙古産 *Lasiopsis Lederi* Reitt. ニ似ルモ胸背板ニ毛ナキト點刻ノ異ナルヲ以テ區別シ得ベシ。

あかちやこがね

Brahmina excisiceps Moser.

Taf. I. fig. 17.

Deut. Ent. Zeitschr. 1915, p. 136.

產地 China (Ho-chan), Korea (Soeul); 朝鮮(水原)

體長 13 幅 6,5 mm.

濃キ紅褐色ナリ。原記載ニハ黃褐ニシテ頭部及ビ胸背板紅色ヲ帶ブトアリ。

頭楯ハ前緣三角形ニ切込ミ兩側圓味ヲ帶ブ光澤アリテ強キ點刻ヲ散布ス。前頭ハ頭楯ヨリ稍ヤ強キ點刻ヲ存シ會線波狀ヲナス。

胸背板ハ幅廣クシテ短ク兩側緣少シク細カキ切込ヲ存シ短刺毛ヲ具フ。上下緣角ハ稍ヤ直角ニ近ク點刻ハ強クシテ散布ス。兩側ハ稍ヤ密ナリ。後緣ニ列狀ヲナセル短刺毛ヲ存ス。

稜狀板ハ光澤アリ。小點刻ヲ散布ス。

翅鞘ハ稍ヤ強キ點刻ヲ有ス。此點刻ハ二三相連ナルガ如ク見ユ。界線ニ

沿ヘル隆線ノ外尙三個ノ弱キ隆線アリ、隆線上ニハ點刻稀ナリ。

尾節板ハ光澤薄ク點刻弱シ。

胸部ノ點刻ハ中央ニ相ヒ離レ側方ニ密布ス。腹節ノ點刻モ亦中央ニ粗ニ、側方ニ密ニシテ、毛ヲ有ス。

觸角ハ十節ニシテ雄ノ片狀節ハ長形ニシテ柄部ト同長ナリ雌ハ記載ニ依レバ其前ノ五節ト同長ナリ。

前脛節ハ三個ノ齒ヲ有ス。後跗節ノ第一節ハ第二節ヨリ短シ。兩爪ノ齒ハ略同形ナリ。

本種ハ朝鮮ニノミ知ラレタルモノニシテ標本雄一個ハモーゼル氏 (Moser) ノ同定ニ依ル。

りうきうあかちやこがね

Brahmina ishigakiensis Niijima et Kinoshita n. sp.

Taf. I. fig. 18, Taf. III. fig. 7.

產地 琉球(石垣島)

體長 13,8 幅 7,2 mm.

體赤褐色、光澤アリ。上下面共ニ黃白色ノ刺毛ヲ有ス。

頭部黑褐色、前頭ニハ多角形狀ノ大ナル點刻ヲ密布シ黃色ノ刺毛ヲ散生ス。頭楯褐色ニシテ光澤強シ。幅廣クシテ前緣角圓シ前緣上反シ中央殆ンド灣曲セズ。上面網目狀ノ大ナル點刻アリ。前頭ノ會線黑色ヲナシ灣曲セズ。

胸背板幅廣ク圓形ノ細點刻ヲ密布シ黃色ノ刺毛ヲ密生ス。兩側緣ヨリ後緣ニ長毛ヲ多ク存ス。前緣角ハ直角ニシテ稍ヤ突出シ後緣角ハ少シク灣曲ス。側緣ハ中央ニ於テ突出シ著シク灣曲ス。前緣ハ緣リ取ラルルコトナシ。

稜狀板ハ黑褐色ニシテ光澤アリ。半圓狀ヲ呈シ中央ニ若干ノ點刻ヲ有ス。黃色ノ細長ナル柔毛ヲ有ス。

翅鞘亦黑褐色ニシテ光澤アリ。圓クシテ淺キ點刻ヲ有シ全面黃色ノ毛

(24)

ヲ列生シ側縁ヨリ先端ニ長毛ヲ存ス。縦隆線ハ會合線ノ外三條ヲ認メ得レドモ著シカラズ。

尾板節ハ三角狀ヲ呈シ細キ點刻ヲ密布シ黃色ノ細毛ヲ密布スル外ニ少數ノ長刺毛ヲ具フ。先端ノ前部高マリテ稍ヤ突出ス。下面中央部ニハ細長キ黃色ノ毛ヲ密生ス。

腹部ハ各節細キ點刻ヲ散布シ密細毛ヲ存シ且ツ上向セル長毛ヲ略ボ列狀ニ生ズ。

脚ハ黃褐色ニシテ細毛ヲ有シ殊ニ後脚ノ脛節ニハ長毛ヲ密生ス。前脛節ノ外面ニハ三齒ヲ有シ其第一齒ハ小ナリ。内面ノ刺棘ハ第一齒ニ對シテ生ズ。爪ハ先端ニ深ク分枝シ各片直角ヲナサズ。

觸角ハ黃褐色ニシテ十節ヨリ成ル片狀節ハ三節ニシテ雄ハ著シク長ク殆ンド柄部ト同長ナリ。本學教室ニハ平山氏採集ノ雄二個ヲ有ス。

あかちやこがね屬

Sophrops Fairm.

體細長ニシテ圓柱形ニ近ク翅鞘長シ。上面裸狀下面モ殆ンド無毛ナルカ或ハ僅カニ短毛ヲ生ズ。

觸角ハ十節ニシテ片狀節三個ナリ。頭楯幅廣ク前縁角圓味ヲ帶ブ。頭小形。眼ノ後部内縁ハ被覆セラルルコトナシ。爪ハ尖端ニテ分割セラレ其ノ下方ノ大ナル一爪ハ尖端斜狀ヲナス。翅鞘ノ側縁隆起ハ後縁角マデ明ラカニ到達ス。

てうせんあかちやこがね

Sophrops striata Brenske.

Taf. I. fig. 15.

Berl. Ent. Zeits. XXXVII, 1892, p. 112 (*Brahmina*)

Reitt. Verh. Nat. Ver. Bräun XL, 1901 (1902) (Best.-Tab. 50) p. 173

產地 China; 朝鮮(京城)

體長 14.0 幅 6.3 mm.

體細長形茶褐色ニシテ光澤アリ。

頭部小ニシテ四邊形黑褐色ニシテ細點ヲ密布ス頭楯幅廣ク前緣中央ニ於テ強ク灣曲シ前緣角ハ圓形ナリ上面光澤アリテ細點ヲ密布ス。

胸背板ハ大ニシテ幅廣ク前緣角及後緣角ハ鈍角ヲナス側緣強ク灣曲シ小鋸齒アリ上面圓キ小點刻ヲ不規則ニ密布ス。

稜狀板ハ茶褐色ニシテ三角狀ヲナシ僅少ノ點刻ヲ有ス。

翅鞘茶褐色ニシテ光澤強ク縱隆線ハ會合線ニ沿フモノ最モ大ニシテ他三個ヲ認ムレドモ明カナラズ上面多クノ淺キ大ナル點刻ヲ有シ網狀ヲ呈ス。

尾節板三角狀ニシテ稍ヤ大ナル點刻ヲ密布ス下面ハ茶褐色ニシテ光澤ヲ有シ細點刻ヲ粗布ス腹節ノ側面ニハ小毛ヲ散生ス。

脚ハ赤褐色ニシテ前脚ノ脛節ノ外緣ニ三個ノ齒ヲ有シ内面ニハ刺棘ヲ缺ク後脚ノ跗節ハ纖細ニシテ第一節ハ次節ヨリ短カシ爪ハ深ク二分ス。

觸角ハ十節ヨリ成リ片狀節ハ三節ニシテ雄ニテハ長クシテ柄部ト同長ナリ。

原記載ニ由ルトキハ雄ノ觸角ハ片狀節卵形ヲナス如キモ本標本ハ雌ニ於テ卵形ヲナシ雄ハ長シ然レドモ他ノ性質全ク同一ナルヲ以テ本學名ヲ充當シタリ本種ハ元來支那產トシテ知ラレタルモノナルモ茲ニ朝鮮ノ產地ヲ加フ。

はいでんあかちやこがね

Sophrops Heydeni Brenske

Taf. I. fig. 16.

Berl. Ent. Zeits. XXXVII, 1892, p. 108 (*Brahmina*)

Reitt. Verh. Nat. Ver. Brünn XL, 1901 (1902) (Best.-Tab. 50), p. 173.

產地 Korea; 朝鮮(茂朱,京城)

體長 10.2—11.9 幅 4.8—5.7 mm.

體細長形、赤褐色ニシテ光澤アリ。

頭部黒褐色ニシテ前頭ニ細キ點刻ヲ密布ス。兩眼ノ間ニ横線アリ。頭楯赤褐色ニシテ光澤アリ前縁稍ヤ上反ス。前縁角ハ圓形ニシテ前縁中央ニ於テ内方ニ灣曲シ波狀ヲナス。

胸背板ハ赤褐色光澤アリ幅廣クシテ長サノ二倍ニ達ス。上面ニ細點刻ヲ不規則ニ密布ス。前縁角ハ直角ニシテ突出セズ後縁角ハ鈍角ヲナシ側邊ハ外方ニ灣曲ス。

稜狀板ハ胸背板ト同色ニシテ三角狀ヲナシ中央平滑、側邊ニ沿ヒ若干ノ點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ黃褐色ニシテ光澤アリ。會合線ノ外三條ノ縱隆線ヲ認ムレドモ外方ノ一條ハ明瞭ナラズ。中間帶ニハ稍ヤ細カキ點刻ヲ密布ス。尾節板ハ心臟形ニシテ表面ニ圓形ノ點刻ヲ散布ス。

下面胸部及腹部ニハ細カキ點刻ヲ有シ尾節前ノ一節全部及ビ他ノ兩側ニ白霜ヲ被ムル。後胸部ニハ小サキ突起ヲ有シ腹部ノ中央ニハ淺キ縦溝アリ。

脚ハ赤褐色ニシテ前脛節ノ外縁ニハ三齒ヲ有ス。其第一齒ハ甚ダ小ナリ。第一及第二齒ノ中間ニ對シテ内面ニ一個ノ刺棘ヲ有ス。後脚ノ跗節第一節ハ第二節ヨリ小ナリ。

觸角ハ黃褐色ニシテ十節ヨリ成リ、三個ノ片狀節ハ雄ニ於テ長クシテ柄部ト同長ナリ。

とれまとうです屬

Trematodes Falderm.

觸角十節ニシテ片狀節ハ三個ナリ。胸背板ノ前縁ニハ膜狀縁ナク前頭ニハ斜狀ノ隆線ナシ。後胸部ハ甚ダ短カク後基節ハ雌ハ後胸節ト幅同ジキモ雄ハ側方ニ於テ之ヨリ少シク狭シ。後胸ノ側部ハ長毛ヲ有ス。雌雄共ニ翅ヲ缺キ爪ニ齒ヲ有セズ。本屬ノモノハ蒙古、支那、日本ノミニ知ラル。

本屬ノ記載ハ前ニ之ヲ缺キタルヲ以テ茲ニ補フモノトス。

ごみむしもどきこがね

Trematodes tenebrioides Pall.

Taf. I. fig. 19.

Icon. Ins. Ross. 1781, p. 9, t. A, f. 9. (*Scarabaeus*).

Falderm. Mem. Ac. St. Petersburg. II. 1835, p. 373

Cast. Hist. II, 1840, p. 138.

Blanch. Cat. Coll. Ent. I, 1850, p. 148.

Burm. Handb. Ent. IV, 2, 1855, p. 354.

Jacq. du Val, Gen. Col. d' Eur. III, 8, 1860, p. 58, t. 15, f. 75.

Reitt. Verh. Nat. Ver. Brünn XL, 1901, p. 230.

Pallasii Falderm. Mem. Ac. St. Petersburg. II, 1835, P. 373, t. 1, f. 1.

Blanch. Cat. Coll. Ent. I. 1850, p. 149.

Burm. Handb. Ent. IV. 2, 1855, p. 355.

Kraatz, Deutsche Ent. Zeitschr. XXV, 1881, p. 80.

產地 Daurien, Mongolei, China, Japan; 大連

體長 16 幅 8,5 mm.

體短クシテ黒褐色光澤ナク翅ノ隆線不明ナリ。

頭楯ハ幅廣クシテ短ク前縁少ク灣入ス點刻強クシテ密ナリ。

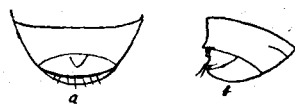
前頭ハ更ニ強キ點刻ヲ有ス會線ハ中央部不明ナリ。

觸角ハ片狀節短クシテ柄部ノ先端ノ三節或ハ四節ハ稍ヤ扁平ナル形狀ヲナス。

胸背板ハ上面甚ダ強キ點刻アリ點刻上ニ細短毛ヲ具フ側縁圓味ヲ帶ビ鋸齒狀ノ切込ヲ有シ黃色ノ刺毛ヲ生ズ前縁ニ密ナル黄褐色毛ヲ細膜狀ニ存ス。

稜狀板ハ短クシテ光澤ナク僅カノ小點刻ヲ存ス。

翅鞘ハ點刻強キモ胸背板ヨリ小ニシテ不規則ニ相聯絡シ又短細毛ヲ具フ側縁前端ニ向テ圓味ヲ帶ブ。



第一圖
ごみむしもどきこがね
Trematodes tenebrioides Pall.
ノ腹部ノ尾節ヲ示ス圖
a. 腹面 b. 側面

尾節板ハ半圓形ヲナシ細短毛ヲ存スル點刻ヲ散布ス。

腹節ノ先端ニ近ク雄ハ第一圖ノ如キ三角形ノ脹起ヲ有ス。

前脛節ハ三齒ヲ具ヘ跗節長カラズ。

予等ノ標本ハ南滿洲大連ニテ採收セル雄一個ナルモ既ニ日本産トシテ知ラレタルモノナルヲ以テ之ニ由ツテ記載ヲナスコト、セリ。

たいわんながちやこがね

Heptophylla formosana Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. I. fig. 20, Taf. III. fig. 8.

產地 臺灣(埔里社)

體長 13,2—14,0 幅 6,4—7,0 mm.

體長橢圓形後部幅稍ヤ廣シ。黃褐色ニシテ光澤無ク上面赤褐色、僅カニ白粉ヲ有ス。翅鞘ノ縱隆線稍ヤ明ラカナリ。

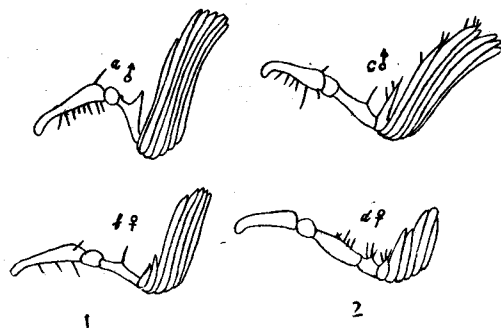
頭部赤褐色ニシテ光澤アリ。頭楯短カクシテ幅廣ク圓味ヲ帶ビ、赤褐色ニシテ強キ光澤アリ。細カキ點刻ヲ密布ス。前縁中央ニ於テ稍ヤ灣曲シ少シク上反ス。前頭トノ會線深クシテ細溝狀ヲナス。前頭ノ點刻不規則ニシテ大ナル圓狀ノモノト微細ナルモノヲ有シ褐色ノ長刺毛ヲ散生ス。

胸背板赤褐色ニシテ幅廣ク長サノ二倍ニ達ス。上面光澤無ク稍ヤ弱キ點刻ヲ有ス。前縁及側縁ニ長キ黃褐色ノ刺毛ヲ生ズ。

稜狀板扁平ニシテ僅少ノ細點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ稍ヤ明カナル四個ノ縱隆線ヲ有シ會合線ニ近キモノ最モ太クシテ明カナリ。表面ニ細點刻ヲ略ボ等距離ニ存ス。側縁ニハ少數ノ細長キ黃褐色ノ刺毛ヲ有ス。

胸部ノ下面ニハ光澤アリ。黃褐色



第二圖 ながちやこがね二種の觸角

1. *Heptophylla formosana* N. et K. たいわんながちやこがね

a. 雄、 b. 雌

2. *Heptophylla picea* Mots. ながちやこがね

c. 雄、 d. 雌

ノ長キ毛ヲ密生ス。前脛節ニハ三個ノ外齒ト内面ニ一個ノ刺棘ヲ有ス。

觸角ハ黃褐色、雄ハ大ニシテ片狀節七節ナリ、其ノ第三節ハ内方ニ著シキ齒狀突起ヲ有シ、大形ニシテ基節ト略ボ同長ナリ。片狀節ノ初メノ節ハ次節ヨリ稍ヤ短カキモ、其ノ長サ三分ノ二ヨリ大ナリ。雌ニアリテハ片狀節七節ヨリ成ルモ、其前ノ二節ハ小形ニシテ片狀部ノ主部ヲ成セルハ五節ナリ。第三節ニハ著シキ齒狀突起無シ。第二圖ハ本種ト本種ニ近キながちやこがねノ觸角ヲ示シタルモノナリ。(ながちやこがねノ觸角ノ圖ハ本報告第五號ニ掲ゲタルモ、雌ノ觸角ニ誤リアリタルヲ以テ茲ニ訂正ス)雄交尾器ハ第三圖版第八圖ノ如シ。

本屬ハ唯一種ながちやこがね (*Heptophylla picea* Mots.) ノ記載セラレタルモノアルノミナルガ、本種ハ之レニ近似スルモ體形稍ヤ大、上面赤褐色ニシテ白粉ヲ有シ、且ツ雄ノ觸角ノ片狀節明ラカニ七節ヨリ成ルコトニヨリ之レヲ區別シ得ベシ。

3. あしながこがね亞科

Hoplinae

前報告ニ記載セザリシあしながこがね屬二種及ビ新ニ我國ニ產地ヲ定メ得タルぢけろもるふあ屬 (*Dichelomorpha*) 一種ヲ加フ。

くろほしあしながこがね

Hoplia aureola Pallas.

Taf. I. fig. 22.

Icon. Ins. Ross. I, 1781, p. 18, t. A, f. 20. (*Scarabaeus*)

Burm. Handb. Ent. IV, I. 1844, p. 190.

Heyden, Horae Soc. Ent. Ross XXIII, 1889, p. 658.

Reitter, Deut. Ent. Zeitschr. 1890, p. 377.

(*duodecimpunctata*) Ol. Entom. I, 1789, nr. 5, p. 84, t. 10, f. 121 (*Melolontha*).

Cast. Hist. Nat. II, 1840, p. 144.

產地 Ostsibirien, Mongolei, China; 朝鮮(京城)

體長 7—8 幅 4 mm.

體ノ上面ニ黃色ノ鱗毛ヲ密布シ胸背板ニ四個、翅鞘ニ十個ノ黑色紋ヲ有ス脚ハ黑色ナリ。

頭楯光澤アル黑色ニシテ小點刻ヲ密ニ存シ上向セル細刺毛ヲ有ス。前頭部トノ會線不明ナリ。前頭ハ黃色鱗毛ヲ密布シ其間ニ黃色刺毛ヲ生ズ。

胸背板ハ兩側前方ニ向テ圓味ヲ帶ビ上面黃色鱗毛ヲ存シ基部ニ近ク二個ノ稍ヤ大ナル黑色鱗毛ヨリナル斑紋ヲ存ス。鱗毛ノ間ニハ上向セル刺毛ヲ多ク生ス。兩側緣ヨリ前緣ニ稍ヤ長キ刺毛ヲ存ス。

稜狀板ハ黑色ノ鱗毛ニテ被覆セラル。

翅鞘ハ基部ニ幅廣ク先端ニ向テ狹シ黃色ノ鱗毛ヲ有シ各側五個ノ黑色斑紋アリ。肩部ノ瘤狀部モ亦黑色ナリ。刺毛ハ胸背板ノ如ク多カラズ。

尾節板ハ黑色ニシテ銀綠色ノ鱗毛アリ。前緣ニ添ヒ僅少ノ長刺毛ヲ存ス。

腹面又尾節板ト同様ノ鱗毛ヲ存ス。

觸角ハ柄部褐色、片狀節黑色ヲ帶ブ。後者ハ短クシテ肥厚ス。

後脛節先端ノ内部ノ角ハ雄ニ於テ著シク雌ニ於テ稍ヤ弱ク牛角狀ニ突出ス。

本種ハ蒙古、シベリア、支那產ノモノナルガ朝鮮京城採收ノ多數ノ標本ヲ得テ此產地ヲ加ヘ得タリ。

本種ハ甚ダ多クノ變種ヲ有シ九州薩摩產ノ變種 *maculata* Waterh. アルモ未ダ之ヲ得ル能ハズ。

らいんあしながこがね

Hoplia Reini Heyden.

Taf. I. fig. 23.

Ber. Senckenberg. Nat. Ges. 1878-79, p. 87.

Deutsche Ent. Zeitschr. XXIII, 1879, p. 339.

Reitter, Verh. Nat. Ver. Brünn XLI, 1902, p. 121.

產地 Japan; 臺灣

體長 7—8 幅 3.9 mm.

體稍ヤ長形ニシテ上面青黃色ヲ帶ベル鱗毛ヲ存シ脚ハ細長ニシテ黃色ナリ。

頭楯黒褐色ニシテ淺キ點刻ヲ密布シ上向セル刺毛ヲ有ス前頭ハ青色ノ鱗毛ヲ存スルモ相密接セズ刺毛少ナシ。

胸背板ハ前緣平カニ兩側緣ハ中央ニ於テ稍ヤ鈍角狀ヲナス即チ側緣ハ後緣角ノ前部弱ク彎曲シ後緣角少シク強キ角度ヲ形成ス側緣ニハ刺毛ヲ列生シ上面ニハ少シク短細毛ヲ生ズ。

稜狀板ハ先端圓味ヲ帶ビ鱗毛青色ナルモ少シク褐色ヲ帶ブ。

翅鞘ハ幅狹クシテ鱗毛密ナリ側緣ニハ列狀ノ刺毛ヲ存ス。

尾節ニハ稍大形ノ光澤強キ鱗毛ヲ存シ其間ニ明カナル細刺毛ヲ散生ス先端ニ長キ刺毛アリ。

腹面ハ銀綠色ノ鱗毛ヲ存シ細毛ノ斜線ヲ有ス。

脚ハ黃褐色ニシテ長シ前中脚ノ爪ノ短カキモノハ長キモノ、凡四分三アリ。

本種ハあしながこがねニ其色澤ニ於テ似ルモ形長クシテ胸背板ノ形ヲ異ニス。レウキス氏 Lewis ハ之ヲ九州人吉ニ近ク採收セリト云フ。予等ノ標本ハ皆臺灣ニテ高橋氏採收ノモノナリ。原記載ニ合スルモ色黃色ヨリモ少シク青色ヲ帶ブ。

Hoplia 屬中次ノ一種ハ未ダ標本ヲ得ル能ハズ。

***Hoplia koreana* Moser**

Stett. Ent. Zeit. 1920, p. 27.

產地 Formosa.

Ectinohoplia 屬中次ノ三種ハ尙調査ヲ逸ス。

***Ectinohoplia sulphuriventris* Redtb.**

Reise d. Novara, Zool. II, Col. 1868, p. 63, t. 2, f. 10.

產地 Honkong, Shanghai, Nipon.

Ectinohoplia formosana Moser.

Stett. Ent. Zeit. 1919, p. 362.

產地 Formosa, Tainan.

Ectinohoplia formosana Arrow.

Proc. Zool. Soc. 1921, No. XIX, p. 269.

產地 Formosa.

後ノ二種ハ同一學名ヲ附與セラレタルモ全ク異レルモノナルハ其記載ニ由リテ明カナルヲ以テ後者ハ種名ノ改定ヲ要スルモノナリ。

ぢけろもるふあ屬

Dichelomorpha Burm.

脚ハ皆二ノ爪ヲ具フ。頭楯ノ前縁ハ短カクシテ圓シ。爪ハ何レノ脚ニ於テモ二個アリ同形ニシテ分割ス。前脛節ハ二ノ鈍キ齒ヲ有ス。體ハ短クシテ脚ハ長シ。

でらうねいこがね

Dichelomorpha Delauneyi Fleutiaux.

Taf. I. fig. 24.

Ann. Soc. Ent. Fr. (6) VII, 1887, p. 62, t. 4, f. 3 (*Dejeania*).

產地 Annam; 臺灣: Koruho

體長 8 幅 4.5 mm.

胸背板ノ中央光澤アル。黑色翅鞘褐色ナルモ鱗毛ニヨツテ淡黃褐色ヲナシ二段ノ濃褐斑紋ヲ有ス。

頭楯ハ新月形ヲナシ光澤アリ。濃褐色ニシテ中央ニ頭部ヨリ繼續セル淡黃褐色ノ斑紋アリ。前頭黃褐毛ニテ全部被覆セラル。會線ハ弧線狀ヲナス。

胸背板ハ兩側中央ニ於テ角度ヲナシテ前方ニ稍ヤ強ク狹搾ス。兩側縁ニ沿フテ強ク前縁ニ沿フテ弱ク黃褐色ノ鱗毛ヨリ成ル斑紋ヲ存ス。上面

ノ大部ハ黒褐色裸出シ細點刻ヲ有シ粗ナル長刺毛ヲ存ス稜狀板ハ光澤アル黒褐色ニシテ又黄褐鱗毛ヲ有ス。

翅鞘ハ全部淡黄褐色ノ鱗毛ヲ具フ。其ノ中央ヨリ前部ニ濃褐ノ斑紋アリテ稍ヤ斜狀ニ連續ス。

先端ニ近ク又同様ノ斑紋アリ此部分ノ鱗毛ハ又濃褐色ヲナス先端ニ近ク著シキ長キ黄褐色ノ刺毛ヲ群狀ニ發生ス。

尾節板ハ稍ヤ長形ヲナシ全部鱗毛ニテ被覆セラル。其ノ間ニ同色ノ細刺毛ヲ散生ス。下面ハ濃褐色ニシテ光澤ヲ有シ黄褐色ノ毛ヲ生ズ。尾節ノ先端ニ長キ黄褐色ノ刺毛ヲ多ク生ズ。

後脛節ニハ著シキ長キ黄褐色ノ刺毛ヲ生ズ後跗節ニモ同様ノ刺毛ヲ存ス。

觸角ハ十節ヨリ成リ雄ノ片狀節ハ柄部ト殆ド同長ナリ。

本種ハ只 アンナン ノミニ知ラレタルモノナレバ余等ノ標本ハ石田昌人氏ノ採集ニヨル臺灣産ニシテ其ノ記載全ク此レト同一ナリ。唯形態著シク小ニシテ原記載ニ於テハ體長13耗トセルモ之ハ僅カニ8耗ヲ越エズ然レドモ其ノ記載ノ同一ナルト モーゼル氏 (Moser) ノ同定トニ依リコハニ加フルコト、セリ。即チ屬及種共ニ我國ニ於テ新ニ知ラレタルモノナリ。

4. すじこがね亞科

Rutelinae.

すじこがね屬 (*Anomala*.) 中前報告ニ記載シ得ザリシ種類ニシテ標本ヲ調査シ得タルモノ七種アリタルヲ以テ茲ニ之レガ記載ヲナスコトトセリ。且ツ臺灣産ニ二新種ヲ加ヘ得タリ。本亞科ノ前報告後調査シ得タルモノ甚ダ多シ。即チ全部ニテ三十種ヲ數フ。此内予等ノ標本ニヨリテ オーハウス氏 ノ記載セルモノ數種アリ。ばらすたじあ屬 (*Parastasia*) ハ前ニ記載ヲ缺キタルモノ二種ヲ檢スルヲ得タリ。

既記ノ種類中訂正ヲ要スルモノハ左ノ如シ。

ほそすじこがねノ學名 *Anomala aulacoides* Ohaus ハ *Anomala poecilochalcea* Ohaus ト訂正。

とうきようこがねハ新種トシテ記載シタルモ *Anomala lucens* Ballion ナルコトヲ知リ得タリ故ニ *Anomala tokioensis* N. et K. ハ異名トナルモノナリ。

つやこがねノ學名 *Anomala lucens* Ballion ハ *Anomala difficilis* Waterh. ト訂正てうせんひめこがねノ學名 *Anomala pleurimargo* Reitt. ハ *Mimela fusania* Bates ト訂正而シテ前學名ニ當ルモノハきいろひめこがねノ名稱ヲ附シテ別ニ記載セリ。

次ノ二種ハ オーハウス氏 (Ohaus) ニ由ルトキハ ザウテル氏 (Sauter) ノ採集標本ニヨリ臺灣ニ産スルガ如シ。

***Anomala palleola* Gyll.**

Schönh. Syn. Ins. I, 3, 1817, Append. p. 107 (*Melolontha*)

Burm. Handb. Ent. IV, 1, 1844, p. 532 (*Anomala*)

Ohaus. Archiv f. Naturg. 1916, A. 4, p. 5.

產地 Ostindien.

***Anomala sinica* Arrow.**

Ann. Mag. Nat Hist. 1915, p. 231.

Ohaus, Archiv f. Naturg. 1916, A. 4, p. 7.

產地 Süd-China.

次ノ一種ハ著者ノ一人ガ伯林博物館 (Berliner Zoologisches Museum) ニテ檢シタルモノナリ。

***Anomala aulax* Wiedem.**

Zool. Mag. II. 1823, p. 93 (*Melolontha*)

Burm. Handb. Ent. IV. 1, 1844, p. 255 (*Anomala*)

Reitter, Verh. Nat. Ver. Brünn. XLI, 1903, p. 66 (*Idiocnema*)

以上三種ハ予等ノ標本ヲ欠ク。

尙ホ印度産一種ヲ臺灣ニ加フ。

既記ノ種類中新ニ其產地ヲ加ヘタルモノアリ即チちやいろすじこがね *Anomala corpulenta* Mots. ハ臺灣ニモ産シ(臺北、高橋氏採取)朝鮮及ビウラジ
オストツクニ知ラレタルモてうせんすじこがね *Anomala costifera* Reitt. ハ
伯林博物館ノ標本ニヨルトキハ又支那(Yunnan)ニモ産ス。

前報文記載後發表セラレタルモノ左ノ一種アリ。

さいしうこがね

Anomala (Diplomala) quelparta Okamoto.

Bull. Agric. Exp. St. Chosen. Vol. I, No. 2, p. 177, Pl. VII. f. 1. Pl. X. f. 6, 7, 8,

產地 Quelpart Is. (濟州島)

こがねむし屬(*Mimela*)ニ於テハこがねむしノ學名ハ *Mimela lucidula* Hope
ヲ採リタルモ之レヲ異名トスルヲ可トスルヲ認メタルヲ以テ *Mimela*
splendens Gyll. ト改ム。

同屬中ニ前ニ未調査ノ二種ヲ加フ。

うすちやこがね屬(*Phyllopertha*)中前報告ニ學名ヲ舉ゲタル *Phyllopertha*
maculicollis Reitt. ハうすちやこがね *Phyllopertha diversa* Waterh. ト同一ニシテ
此ノ學名ハ異名トナルモノナリ。

同屬中ニ一新種ヲ加ヘタリ。

まめこがね屬(*Popillia*)ニテハつきがたまめこがねハ *Popillia insularis* Lew.
ナルヲ以テ *Popillia comma* ハ其ノ異名トナルちやいろこがね屬(*Adoretus*)ニ
前報告ニ掲記セザリシ三種ヲ加フ。

ばらすたじあ屬

Parastasia Westw.

體ノ上面強ク圓味ヲ帶ビ肥大セル形ヲナス頭楯ノ先端二片狀ヲナシ
テ銳シ、頭上ノ兩眼ノ間ニ二ノ横隆線ヲ存ス胸背板ハ圓味ヲ帶ビ長サ幅
ノ三分ノ二ナリ稜狀板ハ短カクシテ幅廣シ翅鞘ハ基部ノ幅最モ大ニシ
テ側縁ニ隆起ナシ尾節板ハ小ニシテ其前節ハ全ク翅鞘ニ被覆セラル、

コトナシ。脚ハ著シク小ニシテ短カシ。腿節及ビ脛節太ク跗節ハ之ニ反シテ短細ナリ。肩板ハ隆起シテ翅鞘ノ前節ニ達ス。中胸板ハ基節ノ中間ニ短カキ幅廣キ突起ヲナス。前脛節ハ三個ノ外齒ヲ有ス。中脚ノ脛節及ビ跗節ハ雄ニ於テ強ク肥厚ス。

たいなんばらすたじあこがね

Parastasia canaliculata Westw.

Taf. I. fig. 25.

Ann. Mag. Nat. Hist. VIII, 1841, p. 204. und 303;

Trans. Ent. Soc. Lond. 1845, p. 93. t. 6, f. 2.

Burm. Handb. Ent. IV, I, 1844, p. 373.

Ohaus, Stett. Ent. Zeit. LIX, 1898, p. 18; Revis. p. 249.

Arrow, Revis, p. 480.

bipunctata Westw. Ann. Mag. Nat. Hist. VIII, 1841, p. 204.

rubrotessellata Blanch. Cat. Coll. Ent. Col. 1850, p. 217.

產地 Philippinen, Formosa; 臺灣, 臺南

體長 22. 幅 12 mm.

體黑色ニシテ光澤アリ。翅鞘ニ黃色波狀ノ斑紋ヲ有シ稜狀板ノ後方ニ細ク強キ溝狀部ヲ有ス。前脚ノ爪ハ簡單ニシテ中後脚ノ爪ハ尖端ニ於テ深ク分割ス。

頭部光澤アル黑色ニシテ前緣角ハ上向シテ大ナル角狀ヲナス。眼角部ニ近ク又銳齒ヲ有ス。故ニ上顎ノ反曲セル齒ト共ニ六個ノ銳齒ヲ具フ。會線不明ニシテ頭部前面ニ細カキ皺刻ヲ存ス。

胸背板ハ圓味ヲ帶ビ黑色ナルモ少シク褐色ヲ呈ス。前緣角圓ク後緣角略直角ナリ。中央ニ淺キ縱溝ト側方ニ稍ヤ不規則ナル凹壓部ヲ存ス。全面ニ細點ヲ散布ス。稜狀板ハ扁平ナル三角形ヲナシ。胸背板ト同ジク黑色ナリ。

翅鞘ハ強キ光澤ヲ有シ稜狀板ノ兩側ヨリ側緣ニ向ツテ波狀ノ黃色斑紋アリ。後緣ニ近キ左右ニ亦同色ノ斑紋ヲ具フ。稜狀板ノ兩側ヨリ會合線

ニ向ツテ強キ溝狀ノ窪ミヲ有ス翅鞘面ニハ隆線ナク一様ニ刻點ヲ散布ス。

尾節板及ビ其ノ前節ハ翅鞘ニ被覆セラレズ。黑色ニシテ微細ナル皺刻ヲ有ス。先端ニ近ク褐色ノ短毛ヲ生ズ。腹節及ビ胸部ハ黑色ニシテ亦微細ナル皺刻ト稍ヤ荒キ點刻ヲ存ス。胸部ノ褐色毛ハ稍ヤ密ナリ。基節及前脛節ニモ褐色ノ短毛ヲ存ス。前脚ノ脛節ハ三個ノ大ニシテ鈍ク尖リタル外齒ヲ有ス。中後脛節ノ先端ハ外方ニ鋭キ角ヲナス。

予等ノ標本ハ高野氏採集ノ一個ニシテ原記載ニ比スレバ形稍ヤ大ナルモ全體ノ性質ニ於テ原記載ニ合スルヲ以テ本種ト同定セルモノナリ。

たいわんばらすたじあこがね

Parastasia formosana Ohaus.

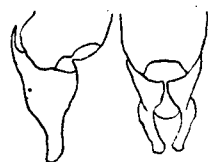
Archiv f. Naturg. 1925, p. 122.

產地 臺灣

體長 11.5 幅 7 mm.

上下面全部黑色ニシテ強キ光澤アリテ黃色毛ヲ散生ス。唯前脚ノ基節ノミ赤黃色ヲ呈ス。體形ハ圓柱狀ニシテ圓味ヲ帶ブ。

頭楯ハ幅長サヨリ少シク大ニシテ側緣並行シ前緣直線狀ナリ。前緣角ハ短カキモ鋭ク尖リテ直角狀ヲナシテ上反ス。其他ニ前緣ノ中央ニ二個ノ上向セル大ナル齒ヲ存ス。前頭トノ會線ハ中央部消失シ眼角ノ部ニ又小銳齒ヲ存ス。故ニ上顎ノ上向セル齒ト共ニ八個ノ齒ヲ存スルガ如キ觀ヲ呈ス。頭楯ノ上面ハ細カキ網狀刻斑ト少數ノ圓點ヲ有シ短カキ黃刺毛ヲ具フ。前及ビ後頭部ハ密ニ粗皺刻ヲ有シ僅カニ光澤アリ。前頭部ハ窪ムコトナク上向セル毛ヲ有シ後頭部ニハ短カキ幅廣キ硬皮部アリ光澤ヲ有シテ毛及ビ點刻ヲ缺ク。



第三圖
たいわんばらすたじ
あこがねノ雄交尾器
(Ohaus 原圖)

胸背板ハ幅長サノ半ニシテ上面圓味ヲ帶ブ。兩側ハ中央部ニテ突出シ前方ニ強ク狹窄ス。緣溝ハ後方ニ全ク消

失シ側方ニ明カナリ。前方ニ齒ヲ存シ中央ニ於テ甚小ナリ。側方ニ小ナルモ明カナル窪ミヲ存ス。上面ハ兩側ニ近ク圓形ノ大ナル點刻ヲ稍ヤ密ニ存シ内方ニ向ヘル長黃毛ヲ具フ。中央部ノ前半ニハ無毛ノ點刻ヲ存シ後半ハ平滑ナリ。

稜狀板ハ大形ニシテ平滑無毛ナリ。

翅鞘ノ第一點條ハ細溝狀ヲナシ大ニシテ斜壓セラレタル點刻ヲ具フ。第一中間帶ハ不規則ノ點刻ヲ有シ、其他上面ニハ細點及ビ短黃毛ヲ存ス。

尾節板ハ圓味ヲ帶ビ兩側ニ強キ壓凹部ヲ存シ粗キ圓狀點刻ト長黃毛ヲ有ス。尾節板ノ前節ハ短カク黑色ニシテ光澤ヲ缺キ粗點刻ヲ存ス。腹部ハ裂傷點刻ヲ有シ刺毛點ヲ斜列狀ニ存ス。脚ノ基節ト胸部ハ皺刻アリテ密ニ長黃毛ヲ生ズ。腿節ハ皆強大ニシテ後脚ニテハ前端ニ向テ幅廣ク長毛ヲ生ズ。中脛節ハ中央ヨリ先方ノ幅廣ク一銳齒ヲ存ス。前附節ハ兩爪共簡單ナルモ中後脚ノモノハ大ナル爪ガ分裂シ其上面ノモノ下面ノ爪ヨリ少シク長シ。

觸角ハ暗褐色ヲナシ片狀節ハ柄部ト略ボ同長ナリ。雄交尾器ハ第三圖ノ如シ。

本種ハ オーハウス氏 (Ohaus) ノ記載ニ由レバ我國南部ニ産スル *Parastasia Ferrieri* Nonfr. ニ最モ近キ種ナリ。

本屬中既ニ記載セラレタル次ノ一種ハ予等ノ標本ニ之ヲ缺ク。

Parastasia Ferrieri Nonfr.

Berl. Ent. Zeitschr. XI. 1875, p. 289.

產地 Kagoshima.

かめれをんこがね

Anomala chamaeleon Fairm.

Taf. I. fig. 26.

Rev. d' Ent. VI, 1887, p. 317.

Heyd. Hor. Soc. Ent. Ross. XXIII, 1889, p. 662.

(*A. dubia*) Ball. Bull. Moscou XLIII, 1870, p. 345.

Ohaus. Stett. Ent. Zeit. LXXXVI, 1915, p. 317.

(*A. rufocuprea*) H. Bts. (*nec Motsch.*) Proc. Zool. Soc. London
1888, nr. XXVI, p. 373.

產地 Nord-China, Amur, Korea; 朝鮮(李鍾昨)

體長 13 幅 7.5 mm.

濃褐色ナルモ光線ニ由リ藍紫色ヲ呈ス最モヨクひめこがね *A. rufocuprea* Mots. ニ似ル。

頭部濃色ニシテ頭楯大形ノ點刻ヲ密布ス前頭部ハ點刻中央部大ニシテ後頭ニ向ツテ小ニ且ツ粗ナリ。

胸背板ハ中央ニ窪ミ無ク一様ニ隆起ス點刻小ニシテ稍密ナリ兩側縁ニハ小數ノ刺毛ヲ列生ス。

翅鞘ハ縱隆線著シク高カラザルモ明カニ認メ得ベシ隆線上ニハ小ナル點刻ヲ散布ス中間部ハ稍大形ノ點刻アリ數個斜ニ相連ナル如ク見ユ。

下面ノ胸部ニハ軟黃毛ヲ密生シ腹節ニハ刺毛ヲ不規則ナル列狀ニ存ス。

後腿節ニハ濃褐ノ斑紋狀ヲナセル部アリ美紫色ノ光澤ヲ現ハス後脛節ハ光澤アル褐色ナリ。

本標本雄一個ハ原記載ヨリ稍小形(原記載ハ 14—15mm.)ナルモ オーハウス氏(Ohaus)ノ同定ニ由リ確定シ得タリ。

りうきうすじこがね

Anomala corrugata Bates.

Taf. I. fig. 27.

Proc. Zool. Soc. London 1866, p. 343.

產地 Formosa; 琉球, 石垣島, 臺灣

體長 13—14 幅 8—8.5 mm.

上面黃褐色ニシテ胸背板及ビ翅鞘ノ一部ハ綠色ヲ帶ブ。

頭楯ハ甚ダ密ニ淺キ點刻ヲ有ス前頭部モ亦一様ニ密ニ頭楯ト同様ノ

點刻ヲ有ス。

胸背板ハ綠色ナルモ兩側縁ニ沿ヒテ僅カニ黃褐色ヲ呈ス。中央部ニ短カキ縱凹線アリ。點刻ハ小形ニシテ稍密ナリ。

稜狀板ハ鈍ク尖リ細點ヲ存ス。

翅鞘ハ褐色ナルモ綠色ノ光澤ヲ有ス。殊ニ稜狀板ノ兩側ヨリ會合線ニ沿ヒテ綠色強シ。三條ノ隆條ハ低キモ明ラカニ區別シ得ベシ。隆條上ニハ微細ナル點刻アリ。中間部ニハ大小二種ノ點刻ヲ不規則ニ存ス。

腹面ハ黃褐色ニシテ光澤アリ。胸節ノ毛長ク密ナリ。腹節ニハ細點刻ト細毛トヲ有ス。著シキ刺毛無シ。

脚ハ光澤アル褐色ナルモ後脛節及ビ跗節ハ綠色ヲ帶ブ。

石垣島採集ノ二個ノ標本ハ光澤強クシテ翅鞘ノ綠色部稜狀板ノ兩側ヨリ先端ニ向ヒテ三角形ヲナス。雄交尾器ノ構造ハ臺灣産ト異ナルコトナシ。

くろちやすじこがね

Anomala inconcinna Bates.

Taf. I. fig. 28.

Proc. Zool. Soc. London 1866, p. 343.

產地 Formosa; 臺灣(石田)

體長 13 幅 7 mm.

體濃赤褐色ニシテ光澤アリ。翅鞘ニ多數ノ縱線ヲ具フ。

頭楯ハ前縁弧狀ヲナシ反張ス。點刻甚ダ密ナリ。前頭部ハ中央ヨリ會線ニ向テ密ナル點刻アリテ壓セラレタル觀ヲ呈ス。後頭ハ滑カニシテ點刻粗ナリ。

胸背板ハ幅廣クシテ短カシ。兩側縁ハ圓ミヲ帶ビ稍ヤ密ニ點刻ヲ有ス。上面ハ少シク強ク隆起シ中央ノ前半ニ細キ縱ノ窪ミアリ。

稜狀板ハ半圓形ニシテ中央縦ニ窪ミ、細點刻ヲ有ス。

翅鞘ニハ十三ノ線條ヲ有ス。其ノ第二即チ會合線ノ次ノモノハ最多ノ

點刻ヲ列狀ニ存シ、第五及ビ第八ハ點刻少ナク殆ンド連續セル線條ヲナサズ、中間帶ハ隆線狀ヲナシ、甚ダ微細ナル點刻アリテ殆ンド平滑ノ如クニ見ユ。

下面ノ胸節ニハ密ナル黃色毛ヲ有シ、各腹節ハ前縁ニ偏シ點刻密ニシテ橫列狀ニ刺毛ヲ存ス。

觸角ノ片狀節ハ雄ハ長キモ柄部ヨリ短カシ、雌ハ更ニ短カシ。

本種ハ唯臺灣ノミニ知ラル。

くろあしがね

Anomala (Spilota) plagiicollis Fairm.

Taf I. fig. 29.

Ann. Soc. Ent. France VI, 1886, p. 329.

Reitter, Verh. Nat. Ver. Brünn, XLI, 1903, p. 51.

產地 Ostsibirien, China: Peking bis Yünnan, Korea; 朝鮮(内田)

體長 13 幅 7.5 mm.

亞屬 *Spilota* ノ性質トシテ下面ノ後胸節ノ中央ヨリ中胸節ノ基節ノ中間ニ向テ角狀ノ突起ヲ生ズ、本種ハ突起部黑褐色ナリ、上面黃色ニシテ少シク金屬光澤アリ、脚黑色ナリ。

頭楯ハ前縁明ラカニ反張シ點刻細小ナリ、前縁ニ沿ヘル部分ノ金屬光澤強シ、頭部モ頭楯ト同様ノ點刻ヲ有シ、黃色ニテ光澤アリ、會線ハ明カナリ。

胸背板ハ基部ニ於テ縁ヲ有セズ、側縁ノ稍ヤ上方ニ接シテ濃褐色長形ノ斑紋アリ、前縁ニ近ク二個ノ甚ダ弱キ窪ミアリ、點刻小ナリ。

翅鞘ニハ甚ダ弱キ隆條アリ、其ノ上部ハ點刻ヲ有セズ、中間部ニハ稍ヤ粗ナル點刻アリ、側縁ニハ長キ刺毛ヲ列生ス、縁鬚ハ前縁ニマデ達セリ。

脚ノ脛節附節ハ濃藍色ヲナシテ黑色ニ見ユ、記載ニ由ルトキハ又綠色ニシテ金屬光澤ヲ有スルモノアリ。

腹部ハ大部濃褐色ヲ帶ビ、尾節ノ先端ニハ長キ淡色毛ヲ粗生ス。

きいろひめこがね

Anomala pleurimargo Reitter.

Taf. I. fig. 30.

Verh. Nat. Ver. Brünn XLI, 1903, p. 72.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. XII, 1913, p. 396.

産地 Korea, Peking, Japan: Kiushiu; 鹿兒島, 川内

體長 12 幅 6,5 mm.

黄色ニシテ少シク綠色金屬光澤ヲ光線ニ由リ現ハス。はんのきこがねニ似テ小形橢圓形ナリ。

頭楯ヨリ前頭一樣ニ密ナル點刻ヲ有ス。後頭部ハ光澤ヲ有シ、細點刻ヲ散布ス。胸背板ハ兩側及ビ底部ニ於テ甚ダ狹キ縁ヲ有ス。上面ハ點刻細小ニシテ密ナラズ、中央ノ縦凹線ハ著シカラザルモ認メ得ベシ。

稜狀板ハ鈍ク尖リ胸背板ト同様ノ色澤ト點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ三個ノ不明ナル縦隆條ヲ有ス。中間帶ニハ不規則ナル點刻アリ。縁襞ハ狹シ。前縁ヨリ兩側ニ膜狀縁アリ。

腹面ハ胸部黄色ニシテ細毛ヲ生ズ。腹部ハ銅褐色ニシテ光澤アリ。但シ記載ニヨルトキハ上面ト同色ナルヲ常トシ、屢々綠色ヲ帶ビ稀レニ此ノ標本ノ如キ銅褐色ノモノアリト云フ。

脛節及ビ附節ハ稍ヤ褐色ヲ帶ビ綠色光澤ヲ呈ス。

予等ノ標本ハ肘黒氏採集雄一個ナリ。

ひめすじこがね

Anomala polyanor Ohaus.

Taf. II. fig. 1.

Archiv f. Naturg. 1916, A. 4, p. 4.

産地 Formosa: Anpin, Tainan; 朝鮮

體長 7—8,5 幅 4,5—5 mm.

小形ニシテ淡黄色ヲナシ光澤ヲ有ス。長橢圓形ナリ。

頭楯ハ兩側略並行シ前緣角圓味ヲ帶ブ會線ノ前方ニ二個ノ褐色斑紋アリ。點刻細密ニシテ光澤ナシ。前頭部ハ稍ヤ大ナル點刻相接シテ密布ス。後頭部ハ點刻相離ル。頭部ニ二個ノ大形ノ斑紋アリ。

胸背板ハ幅長サノ凡ソ一倍半ナリ。後緣溝ハ連續シ兩側ハ弧線狀ヲナス。前緣角ハ僅カニ突出シ後緣角ハ全ク圓味ヲ帶ビズ。上面ハ稍強ク後頭ト同ジク點刻ヲ有ス。中央ニ縱線狀兩側ニ小ナル窪ミアリ。側緣ニ近ク褐色ノ斑紋アリ。

稜狀板ハ先端圓味ヲ帶ビ周邊濃褐色ヲナス。胸背板ト同様ノ點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ褐色ヲ帶ビタル黄色ニシテ會合線ニ接シテ強キ一列ノ線條アリ。縱隆條ハ中間部ト同ジ高サヲナシ會合線ニ近キ廣キ中間帶ハ不規則ナル點刻ヲ有ス。

尾節板ハ下面及ビ脚ト同ジク黄色ヲ帶ビ光澤アリテ小ナル點刻ヲ有シ。僅少ノ毛ヲ存ス。尾節板上ニハ兩側ニ近ク褐色ノ斑紋ヲ具フ。

前脛節ハ長キ先端ノ齒ニ次デ稍ヤ尖リタル齒ヲ有ス。中後脚ノ爪ノ大ナルモノハ先端分裂ス。

本種ハ臺灣ニ於テ採集記載セラレタルモノナルガ朝鮮産ノ標本ニテ全ク此ノ記載ニ合スルモノアリ。

さんかくこがね

Anomala triangularis Schönfeld.

Taf. II. fig. 3.

Ent. Nachr. XVI, 1890, p. 171.

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. XII, 1913, p. 396.

產地 Japan; 琉球, 首里(鈴木)

體長 14.5 幅 8.5 mm.

黄色ニシテ綠色ノ光影ヲ呈ス。原記載ニ由レバ色ニ於テ甚シク變化ア

ルモノ、如ク黄綠色ヨリ純綠色ニ及ブト云フ。上面ニ光澤アリ。

頭部黄色ニシテ光澤アリ。頭楯ハ稍ヤ狭ク前縁ニ向ツテ圓味ヲ帶ビ點刻不規則ニシテ相連ナル觀ヲナシ、密ニシテ大ナリ。會線明カナリ。前頭ハ稍ヤ大ナル點刻ヲ密布シ後頭部ニ小ニシテ粗ナリ。

胸背板ハ幅廣ク前方ニ圓味ヲ帶ビテ狭細ス。上面強キ光澤ヲ有ス。側縁ニ近ク二個ノ弱キ凹點ヲ認メ得ベシ其ノ上方ノモノハ圓形ニシテ明ラカニ後方ノモノハ長形斜狀ニシテ少シク不明ナリ。中央ニ縦ノ細線アリ。點刻小ナルモ兩側ニ向ツテ稍ヤ強シ。基色ハ黄ナルモ上面ノ左右ニ長三角形ヲナセル濃綠色ノ斑紋ヲ存ス。淡色ノ標本ニテハ褐色ヲ帶ビテ斑紋ノ限界不明ナリト云フ。斑紋ノ先端ハ前縁ニ達ス。兩紋ノ間ニハ細キ中央ノ黄線ヲ殘ス。

稜狀板ハ黄色ニシテ微細ナル點刻ヲ散布ス。

翅鞘ハ會合線ニ接シテ點刻ヲ有スル外兩側ニ三條ノ僅カニ高マレル縦隆條ヲ存ス。縦隆條ハ強キ點列ニヨリテ限ラレ、其ノ上面ニ微細ナル點刻ヲ存ス。中間部ハ細カク不規則ナル點刻アリ。

尾節板ハ黄褐色ニシテ光澤アリ。小ナル斜狀ノ點刻アリ。小數ノ黄色毛ヲ具フ。基部ヨリ側方ニ濃綠色ヲナシ、先端ニ刺毛ヲ存ス。

脚ハ黄色ニシテ附節濃褐色ナリ。

予等ノ標本ハ琉球産雄一個ナリ。

きおびすじこがね

Anomala fasciolata Ohaus.

Archiv f. Naturg. 1925, p. 124

產地 臺灣

體長 12 幅 7 mm.

體稍ヤ幅廣ク卵形ヲナシ上面暗綠色ニシテ強キ光澤アリ。翅鞘ニ黄色ノ一横帶ヲ有ス。尾節板下面及ビ脚ハ暗褐色ヲナシ、銅綠色ノ光澤ヲ現ハス。尾節板下面及ビ脚ニ灰黄色ノ毛ヲ生ズ。

頭楯ハ幅長サノ二倍アリ前縁平カニシテ強ク上反ス上面ハ前頭ト共ニ密ニ粗點ヲ有ス後頭ハ稍ヤ散點狀ヲ成ス會線ハ不明ナリ。

胸背板ハ兩側及ビ前縁ニ狹キ縁ヲ有ス側邊ニ甚ダ小ナル溝ヲ存ス上面ニハ密ナル點刻アリテ兩側ニ至ルニ從ヒ點刻相合ス上縁角ハ銳角ヲナシ後縁角ハ略直角ナリ。

稜狀板ハ滑カニシテ基部ニ小數ノ點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ肩及ビ先端ニ近ク隆起ヲナス第一ノ點條ハ強キ溝狀ヲ成ス事ナシ第一中間帶ハ不規則ニ細點ヲ有ス第二ハ小數ノ横皺ヲ存ス。

尾節板ハ甚ダ密ナル裂傷狀ノ點刻ヲ有シ上面ニ斜毛ヲ存シテ先端ニ近ク長キ刺毛ヲ具フ脚ノ基節及ビ胸部ハ甚ダ密ニ細皺刻ヲ有シ灰黃色ノ毛ヲ存ス中胸部ニハ小ナル強キ光澤アル突起ヲ存ス前脛節ハ一箇ノ強キ側齒ト長キ端齒ヲ有ス。

本種ハ高橋良一氏ノ採集セル一箇ノ雌ノ標本ニ依リ記載セラレタルモノナリ。

にいじますじこがね

Anomala Niijima Ohaus.

Archiv f. Naturg. 1925, p. 126

產地 石垣島

體長 14.5 幅 8 mm.

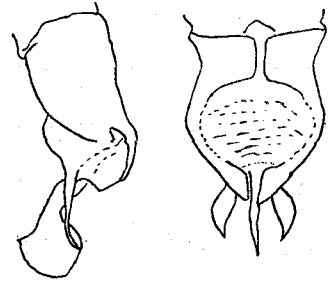
頭部稜狀板及ビ胸背板暗綠色ヲナシ稍ヤ光澤ヲ存ス胸背板ハ側縁黃色ヲナシ翅鞘ハ暗褐色ニシテ少シク銅色光澤ヲ呈ス黃色ノ狹キ一横帶内方ニ短線外方ニ稍ヤ長キ線及肩ニ沿フテ黃色部アリ尾節板下面及腿節ハ赤色ヲ帶ビタル黃色ヲナス脛節及跗節ハ暗綠色ナリ觸角ノ片狀節ハ黑褐柄部ハ黃色ヲナス。

頭楯ハ其側縁略々並行ヲナシ前縁上反ス前頭及後頭ハ密ニ相合著スル點刻ヲ有ス會線ハ甚ダ細キモ明カニ認ムベシ。

胸背板ハ稍ヤ平カニシテ明カニ中央ノ窪ミヲ有ス強キ側方ノ窪ミノ

後方ニナホ小ナル窪ミヲ有ス點刻ハ頭部及ビ稜狀板ト略々同様ナリ。

翅鞘ハ肩部ニ於テ明カナル隆起ヲナス第一ノ點條ハ深キ溝狀ヲ成シ第一ノ中間帶ニ二箇ノ不明ナル幅廣キ隆條ヲ認ム。是等ハ後縁ニ近ク相合ス。第二ノ中間帶ニハ不明ナル相分離シタル隆線ヲ有シ第三ノ中間帶ニハ不規則ナル點列ヲ存スルノミ。上面ノ前部ニハ稍ヤ密ナル細點ヲ存ス。



第四圖
にいじますじこがねノ雄交尾器
(Ohaus 原圖)

尾節板、腹節、脚ノ基節及胸部ハ光澤ヲ有シ細カキ甚ダ密ナラザル裂刻アリテ僅少ノ毛ヲ生ズ。中脚ノ腿節ハ細キ角ヲ有シ、刺毛點ノ横列ヲ存ス。後脚ノ腿節ハ上下面ノ縁ニ黑色ノ角ヲ有シ刺毛ヲ存セズ。前脛節ハ先端ニ齒ヲ有スル外銳キ側齒ヲ存ス。中後脛節ハ先端ノ縁ニ沿フテ銳キ棘狀ノ突起ヲ有ス。

觸角ノ片狀節ハ柄部ヨリ短カシ。

本種ハ琉球石垣島ニ於テ採取セラレタル一箇ノ雄標本ニツキテ記載セラレタルモノニシテ其雄交尾器ハ特種ノ形狀ヲ有スルヲ以テ全ク他ノ種類トノ區別ヲナシ得ベシ。

たいわんちやいろすじこがね

Anomala badia Ohaus.

Archiv f. Naturg. 1925, p. 127

產地 臺灣

體長 14 幅 7.5 mm.

體橢圓形ニシテ後方殆ト幅廣カラズ上下面黃褐色ヲナシ光澤アリ。腹部暗褐色ヲナス。全脚ノ腿節、前基節、及觸角ハ黃色ヲナス。上面全ク毛ヲ有セズ。胸部ハ密ニ黃褐色ノ毛ヲ存ス。

頭楯ハ梯形ヲナシ上反セル縁線ハ暗褐色ヲ呈ス。上面前頭部ト同ジク密ニ細皺狀ノ點刻ヲ存ス。光澤ナシ。後頭部ハ細點ヲ散布ス。

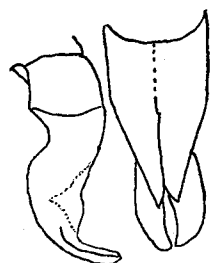
胸背板ハ幅長サノ略々二倍アリ。周圍ニ細キ縁ヲ有ス。基部ノ縁溝ハ中央ニ於テ殆ド消失スルコトナシ。側方ニ窪ミヲ有ス。中央ニ縦溝ヲ認メ得ベシ。點刻ハ頭部及稜狀板同様ナリ。

翅鞘ノ第一點條ハ深キ溝狀ヲナス。隆條及ビ中間帶ハ高サ略ボ同様ナリ。第一中間帶ハ不規則ニ點刻ヲ有シ。第二、第三ハ各一條ノ點列ヲ存ス。

尾節板ハ稍ヤ粗キ點刻アリテ先端ニ近ク縦溝ヲ中央ニ存ス。此ノ部分ノミ僅ニ毛ヲ生ズ。脚ノ基節及胸部ハ甚ダ密ニ點刻ヲ有シ。上向セル長キ黃色毛ヲ具フ。前脛節ハ強キ側齒ヲ有ス。中及後脛節ハ斜狀ニ突出セル角ヲ存ス。

觸角ノ片狀節ハ柄部ト略々同長ナリ。雄ノ交尾器ハ第五圖ノ如シ。

本種ハ齋藤良秀氏ノ採集ノ臺灣埔里社產ノモノニツキテ記載セラレタルモノナリ。



第五圖
たいわんちやいろす
じこがねノ雄交尾器
(Ohaus 原圖)

むしすじこがね

Anomala edentula Ohaus.

Taf. II. fig. 4.

Archiv f. Naturg. 1925, p. 128

產地 Formosa, China: Tonkin; 臺灣, 石垣島

體長 17—20 幅 9—10.5 mm.

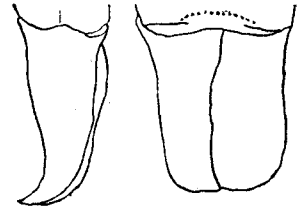
體橢圓形ニシテ上面稍ヤ圓味ヲ帶ブ。上下面暗黃色ヲナシ。上面綠色及銅色ノ光澤アリ。腿節淡黃色、脛節及跗節赤褐色ナリ。上面ニハ毛ヲ有セズ。尾節板ハ斜狀ノ灰白毛、胸部及基節ニハ長キ灰黃毛ヲ存ス。

頭楯ハ梯形ニシテ前緣角丸味ヲ帶ビ。緣線僅カニ反張ス。前頭ト共ニ密ニ皺刻ヲ有ス。後頭部ハ又密ニ點刻ヲ存シ。前頭ノ會線ノ後部ニ添ヒ僅カニ窪メル部分ヲ存ス。

胸背板ハ後頭ト同様ノ點刻ヲ有シ。中央及側方ニ窪ミヲ有セズ。底部縁溝ハ中央ニ於テ消失ス。

稜狀板ハ密ニ大ナル輪狀ノ點刻ヲ有ス。

翅鞘ノ第一線條ハ淺キ溝狀ヲナシ隆條ハ明カニシテ中間帶ヨリ高シ。上面全部大ナル輪狀ノ點刻ヲ散布ス。此ノ輪狀點ハ多ク後方ニ於テ開キ前縁ニ近ク存スルモノハ二箇以上相合著ス。尾節板ハ密ニ細カキ裂傷點ヲ有シ斜狀ノ灰白毛ニヨリテ被覆セラル先端及側方ニハ長キ黃色刺毛ヲ存ス。



第六圖
むしすじこがねノ雄交尾器
(Ohaus 原圖)

腹節ハ淺キ輪狀或ハ半輪狀ノ點刻ヲ有シ刺毛點ノ横列ト側縁ニ近ク淡白毛ヲ有ス。基節及胸部ハ密ニ細點ヲ有シ灰黃色ノ毛ヲ存ス。中及後腿節ハ長キ點列ヲ存スルヲ常トス。其部分ニ強キ長刺毛ヲ存ス。雄ノ前脛節ニハ先端ニ短カク尖リタル齒ヲ有シ外縁ハ全ク齒ヲ有セズ。然レドモ雌ハ長クシテ銳キ端齒ト外縁ニ明カニ尖リタル齒ヲ有ス。本種ハ前脛節ニ齒ヲ有セザル故無齒すじこがねト名ク。

本種ハ臺灣産ノ標本ニヨリテ記載セラレタルモノナレド又支那ニモ産ス。琉球石垣島産ノモノハ色澤稍ヤ濃厚ニシテ暗綠色ヲ帶ブ。

たいなんすじこがね

Anomala phaeogastra Ohaus.

Archiv f. Naturg. 1925, p. 129

產地 臺灣

體長 15 幅 7.5 mm.

長橢圓形ニシテ稍ヤ圓味ヲ帶ブ。上下面淡赤黃色、上面強キ青銅綠色ノ光澤アリ。後頭部ト胸背板上ノ二紋ト腹部トハ暗褐色ニシテ綠色及ビ銅色ノ光澤ヲ有ス。尾節板ノ中央ニハ大ナル黃色斑紋ヲ存ス。上面無毛ナルモ尾節板及ビ下面ハ僅少ノ灰黃毛ヲ生ズ。

頭楯梯形ヲナシ前縁角圓味ヲ帶ブ。扁平ナル前頭ト共ニ密ニ接着セル點刻ヲ有ス。後頭胸背板及ビ稜狀板ハ細カクシテ密ニ且ツ所々ニ接着セル點刻ヲ存ス。胸背板ニハ小ナル側方壓凹部ヲ具フ。後縁溝ハ中央部廣ク

消失ス。

翅鞘ノ第一點條ハ甚ダ細キ溝狀ヲナス第一ノ中間帶ハ不規則ニ點刻ヲ有シ第二第三ハ各單點列ヲ存ス。之等ノ外全面ニ圓狀點ヲ散布ス此圓狀點ハ下方開キ又ハ側方多少消失ス。

尾節板ハ密ニ稍ヤ粗ク斜裂傷狀ヲナス。腹節ノ兩側モ同様ナルモ中央ハ刻斑不明ナリ。基節ト胸部トニハ大ナル圓狀點ヲ粗布シ、ソレヨリ灰黃毛ヲ生ズ。中後腿節ニハ刺毛ヲ有スル大ナル點刻ノ一列ヲ存



第七圖
たいなんすじこがねノ
雄交尾器 (Ohaus 原圖)

ス。前脛節ニハ先端ニ短カキ銳齒アリ側齒不明ナリ中後脛節ハ唯一個ノ尖角ヲ存スルノミナリ。觸角ハ黃色ニシテ片狀節ハ柄部ヨリ短カシ雄交尾器ハ第七圖ノ如シ。

本種ハ石田昌人氏ガ臺南附近ニテ採收セル雄標本ニ由リタルモノナリ。最モヨク前種むしすじこがねニ似ル。

くろひめすじこがね

Anomala erubescens Ohaus.

Taf. II. fig. 5.

Archiv f. Naturg. 1925, p. 129

產地 臺灣

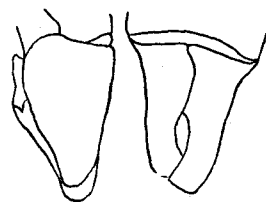
體長 9—10 幅 5.5—6 mm.

體稍ヤ幅廣ク圓味ヲ帶ブ。上下面黑色ニシテ光澤アリテ少シク綠色光澤ヲ呈ス。頭部及ビ胸背板ハ銅色ヲナス唯腹部ノ尾節及ビ其前節ノ間ノ廣キ膜狀部ト腹片トハ淡黃色ヲナス。上面裸狀尾節板ト下面トハ僅少ノ灰色毛ヲ具フ。

頭楯ハ梯形ニシテ前緣角弱キ圓味ヲ帶ブ。緣線ノ前部少シク上反ス。上面前頭ト同ジク細皺刻ヲ存シ僅カニ光澤ヲ有シ後頭ニ小數ノ強キ點刻ヲ具フ。胸背板ト稜狀板ハ點刻後頭ト同様ニシテ胸背板ノ兩側ニハ甚ダ弱キ壓凹部ヲ存シ中央線ハ不明ナリ。後緣溝ハ中央ニ於テ殆ンド消失セ

ズ。

翅鞘ノ第一點條ハ明カニ溝狀ヲナシ第一縱隆條ハ中間帶ヨリ稍ヤ高シ第一中間帶ハ不規則ナル點刻ヲ有シ他ニハ單ナル點列ヲ具フ。全面ニ細點ヲ散布スル外不明ナル短細ノ皺刻アリ。尾節板ハ強キ光澤アリテ大ナル點刻ヲ稍ヤ密ニ被覆セラル。點刻ハ基部ニテ少シク接着スルモノアリ。先端ニハ僅少ノ灰色刺毛ヲ存ス。



第八圖
くろひめすじこがねノ雄
交尾器 (Ohaus 原圖)

腹節ハ強キ光澤アリ分離セル刺毛點ガ斜列狀ニ存ス。點刻側方ニ稍ヤ密ナリ。基節ト胸部トハ散布セル灰色毛ヲ發スル大ナル圓狀點刻ヲ有シ其間ニ甚ダ細微ナル皺刻ヲ具フ。前脛節ハ端齒ニ次ギテ大ナル側齒ヲ存ス。中後脛節ハ各二ノ斜銳角ヲ有ス。觸角ノ片狀節ハ黑色ニシテ淡色ノ柄部ト同長ナリ。雄交尾器ハ第八圖ノ如シ。

次ノてうせんひめすじこがねニ似タル一種ハ未ダ其標本ヲ見ル能ハズ。

Anomala hoplocosmeta Ohaus.

Archiv f. Naturg. 1925, p. 125

產地 臺灣(北斗)

ひめきんすじこがね

Anomala holosericioides Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II. fig. 11, Taf. III. fig. 9.

產地 臺灣(臺北)

體長 14.5—16.0 幅 7.5—8.0 mm.

色澤點刻等最モヨクきんすじこがねニ似ル。然モ形小ニシテ中胸突起ヲ缺ク。純綠色ニシテ翅鞘ノ中間帶ハ點刻粗ニシテ甚ダ密ナリ。

頭楯黃褐ニシテ幅廣ク前緣角圓味ヲ帶ブ。點刻粗ニシテ稍ヤ密ナリ。頭部純綠色ニシテ前頭大ナル強キ點刻ヲ不規則ニ密布ス。

胸背板ハ短クシテ幅廣ク長サノ二倍ナリ。純綠色ナルモ兩側縁ハ僅カニ黃色ヲ帶ブ。前縁角ハ稍ヤ突出シ後縁角ハ略々直角ナリ。中央縦線ハ淺ク窪ム。大ナル不規則ナル點刻ヲ具フ。

稜狀板ハ半圓形ヲナシ先端密ニ、上面粗ナル點刻ヲ存ス。

翅鞘ハ濃キ純綠色ヲナシ上面ニ三双ノ細キ縦隆線アリ。中間帶甚ダ密ニ不規則ナル大ニシテ深キ點刻ヲ有ス。

尾節板ハ光澤アル綠色ニシテ先端ニ於テ黃色ヲナス。點刻散布シ兩側ニ近ク凹壓部アリ。先端ニ刺毛ヲ列生ス。

腹面ハ強キ光澤アル黑色ニシテ綠色光澤アリ。細點刻ト甚ダ僅少ノ刺毛ヲ具フ。

脚ハ黃褐色ヲ帶ブ。前附節ノ内方爪ハ明ラカニ先端ニ於テ分割セラル。

雄交尾器ハ第三圖版第九圖ノ如シ。

本種ハ臺灣臺北ニ於テ加藤正世氏採集ノ五個ノ標本ニ由リタルモノニシテきんすじこがね(*A. holosericea* Fabr.)ニ最モ類スルモ腹面殊ニ胸部ニ密生セル毛無キト其雄交尾器ノ形狀ニ由リ明カニ區別シ得ベシ。

いんどあをどうがね

Anomala dimidiata Hope.

Taf. II. fig. 10.

Gray's, Zool. Misc. 1831, p. 23. (*Euchlora*)

Proc. Zool. Soc. London 1839, p. 71.

Ann. Mag. Nat. Hist. IV, 1840, p. 349.

Burm. Handb. Ent. IV, 1, 1844, p. 284 u. 536.

Arrow, Fauna Brit. India, Coleop. Lamel. II, 1917, p. 232. Pl. II, f. 16.

產地 India: Nepal; 臺灣(石田)

體長 23—26 幅 12.5—15 mm.

體幅廣キ橢圓形。上面青味ヲ帶ベル綠色ニシテ光澤アリ。下面綠黑翅鞘ノ縦隆條不明ナリ。

頭楯ハ密ナル點刻ヲ有ス。側縁ヨリ前縁ニ紫黑色ヲ帶ブ。前頭ハ點刻稍

ヤ粗ナリ、眼ハ著シク突出セズ。

胸背板ハ兩側弧線狀ヲナシ基部ヨリ前方ニ次第ニ幅狹ク前緣角ハ僅カニ突出シ、後緣角ハ圓味ヲ帶ブ。上面ハ點刻微細ナルモ側緣ニ近ク粗ニシテ稍ヤ大ナリ。側方ニ各一個ノ凹點ヲ存ス。

稜狀板ハ甚ダ細微ナル點刻ヲ有シ、光澤強シ。

翅鞘ハ光澤アリテ胸背板ト同ジク細點刻ヲ有ス。縱隆條ハ細カクシテ不明ナルモ僅カニ認メ得ベシ。側緣襞ハ少シク後緣角ヲ越ヘテ終リ、ソレヨリ會合線ノ先端ニ狹キ緣膜ヲ有ス。

尾節板ハ細微ナル橫刻ヲ有ス。

下面ハ又光澤アリテ胸節ニ細毛ヲ多ク生ジ腹節ニ細キ刺毛ヲ列生ス。

雄ハ前脛節ノ外齒短カクシテ銳ク雌ハ長クシテ稍ヤ細シ。雌ノ尾節板ニハ長キ毛ヲ多ク生ズルヲ特徴トス。

本種ハ印度ニノミ其ノ產地ヲ限ラレタルモ、臺灣産ノ標本ニツキ全ク記載ト合スルモノヲ檢シ且其ノ雄交尾器ノ構造同一ナルヲ以テ本種ト認メ之レガ記載ヲナシタリ。

いしだすじこがね

Anomala Ishidai Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. II. fig. 2, Taf. III. fig. 10.

產地 臺灣

體長 13.5 幅 7 mm.

はんのきこがねニ似ル體褐色ヲナシ翅鞘ニ少シク黃色ヲ帶ブ。下面ノ胸部ニ多クノ毛ヲ有ス。

頭楯ハ側緣ヨリ前緣ニ圓味ヲ帶ビ稍ヤ反張ス。點刻密ニシテ小ナリ。會線ハ中央ニ於テ鈍ク彎曲ス。前頭部ハ頭楯ト同ジク密ナル點刻ヲ有ス。後頭部ハ光澤ヲ有シ、微小ナル點刻ヲ散布ス。前頭ニ少數ノ刺毛ヲ有ス。

胸背板ハ幅廣クシテ長サハ凡ソ其二分ノ一ナリ。光澤ヲ有シ、前緣ニ稍ヤ狹搾シ前緣角少シク鈍ク突出ス。點刻後頭部ト同ジク微小ナリ。中央ニ

縦ノ横線アリテ前縁ヨリ凡ソ全長ノ三分ノ二ニ及ブ。兩側縁ノ中央ニ近ク著シキ圓形ノ凹點アリ。

稜狀板ハ淡黃色ニシテ鈍ク尖リ僅少ノ細點刻ヲ具フ。翅鞘ハ光澤アル褐色ニシテ稍ヤ黃色ヲ帶ブ。稜狀板ノ兩側ヨリ會合線ニ沿フテ少シク濃色ナリ。各側面ニ五個ノ縱隆條アリ。縱隆條ニハ殆ンド點刻ヲ欠ク。中間部ニハ不規則ナル點刻ヲ散布ス。緣襞低クシテ只側縁ノ中央ニノミニ止ル。

尾節板ハ光澤ヲ有シ、黃褐色ニシテ上面ノ兩側ニ濃褐ノ斑紋ヲ存ス。點刻微細ニシテ小數ノ刺毛ヲ具フ。下面ハ胸部ニ密ナル黃褐色ノ毛ヲ存ス。腹節ニハ小數ノ刺毛ヲ橫列狀ニ生ズ。

觸角ノ片狀節ハ雄ニアリテハ柄部ヨリ少シク短カシ。

前脛節ノ外刺ハ先端ノモノ大ナルモ之レニ次グトコロノモノハ小ナリ。後脛節ハ先端ニ近ク狹搾シ其ノ端棘ハ跗節ノ第一ヨリ短カシ。

雄ノ交尾器ハ第三圖版第十圖ノ如キ形狀ヲ成ス。

本種ハ其ノ外形ニ於テ稍ヤひめこがね或ハはんのきこがねニ似ルモ翅鞘ノ縱隆條著シク、胸背板ノ構造異ナリ。且ツ雄ノ交尾器ヲ異ニスルヲ以ツテ新種トナセリ。

はらあかどうがね

Anomala (Euchlora) castaneoventris H. Bates.

Taf. II. fig. 9.

Proc. Zool. Soc. London 1866, p. 344.

Ohaus, Archiv f. Naturg. 1916, A. 4, p. 7.

產地 Formosa: Kosempo; 臺灣(高橋村山)

體長 17 幅 9.5 mm.

上面ハ綠色ニシテ強キ光澤アリ。下面ハ濃キ赤茶色ヲナス。

頭楯兩側ヨリ前縁ニ向ツテ圓味ヲ帶ビ、甚ダ密ナル點刻ヲ有ス。前頭ハ中央ニ稍ヤ密ニ粗大ナル點刻ヲ有ス。後頭ハ點刻小ニシテ稍ヤ粗ナリ。

胸背板ハ兩側縁中央ヨリ前部狹搾シ中央ニ短カキ縱凹線アリ。綠色ナ

ルモ兩側線ニ沿ヒ僅カニ黃色ヲ呈ス。點刻ハ後頭部ト同様ナリ。側縁ニ小數ノ長毛ヲ存ス。

稜狀板ハ鈍ク尖リ細點刻ヲ具フ。

翅鞘ハ兩片各三條ノ隆條アリ著シク隆起スルコトナシ。條上ノ點刻ハ小ニシテ中間部ノモノハ稍大ニシテ不規則ナリ。

尾節板ハ鈍ク尖リ、綠色光澤アリ。點刻ハ鱗ヲ重ネタル狀ヲナス。先端ニ小數ノ毛アリ。

腹面ハ濃キ赤茶色ニシテ光澤アリ。銅藍色ノ光影ヲ表ス。腹節ニ黃色刺毛ヲ一列狀ニ存ス。點刻甚ダ弱シ。

脚ハ腹部ト同色ヲナス。

雄交尾器ノ先端ハ鈎狀ニ下面ニ彎曲ス。

おほしまどうがね

Anomala (Euchlora) chloroderma Arrow.

Taf. II. fig. 7.

Ann. Mag. Nat. Hist. (8) XII, 1913, p. 403.

產地 Oshima; 熊本

體長 23 幅 12.5 mm.

りうきうどうがねニ似テ大。翅鞘ニ著シキ突出縁ナシ。

頭楯密ナル點刻ヲ有ス。前頭部ノ點刻ハ前種ヨリ稍大ニシテ粗布ス。

胸背板ハ上面細密ナル點刻ヲ有シ。側縁ニ小數ノ細長ナル刺毛ヲ列生ス。

翅鞘ハ五條ノ不明ナル縦隆條ヲ有ス。隆條ハ全ク平カニシテ中間部ノ區別不明ナリ。點刻ハ前種ヨリ小ナリ。側縁襞ハ甚ダ狭クシテ外縁角ニ達ス。前種ノ如ク突出スルコトナシ。

尾節板ハ綠色ニシテ光澤アリ。甚ダ密ナル皺刻ト先端ニ近ク長キ小數ノ刺毛ヲ存ス。

下面濃綠色ニシテ腹節ハ銅色光澤ヲ有シ。二列ノ小數刺毛ヲ具フ。前脚

ニハ二外齒アリ其ノ先端ノモノ大形ニシテ尖ル。

本種ハ元來琉球大島ニノミ知ラレタル種類ナルモ予等ノ標本中熊本産ノ者ニシテ最モヨク此ノ記載ニ合スルモノアリ然レドモ唯雌ノ標本ヲ有スルノミナルヲ以ツテ暫ラク疑ヲ存ス。

あかあしどうがね

Anomala (Euchlora) cupripes Hope.

Taf. II. fig. 6.

Proc. Zool. Soc. London 1839, p. 68.

Ohaus, Stett. Ent. Zeit. LXXVI, 1915, p. 331.

Arrow, Fauna Brit. India, Coleop. Lamel. II, 1917, p. 234, Pl. II, f. 17.

産地 Formosa, Burma, Siam, Annam, Borneo, Malay Peninsula; 臺灣

體長 19 幅 11,5 mm.

綠色ニシテ光澤アリ腹面及ビ脚ハ赤褐色ヲナス。

頭楯ハ著シク密ナル點刻ヲ有ス。前頭ハ之ヨリ大ナル點刻ヲ少シク粗ニ存ス。後頭ニ向ツテ點刻小ニシテ散在ス。

胸背板ハ兩側中央ヨリ前部狹擡シ上面頭部ノ如ク小點刻ヲ有ス。中央ノ縦線ハ細ク窪ム。側縁ニ小數ノ長刺毛ヲ生ス。

翅鞘ハ縦隆條ト中間部トノ區別不明ニシテ略一樣ニ細點刻ヲ有ス。

尾節板ハ濃銅褐色ニシテ中央ニ綠色ノ斑紋アリ先端ニ強キ黃色ノ刺毛ヲ群生ス。

腹面光澤アル赤褐色ニシテ稍ヤ藍色光澤アリ腹節ニ褐色刺毛ヲ列生ス。

脚ハ腹部ト同色ナルモ稍ヤ濃色ナリ。

本種ノ標本ハ原記載ヨリ小形(原記載ハ體長 lin. 12 幅 lin. 6,5)ナルモ其ノ形質雄交尾器ノ構造ニ於テ全ク合スルヲ以ツテ此ノ學名ノモノトセリ。

りうきうどうがね

Anomala (Euchlora) xanthopleura Arrow.

Taf. II. fig. 8.

Ann. Mag. Nat. Hist. (8) XII, 1913, p. 402.

産地 Loo Choo Is.: Okinawa I; 沖縄、石垣島、臺灣

體長 19—21.5 幅 11—12 mm.

光澤アル綠色雄ノ翅鞘ハ外縁角ニ於テ側縁襞扁平狀ニ著シク突出ス。
頭楯ハ前縁反張シ密ナル點刻ヲ有ス前頭ハ會線ニ沿ヒテ頭楯ト同様
ノ點刻ヲ有スルモ後頭ニ向ツテ散布ス然シ後頭部ニハ小ニシテ密ナル
點刻ヲ有ス。

胸背板ハ綠色ナルモ兩側縁ニ沿ヒテ細キ黃色部アリ上面小點刻ヲ散
布ス中央ニハ滑カナル縦線アリ。

稜狀板ハ光澤ヲ有シ甚ダ微細ナル點刻アリ。

翅鞘ハ凡ソ五ノ不明ナル縦隆條ヲ有ス隆條ハ中間部ト同高ニシテ平
カナリ側縁襞ガ外縁角ニ於テ著シク扁平ニ突出ス。

尾節板ハ密ナル皺狀點刻アリ小數ノ刺毛ヲ具フ先端ニ近ク黃色ヲナ
ス。

脚ハ銅褐色ニシテ綠色光澤アリ雄ハ前脛節ノ先端ノ外齒大ニシテ尖
ル。

下面光澤アル銅褐色ニシテ腹節ニ一列ノ刺毛ヲ存ス。

本種ハ沖縄ニテ知ラレタルモノナルガ又臺灣ニ於テ石田氏採集標本
ニ之ヲ見ルコトヲ得タリ。

こがねむし

Mimela splendens Gyll.

Schönh. Syn. Ins. I, 3, 1817, Append. p. 110 (*Melolontha*).

Hope, Proc. Zool. Soc. London VII, 1839, p. 75

Ann. Mag. Nat. Hist. IV, 1840, p. 351 (*Euchlora*)

- Burm. Handb. Ent. IV, 2, 1855, p. 506.
 H. Bates, Proc. Zool. Soc. London 1888, p. 375.
 Entomologist XXIV, 1891, Suppl. p. 77.
 Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. (8) I, 1908, p. 248.
 Ohaus, Deutsche Ent. Zeitschr. 1908, p. 644.
 Archiv f. Naturg. 1916, A. 4, p. 3.
 (*M. concolor*) Blanch. cat. Col. Ent. Col. 1850, p. 196.
 (*M. Davidis*) Fairm. Ann. Soc. Ent. France (6) VI, 1886, p. 330.
 (*M. Gaschkewitchi*) Motsch. Etud. Ent. VI, 1857, p. 32.
 Harold, Verh. Nat. Ver. Bremen V, 1876, p. 127.
 Arrow, Trans. Ent. Soc. London 1899, p. 273.
 (*M. Lathamii*) Hope, Trans. Ent. Soc. London I, 1835, p. 113.
 Burm. Handb. Ent. IV, I, 1844, p. 287.
 (*M. lucidula*) Hope, Trans. Ent. Soc. London I, 1835, p. 113.
 Burm. Handb. Ent. IV, 1, 1844, p. 287.
 Har. Deutsche Ent. Zeitschr. XXII, 1878, p. 72.
 Heyd. l. c. XXIII, 1879, p. 345.
 Reitter, Verh. Nat. Ver. Brünn XLI, 1903, p. 53.
 (*M. Simplex*) H. Bts. Proc. Zool. Soc. London 1866, p. 345.

本種ハ既記ノ如ク學名ノ訂正ヲナセルモノナルガ又茲ニ文献ノ前報告ニ不備ノモノアリタルヲ再記セリ。

著シク赤色ヲ帶ベル變種 *var. corrusca* Heyd. ハ丹波, 大江山採收ノモノ一個ヲ有ス青味ヲ帶ベル *var. cyanicollis* Ohs. (臺灣産) ハ予等ノ標本ニ之ヲ欠ク。

きいろつやこがね

Mimela testaceoviridis Blanch.

Taf. II. fig. 12.

- Cat. Coll. Ent. Col. 1850, p. 197.
 Waterhouse, Trans. Ent. Soc. London 1875, p. 112.
 Ohaus, Archiv f. Naturg. 1916, A. 4, p. 3.
 (*M. surigera*) Heyd. Deutsche Ent. Zeitschr. XXX, 1886, p. 291.
 Fairm. Rev. d' Ent. VI, 1887, p. 318.
 Reitter, Verh. Nat. Ver. Brünn XLI, 1903, p. 54.

產地 China: Peking, Shanghai, Formosa, Japan; 臺灣, 朝鮮

(58)

體長 15—17 幅 8,5—10 mm.

黃色ニシテ胸背板ハ強キ光澤アリ翅鞘ノ兩側ヨリ先端金色ヲ帶ブ。中胸腹片ノ突起ハ三角形ヲナス著シク大ナラズ。

頭楯ハ黃色ナルモ綠色ノ光澤アリ。點刻ハ淺クシテ密ナリ。前頭部ハ小ナル點刻ヲ散布ス。

胸背板ハ底邊ノ中央部ノ外ハ細キ縁ヲ有ス。上面ノ光澤強ク點刻小ニシテ稍ヤ密ナリ。

稜狀板ハ胸背板ト同ジク光澤ヲ有シ、微小ナル點刻ヲ散布ス。

翅鞘ハ淡黃又ハ淡黃褐色ニシテ側方ヨリ先端ニ金色ヲ帶ブルモノ多シ。

縦隆條三個ヲ點線ニヨリ區別シ得ベシ。條上ハ滑カナルモ中間部ハ不規則ナル點刻ヲ有ス。

尾節板ハ稍ヤ瘤狀ヲナシ細點刻ヲ有ス。側縁ヨリ先端ニ黃褐色ノ刺毛ヲ存ス。

下面ハ強キ光澤アル濃褐色又ハ銅色ニシテ綠色光澤ヲ呈ス。

脚ハ黃褐色ニシテ跗節ハ濃色ナリ。後脛節ハ中央大ニシテ先端ニ近ク狹シ。

本種ハ臺灣、朝鮮ニ於テ最モ普通ナル種類ナリ。

Mimela testaceoviridis Blanch. subsp. **chryseis** H. Bates

Proc. Zool. Soc. London 1866, p. 345

此ノ亞種ハ臺灣ニ産スルモノニシテ著シキ銅赤色ノ光澤ヲ上面ニ存ス。

たいわんつやこがね

Mimela excisipes Reitter.

Taf. II. fig. 13.

Verh. Nat. Ver. Brünn, XLI, 1903, p. 54.

Ohaus, Archiv f. Naturg. 1916, A. 4, p. 3.

產地 Central-China, Formosa; 臺灣

體長 18 幅 11 mm.

長橢圓形ニシテ最モヨクこがねむしニ似テ綠黑色ヲナシ強キ光澤ヲ有ス。

頭楯ハ前方狹ク中央少シク隆マリ、淺キ點刻ヲ密布ス。頭部ニハ小點刻ヲ散布ス。

胸背板ハ前及ビ後緣ノ中央部緣ヲ有セズ。後緣角圓味ヲ帶ブ。上面ノ點刻ハ微小ニシテ散在ス。

翅鞘ハ細微ナル點刻ノ列線ヲ認メ得ベシ。隆條不明、凡テノ點刻一樣ニシテ甚ダ細微ナリ。

尾節ハ簡單ニシテ細點密ナラズ。其ノ前節ニハ一橫線ヲ有ス。

下面ハ綠色ニシテ時ニ褐色ヲ帶ブ。各腹節ノ側方ニハ淡褐色ノ毛ヨリ成レル稍ヤ粗ノ毛群アリ。

後脚ノ腿節ハ後緣ニ於テ先端ノ前ニ著シク灣入シ鈎狀ニ曲レルガ如キ觀ヲ呈ス。原記載ニ由ルトキハ前脚ノ腿節脛節共ニ黃褐色ヲナシ、或ハ中後脚モ同色ヲナスコトアリト云フ。予等ノ標本ハ皆綠色ヲナス。此ノ變化ハこがねむしニ於テモ認メ得ラル、ヲ以ツテ他ノ特性殊ニ後脚腿節ニ由リテ此ノ種ヲ決定セリ。

うすちやこがね屬

Phyllopertha Stephen.

本屬ニ於テ予等ノ標本ヲ得ザリシ *Phyllopertha maculicollis* Reitt. ハうすちやこがね *Phyllopertha diversa* Waterh. ト同一ニシテ此ノ學名ハ其ノ異名トナルモノナリ。

別ニ一新種ヲ加フ。

たいわんせまだらこがね

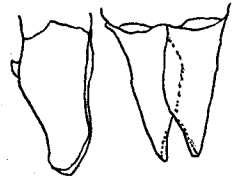
Phyllopertha okiwaensis Ohaus

產地 臺灣

體長 9 幅 5 mm.

せまだらこがねニ最モヨク似ル。長卵形ニシテ稍ヤ圓味ヲ帶ブ。赤黄色ヲ基調トシ後頭部ニ二個、胸背板ニ一個ノ大形及ビ二個ノ小形ノ黑褐色斑紋アリテ綠色金屬光澤ヲ呈ス。稜狀板ノ先端亦同色ナリ。翅鞘ハ會合線、肩部、稜狀板下ノ斑紋及ビ後縁ニ近キ鋸齒狀斜條ハ黑褐色ナリ。基節ト胸部トハ全ク黑褐色ナリ。脛節及ビ附節モ同色ナルモ腿節ノミハ一長黑線ヲ呈ス。

頭楯ハせまだらこがねヨリ狹長ナリ。其褐色縁ハ上反ス。光澤弱クシテ平カナル。前頭部ト同ジク皺狀點刻ヲ有ス。後頭、胸背板及ビ稜狀板ハ稍ヤ強キ密ナル點刻ヲ有ス。胸背板ヨリ稜狀板ニハ中央ニ縦線ヲ有ス。



翅鞘上ニハ第一點條ハ溝狀ヲナシ縦隆線ト中間帶ハ同高ヲナス。第一中間帶ハ點列ニ由リテ分タレタル二ノ副隆條ヲ有ス。全上面ハ單細點ヲ散布ス。

第九圖
たいわんせまだら
こがねノ雄交尾器
(Ohaus 原圖)

尾節板及ビ其前節ハ稍ヤ粗ナル斜裂傷ヲ有シ其間ニ圓狀點刻ヲ散布ス。側縁ヨリ先端ニ黃色刺毛ヲ存ス。腹節モ同様ノ點刻ヲ有シ胸部ト基節トハ密ニ合着セル圓狀點刻ニテ被覆セラレ灰黃色毛ヲ有ス。前脛節ハ強キ側齒ヲ具フ。中後脛節ニハ各一ノ斜棘狀ノ角ヲ存ス。觸角ノ片狀節ハ柄部ト略同長ナリ。

雄交尾器ハ第九圖ノ如シ。

本種ハ石田昌人氏採收ノ雄標本ニ由リ記載セラル。

たいわんくろひめすじこがね

Phyllopertha chalcoides Ohaus

Taf. II. fig. 14.

產地 臺灣

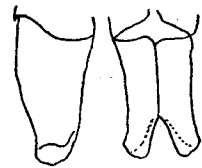
體長 9 幅 5 mm.

體色變化ニ富ム雄ハ上面淡銅赤色ニシテ強キ光澤アリ。胸背板上少シク綠色光澤アリ。下面及ビ脚ハ黑褐色ニシテ弱銅色光澤アリ。雌ハ上面淡綠色ニシテ銅光アリ。下面黑褐ニ銅光ヲ有ス翅鞘ノ側部ト脚ハ淡褐黃色ニシテ銅色光澤ヲ現ハス上下面共ニ上向セル毛ヲ有ス觸角ハ黃色ニシテ片狀節黑褐色ヲナス。

頭楯ハ稍ヤ幅廣ク前緣強ク上反ス前後頭部ト同ジク密ニ粗大ナル皺刻ヲ有ス胸背板ハ點刻粗大ナラズシテ皺刻狀ヲナサズ。

中央ノ縱溝明カナリ。

翅鞘上ノ第一點條ハ強キ溝狀ヲナシ點刻ハ大ニシテ深シ第一中間帶ノ點刻ハ相混雜シ第二、第三ニテハ一點列ヲナス全上面ハ微細ナル點刻ヲ散布シ且ツ大ナル點刻ノ間ニ短カキ斜裂刻ヲ存ス。



第十圖
たいわんくろひめす
じこがねノ雄交尾器
(Ohaus 原圖)

尾節板ハ光澤ヲ有シ僅少ノ小斜裂刻ト小點トヲ具フ。

雄交尾器ハ第十圖ノ如シ。

本種ハ高橋良一氏採收ノ標本ニ由リ記載セラレタルモノナリ。

たいわんうすちやこがね

Phyllopertha formosana Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf II. fig. 15.

產地 臺灣

體長 13 幅 7 mm.

うすきいろこがねニ似ルモ稍大ニシテ翅鞘上ニ著シキ線條ヲ缺ク黃褐色ニシテ綠色ノ光澤アリ。

頭楯幅廣クシテ短カク兩側ニ並行シ前緣ハ平カニシテ反張ス前緣角ハ圓味ヲ帶ブ黃褐色ニシテ會線ニ沿ヒ黑褐色ヲナス。密ニ點刻アリ。頭部ハ黑褐色ニシテ銅色光澤アリ前頭部ハ頭楯ト同ジク密ナル點刻アリ後

頭部ハ點刻稍ヤ強キモ密ナラズ。

胸背板ハ幅廣ク長サ凡ソ幅ノ二分ノ一ナリ。兩側ノ中央ヨリ前方ニ著シク狭ク後緣角ニ向テ稍ヤ灣曲ス後緣角少シク尖ル。前緣角ハ鈍ク突出ス黃褐色ナルモ上面ノ大部黑褐色ノ斑紋ヲ有ス上面稍ヤ強ク然シ密接セザル點刻ヲ存ス兩側緣ハ細長ノ刺毛ヲ列生ス。

稜狀板ハ黑褐色ニシテ點刻ハ不規則ニ散布ス。

翅鞘ハ黃褐色ニシテ強キ銅色ノ光澤アリ。緣襞ハヨク發達シ側緣ノ中央ニ及ブ第一ノ點線ハ淺ク窪ム三個ノ縱隆條ヲ存スルモ、其ノ第一ノモノ最モ明カニシテ點刻ヲ有セズ第一ノ中間部ハ幅廣ク大小二種ノ點刻ヲ有ス第二ノ中間帶ニハ襞狀ノ皺ヲ有ス其ノ上部ノ角ハ圓味ヲナス。

尾節板ハ幅廣キ三角形ヲナシ先端圓味ヲ帶ブ濃褐色ニシテ銅光アリ。細カキ皺刻ヲ密布シ上面ニ細ク先端ニ長キ白色毛ヲ生ズ。下面黑褐色ニシテ銅光ヲ帶ブ腹部ノ尾節及ビ尾節前ノ一節ハ前緣ニ沿ヒテ黃褐色ノ帶斑ヲ有ス他ノ環節ハ兩側ニ同色ノ小斑ヲ具フ。稍ヤ強キ點刻アリテ白色ノ細毛ヲ生ズ胸部ハ密ニ皺刻ヲ有シ、長キ白色毛ヲ生ズ。

脚ハ黃褐色ニシテ、前脛節ハ一ツノ大ナル端齒ト小ナル第二齒ヲ有ス。

觸角ハ九節ヨリ成リ、柄部黃色ニシテ片狀節ハ黑色ナリ。第五節ハ其前節ヨリ長ク第六節最小ナリ。片狀節ハ柄部ノ略ボ半ナリ。

予等ノ標本ハ高橋氏ニヨリテ恐ラク臺北ヨリ採收セラレタル雌一個ナルガ特殊ノ性質ヲ有スルヲ以テ之ヲ新種トシテ記載スルコト、セルモノナリ。

しなちやいろこがね

Adoretus (Lepadoretus) sinicus Burm.

Taf. II. fig. 16.

Handb. Ent. IV, 2, 1855, p. 532.

Ohaus, Entom. Blätter VIII, 1912, p. 227, f. 4.

Archiv f. Naturg. 1916, A. 4, p. 1.

產地 China, Formosa, Hinter-Indien, Java bis Timor, Hawai; 臺灣(松村, 村山),

臺北(高橋, 新戸邊), 臺南(石田), 埔里社(齋藤, 川村), タカオ(楚南),

體長 9.5—12 幅 4.5—6 mm.

暗褐色ニシテ光澤アリ。灰白色ノ鱗毛ヲ有ス。翅鞘上及ビ其ノ先端ニ近ク鱗毛群ヨリ成レル小斑アリ。

頭楯ハ側縁ヨリ前縁ニ弱キ弧線ヲナス。縁線狭クシテ黑色ヲナシ上反ス之レニ沿フテ鱗毛密ナリ。頭部ノ點刻強クシテ稍ヤ密ナリ。後頭部ノ中央ニ小隆起ヲ存ス。

胸背板ハ幅廣クシテ長サノ凡ソ三倍ナリ。側縁ハ前方ニ幅狭ク前縁角ハ僅カニ突出ス。後縁角ハ直角ニ近クシテ圓味ヲ帶ブルコトナシ。

翅鞘ハ稍ヤ密ニ鱗毛ヲ存ス。隆條ハ明ラカニ認メ得ベク其ノ上ニ鱗毛ノ集合ヨリ成レル小斑點ヲ列狀ニ存ス。又翅鞘ノ先端ニ近ク稍ヤ大形ノ鱗毛斑各一個ヲ有ス。

尾節板ハ先端圓クシテ中央ヨリ先端ニ近ク稍ヤ長キ毛ヲ群生ス。前脛節ニハ三個ノ銳齒ヲ具フ。中央ノモノハ先端ノモノニ近ク存ス。後脛節ハ先端ニ近ク内側ニ灣入シ。後脛節ハ先端ニ近ク少シク狹窄ス。

本種ハ臺灣ニ於ケル普通種ノ一ナリ。

あらびちやいろこがね

Adoretus (Chaetadoretus) hirsutus Ohaus.

Taf. II. fig. 17.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1914, p. 503, f. 37.

Archiv f. Naturg. 1916. A. 4, p. 1.

產地 Süd-China, Formosa, Java; 臺灣, クラル(江崎)埔里社

體長 11—12 幅 5.5 mm.

長橢圓形、淡茶褐色。上面白色ノ細毛ヲ稍ヤ密生ス。

頭楯半圓形ヲナシ、縁線細クシテ上反ス。頭部ト同ジク點刻ハ弧線狀ニ排列シ各點刻ヨリ白色ノ短毛ヲ生ズ。眼ノ側縁及ビ頭楯ノ前縁ニハ稍長

キ刺毛ヲ存ス。口吻ハ先端ニ於テノミ隆線アリ。基部ハ上唇ト同様尖レル瘤起ヲ存ス。

胸背板ハ幅廣ク凡ソ長サノ二倍半ナリ。上面ハ強キ點刻アリテ各一白毛ヲ生ズ。後緣角ハ圓味ヲ帶ビ、前緣角ハ甚ダ僅カ突出ス。

翅鞘ハ規則立チタル縱隆條ヲ認メ得ベク、其ノ點條ハ少シク溝狀ヲナス。中間部ハ強キ不規則ナル點刻ヲ有ス。稍ヤ密ナル白色毛ヲ具フ。其ノ他縱隆條上ハ上向セル刺毛ヲ散生ス。側緣ハ細カキ切込ミアリテ刺毛ヲ生ズ。

尾節板ハ少シク長形ニシテ先端圓シ。密ナル白毛ヲ存ス。

前脚ノ脛節ハ三齒ヲ有ス。其ノ距離ハ略ボ同ジ。中脛節ハ先端少シク廣大シ、一ノ棘刺アル角ヲ有ス。後脛節ハ稍ヤ幅廣ク、中脚ト同ジク一ノ棘刺アル角ヲ存シ、後附節ハ黑褐色ヲ呈ス。

予等ハ江崎氏採取ノ標本二個及ビ埔里社產二個ノ標本ヲ有ス。

たいわんちやいろこがね

Adoretus (Chaetadoretus) formosanus Ohaus.

Taf. II. fig. 18.

Deutsche Ent. Zeitschr. 1914, p. 503, f. 38.

Archiv f. Naturg. 1916, A. 4, p. I.

產地 Formosa; 臺灣・臺南(石田)・臺北(高橋、新戸邊)・埔里社(川村)・クラル(江崎)

體長 9.5—11.5 幅 4.5—6 mm.

長橢圓形ニシテ淡赤褐色、黄褐色ノ脚ヲ有シ、稍ヤ強キ淺キ點刻ヲ存ス。上面灰黄色ノ細毛ニテ稍ヤ密ニ被覆セラル。

頭楯ハ弧片狀ヲナシ、緣邊濃色ニシテ上反ス。會線ハ殆ンド一直線ヲナス。口吻ハ先端平カニ切斷セル狀ヲナシ、短カキ縱隆線ヲ有ス。上唇部ニハ縱隆線ヲ有セズ。兩側黑色ニシテ小鋸齒狀ヲナス。之ニ沿フテ一列ノ小瘤起アリ。上面ハ毛ヲ有シ點刻ヲ存ス。

胸背板ハ長サノ凡ソ三倍ノ幅ヲ有ス。前緣ハ僅カニ前方ニ弧線狀ヲナ

シ、後縁ノ弧線モ亦弱シ。兩側ハ少シク圓味ヲ帶ブ。後縁角ハ圓味ヲ帶ビ、前縁角ハ略ボ直角ニ近シ。上面ノ中央ニ淺キ縦ノ窪ミヲ有ス。點刻稍ヤ強シ。

翅鞘ノ第一隆線ハ稍ヤ明カニシテ、其レニ接スル點條ハ淺キ溝狀ヲナス。點刻ハ稍ヤ強ク、不規則ニ横ニ連續ス。全面ニ細毛ヲ有スル。外側縁ニ刺毛ヲ列生ス。

尾節板ハ先端圓味ヲ帶ビ、稍ヤ密ニ白色ノ毛ヲ生ズ。

脚ハ太ク、前脛節ニ三齒ヲ有ス。其ノ中央ノモノハ前端ノ齒ニ少シク近ク存ス。中脛節ハ稍ヤ細ク、先端ニ近ク、狹搾スルコトナク、一ノ強銳ナル刺棘アル。角ヲ有ス。後脛節ハ幅廣キモ、先端ニ近ク幅狹シ。先端ノ角ハ著シカラズ。

5. はなむぐり亞科

Cetoniinae

ゑぐりこがね屬 (*Macronota*) 中ニ於テ訂正ヲ要スベキモノ次ノ如シ。

よつすじゑぐりこがね *Macronota formosana* Nijima et Matsumura. ハ

Macronota Perraudieri Fairm.

Ann. Soc. Ent. Belg. XXXVII, 1839, p. 294 (*Taeniodera*).

Arrow, Brit. India, Lamell. I, 1910, p. 43, 61 (*Macronota*).

ナリ。

即チ Indochina, Assam ノ産ナルモ更ニ臺灣ニ産スルコトヲ明カニセルモノナリ。

ちやいろゑぐりこがね *Macronota fuscomaculata* Nijima et Kinoshita ハ

Euselates tonkinensis Mos.

Berl. Ent. Zeitschr. XLVI, 1901, p. 529.

subsp. *formosana* Mos. Deutsche Ent. Zeitschr. 1910, p. 298.

ナリ。

此ノ屬ハゑぐりこがね屬 (*Macronota*) ニ最モ近ク原種ハ Tonkin ニテ採集

セラレ亞種ハ臺灣産ナリ。

ほつぼうゑぐりこがね *Macronota hopponus* Nijima et Matsumura ハ *Coelodera nigroscutellaris* Moser var. *formosana* Mos. ナリ。

前報告ニ記載シ得ザリシつのこがね屬 (*Dicranocephalus*) ニ二種、くりんてりあ屬 (*Clinteria*) ニ一種、こすみをもるふあ屬 (*Cosmiomorpha*) ニ一種、しろてんはなむぐり屬 (*Potosia*) ニ二種ヲ調査シ得タリ。

ほそはなむぐリハ前報告ニ其ノ學名ノ決定ニ疑ヲ存シ置キタルガ原記載ト規範標本ニ由リテ *Callynomes obsoletus* Fairm. ナルヲ確メ得タリ。

てうせんつのこがね

Dicranocephalus Adamsi Pasc.

Taf. II. fig. 21.

Journ. Ent. II, 1863-66 (1863), P. 25.

Jans. Proc. Ent. Soc. Lond. 1894, p. VIII.

Schoch, Gatt. u. Arten Cetoniidensamml. I. Nachtr. 1895, p. 69;

Mitteil. Schweiz. Ent. Ges. IX, 1893-97 (1897), p. 451.

產地 Korea, Osttibet: Moupin; Westchina: Sse-tschuan; 朝鮮

體長 22(角狀附器ヲ除ク) 幅 12.5 mm.

體ノ地色ハ黑色ナルモ胸背板及ビ翅鞘ノ大部分ハ灰色ノ粉狀物ニテ被覆セラレ同色ヲ呈ス。只胸背板上ニ二個ノ大ナル縦帶ト翅鞘ノ肩及ビ先端ニ小黑斑ヲ存ス。

雄ノ頭部ニハ頭楯ノ突出セル大ナル角狀部ヲ存ス。角ノ先端ハ強ク灣曲シ、中央ヨリ稍ヤ基部ニ近ク一銳齒ヲ具フ。頭楯ハ褐色ヲ帶ビ微細ナル點刻ヲ密ニ存ス。會合線ハ不明ナリ。頭部ハ黑色ニシテ眼ニ沿フテ灰白色ノ斑紋ヲ有ス。

胸背板ハ稍ヤ圓形ニ近ク前縁ニ向ヒテ著シク狹シ。縁線及ビ上面ノ光澤アル二縦帶ノミ黑色ヲナシ他ハ灰色ナリ。稜狀板ハ正三角形ニシテ銳ク尖リ光澤アル黑色ヲ呈シ基部ニ灰色毛ヲ具フ。

翅鞘ノ地色ハ黑色ニシテ稍ヤ褐色ヲ帶ズ。肩及ビ先端ニ近キ隆狀部ニ

同色ノ斑紋ヲ有スル外總テ灰色ヲ以テ被覆セラル灰色部ニハ甚ダ微細ナル點刻ヲ多ク存ス。

尾節板ハ灰黃色ヲナシ淡褐色ノ刺毛ヲ生ズ。其ノ刺毛ハ二三連絡シテ列狀ヲナス。腹面ハ全部尾節板ト同色ヲナシ只尾節ノ全部、腹節ノ縁線ハ光澤アル黒褐色ヲ呈ス脚ハ基節ノ大部ト中及後腿節ノ一部ニ灰色斑ヲ存ス。前脛節及ビ全附節ハ黒色ヲナシ他ノ脚節ハ黒褐色ヲ呈ス前脛節ニハ三個ノ鋭キ外齒ヲ有ス前附節ハ著シク長シ。

予等ノ標本ハ長谷川氏ノ京城ニ於テ採收セルモノニシテ岡本博士ノ厚意ニヨリテ得タルモノナリ。

たいわんつのがね

Dicranocephalus Bourgoini Pouillaude.

Taf. II. fig. 19. (♀) Taf. II. fig. 20. (♂)

Insecta IV, 1914, p. 293.

產地 Formosa; 臺灣

體長 18—22 幅 10—12 mm. ♂ノ角ハ4—6 mm.

灰色、茶色又ハ黃褐色ニシテ胸背板ノ前方ノ近クニ二條ノ黒線アリ、翅鞘ノ肩及ビ先端ニ近ク又黒色短條アリ、脚及ビ角ハ褐色又ハ濃褐ナリ。一個ノ雌標本ハ全ク黒褐色ヲ呈ス。

雄ノ頭部ハ中央ニ黒色ノ接近セル二條ヲ有ス。頭楯ノ突出セル角狀部ハ大形ニシテ側方ヨリ見ルトキハ厚肥ス角上ニハ二齒アルモ小ナル標本ニテハ先端ノ齒ハ明カナラズ雌ハ全ク角狀附器ナシ。

胸背板ハ前半著シク圓ク隆起ス。灰色ヨリ茶色ニ及ブモ一標本ニテハ黒色ヲナス。兩側ノ中央ヨリ前方急ニ狹搾ス。前縁ノ中央部ニ近ク二條ノ光澤アル黒條アリ。

稜狀板ハ稍ヤ鋭ク尖リ、灰白色ヲナス。

翅鞘ハ上面扁平ニシテ肩部ニ略ボ三角形ヲナセル漆黒色ノ隆斑ト翅端ニ近ク同色ノ短條斑アリ。

尾節板ハ翅鞘ト同色ヲナス。

腹部ハ濃褐色ヲナス。尾節及び其ノ前節ニ淡黄ノ刺毛ヲ存ス。前脚ノ跗節著シク大ナリ。

雄交尾器ハ長形ニシテ先端ニ黄褐色ノ短毛ヲ群生ス。

本種ハ臺灣産ニシテ本學昆虫學教室所藏標本♂4♀3柳原氏採收♂1♀1ニ由ル。

たいわんちやいろかなぶん

Cosmiomorpha similis Fairm.

Taf. II. fig. 23, Taf. III. fig. 11.

Ann. Soc. Ent. France LXVIII, 1899, p. 621.

產地 Formosa; 臺灣(内田)基隆, 太平山(加藤), 宮古島

體長 16—19 幅 8—10 mm.

體濃褐色上面ニ黄褐色ノ短毛ヲ有ス。

頭楯ハ略ボ四角形ニシテ前縁弱キ波狀ヲナス。前縁角ハ圓味ヲ帶ビ點刻ハ粗ナリ。前頭部トノ會線不明ナリ。

胸背板ハ光澤無ク基部ニ於テ幅最モ廣ク中央ヨリ前方ニ強ク狹搾ス。上面濃褐色ナルモ、前縁及び後縁ノ中央部黑色ニシテ側縁ニ近ク少シク前方ニ一黒斑アリ。點刻ハ大ニシテ稍ヤ密ナリ。點上ニ短カキ鱗毛狀ノ黄褐色毛ヲ存ス。

稜狀板ハ先端尖リタル三角形ニシテ黑色ヲナシ小數ノ鱗毛アリ。

翅鞘ハ會線及び二個ノ隆條, 光澤ヲ有シ, 中間部ハ不規則ナル點刻ト明カナル黄褐色ノ鱗毛ヲ存ス。

尾節ハ基部ニ近キ兩側ト先端ニ弱キ瘤起ヲ有ス。稍ヤ皺狀ノ點刻ト黄褐色毛ヲ有ス。

腹面ニハ胸節ニ長キ黄色毛ヲ有ス。腹節ハ光澤アリ小數ノ強キ點刻ト黄毛ヲ存ス。尾端ニ黄色ノ刺毛ヲ列生ス。

脚ノ前脛節ノ外齒ハ雄ニアリテ中央ニ痕跡ヲ止ムルノミナルモ雌ハ

明カニ三個ヲ具フ。

雄交尾器ハ長形ニシテ先端ニ黃色毛ノ小群ヲ有ス。

本種ハ臺灣産トシテ知ラレタルモノナルガ又宮古島産ノ一標本ヲ驗スルヲ得タリ何レモ本學昆虫學及林學教室所藏ナリ。

Cosmiomorpha similis Fairm. var. **nigra** Nijima et Kinoshita n. var.

雄體黑色ニシテ體面ノ灰黃色ノ鱗毛強ク翅鞘ノ會線及ビ隆線光澤ヲ有ス。雌鱗毛殆ンドナク、全ク黑色ヲナス。雄交尾器ノ形狀全ク本種ト變化ナシ。石垣島産ニシテ雄ハ松村氏、雌ハ平山氏採集ノ標記ヲ有ス共ニ本學昆虫學教室所藏ナリ。

けはねかなぶん

Rhomborrhina (*Torynorrhina*) **fulvopilosa** Mos.

Taf. II. fig. 26

Ann. Soc. Ent. Belg. LV. 1911, p. 120.

subsp. *formosana*, Deutsche Ent. Zeitschr. 1912, p. 562.

產地 China: Canton, Formosa; 臺灣

體長 32 幅 15 mm.

本種ノ屬スル亞屬とりのりな *Torynorrhina* ハ頭楯稍ヤ長形ニテ前方ニ幅廣ク前緣圓味ヲ帶ブ。胸背板略ボ三角形ニ近ク後緣角ハ明カナルモ突出セズ。後緣ノ中央稜狀板ノ前部稍ヤ矢筈形ヲナス。稜狀板ノ兩側ハ僅カニ波狀ヲナシ先端銳シ。翅鞘ニ毛ヲ存ス。胸部ノ突起ハヨク發達シ先端幅廣ク丸味ヲ帶ブ。中後脚ノ脛節ハ内緣ニ列狀ノ毛ヲ有ス。

本種ハ上面銅赤色ヲ帶ビ稍ヤ綠色ノ光澤ヲ有ス。翅鞘上ニ褐色ノ毛ヲ生ジ腹部黑色ナリ。

頭楯ハ前方幅廣ク前緣上反ス。前緣角圓シ。頭部ト共ニ綠色ヲ帶ビ稍ヤ強キ點刻ヲ有ス。後頭部ノ點刻ハ小ニシテ粗ナリ。

胸背板ハ光澤ヲ有シ上面ノ點刻小ニシテ粗ナルモ側緣ニ近ヅクニ從

ヒ大ニシテ密ナリ稜狀板ハ少數ノ細點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ銅赤色ニシテ會合線ノミ綠色ヲ帶ブ上面ニ針裂狀ノ點刻多ク存在ス先端ノ兩側ハ強キ網狀刻ヲ呈ス。點上ニハ褐色ノ毛ヲ生ズ。

尾節板ハ暗綠色ニシテ斜狀ノ裂刻ヲ有シ長キ褐色ノ刺毛ヲ存ス。

下面ハ腹部眞黑色ヲナシ中央ニ細カク側方ニ稍ヤ粗ナル點刻ヲ有ス。胸部及ビ脚ノ腿節ハ綠褐色ヲ帶ブ。胸部及ビ腹部ノ兩側ニハ褐色毛ヲ生ズ。腹部ノ尾端ニハ多クノ褐色刺毛ヲ存ス。胸部ノ突起ハ先端幅廣ク圓味ヲ帶ブ雌ノ前脛節ニハ二箇ノ外齒ヲ有ス。

本種ハ最初支那産ノ標本ニヨリ記載セラレ後臺灣産ノモノニ對シ亞種 *Rh. fulvopilosa* Mos. subsp. *formosana* Mos. ヲ記載セラレタリ。臺灣産ノモノハ色澤ニ於テ少シク異ナリテ體形稍ヤ狹細、頭楯前縁ノ上反著シカラズ。然レドモ此レ等ノ變化ハ只地方的ノ差異ニ止マルモノトシテ認定セラレタリ。

予等ノ標本ハ埔里社及ビ嘉義ニ於テ採集セル雌二個ニシテ原種ノ記載ニ異ナルハ稜狀板ガ黑色ナラズシテ胸背板及ビ翅鞘ト同色ヲ呈スルコトナリ。

くろはなむぐりもどき

Clinteria aeneofusca Bourgoïn.

Taf. II. fig. 22.

Bull. Soc. Ent. France 1915, p. 467.

產地 Formosa; 臺灣, 埔里社(齊藤)

體長 11.5—12 幅 6.5mm.

黑色ニシテ翅鞘ノ中央及ビ先端ニ灰白色ノ斑紋アリ外形最モヨクくろはなむぐりに似ルモ胸背板ノ基部全ク形ヲ異ニスルヲ以テ直チニ區別シ得ベシ。

頭楯長方形ヲナシ側縁ヨリ前縁ニ肥厚シ前縁ノ中央灣入ス。前縁角ハ圓味ヲ帶ブ。前頭部ノ兩側ニハ強キ不規則ナル點刻ヲ有ス。中央ノ縱隆起

ハ後頭ニ及ブ。

胸背板ハ前縁ニ向テ著シク狭搾ス後縁ノ中央ハ此屬ノ特質トシテ後方ニ突出シ稜狀板ハ殆ンド之ヲ見ル能ハズ上面細點刻ヲ存シ少シク銅色光澤アリ。

翅鞘ハ中央ヨリ少シク後方ニ灰白色ノ鱗毛ヨリ成レル斜狀ノ稍ヤ大形ノ斑紋アリ。先端ニ近キ兩側ニモ又同様ノ小ナル斑紋ヲ存ス。線條ノ部ニハ大ナル半圓形ノ點刻ヲ縱列狀ニ存ス。

尾節板ハ光澤ナク横皺狀ノ點刻アリ。

腹面及ビ脚ハ黑色ニシテ強キ光澤アリ。脚ノ前脛節ノ外齒ハ二個ニシテ銳シ。基節ヨリ腿節ニ黃褐色ノ毛ヲ生ズ。

予等ノ標本ハ臺灣埔里社北海道帝國大學演習林ニテ採取セラレタル二個ナリ。

たいわんしろてんはなむぐり

Potosia (Calopotosia) formosana Moser.

Taf. II. fig. 24.

Ann. Soc. Ent. Belg. LIV, 1910, p. 357.

(*Protaetia inquinata*) Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. (8) 1913, p. 406, 407.

產地 Formosa; 臺灣, 埔里社

體長 19—21 幅 12—13 mm.

強キ光澤アル藍黒又ハ綠黑色しろてんはなむぐリニ似テ翅鞘ノ小白斑更ニ小ナリ。

頭楯四角形ヲナシ前縁著シク上反セズ。明カニ灣入シテ二片形ヲナス。上面瘤起シ不規則ノ點刻アリ。會線不明。前頭部ハ頭楯ヨリ稍ヤ強クシテ散布セル點刻アリ。

胸背板ハ小ナル六個ノ灰白色ノ點斑アリ。點刻ハ細小ニシテ散布ス。

稜狀板ハ光澤アリ全ク點刻ヲ欠ク。

翅鞘ハ稜狀板ノ兩側ヨリ上面ノ大部點刻ナク滑カナリ。側縁ニ近ク先

端ニ半月形ノ點刻ヲ存ス。しろてんはなむぐりト同位置ニ小白斑アリ。

尾節板稍ヤ密ニ斜狀ノ點刻ヲ有ス。雄ハ瘤狀ノ先端滑カナルモ、雌ハ兩側ニ多少ノ斜狀ノ凹ミアリ數個ノ小白斑ヲ有ス。

下面ハ中央平滑、胸部ノ側方ニ點刻アリ。腹部ノ兩側ニモ又小數ノ點刻アリ。且ツ一白斑ヲ存ス。

尾節前節ニ一雙ノ小白斑アリ。胸側ニモ甚小ナル二又ハ三個ノ同様ノ點斑アリ。

予等ノ標本五個中二個ハ藍色ニシテ三個ハ綠色(埔里社産)ナリ。

しなはなむぐり

Potosia famelica Jans.

Taf. II. fig. 25.

Cist. Ent. II, 1875-82 (1879), p. 539 (*Cetonia*).

Reitt. Verh. Nat. Ver. Brünn XXXVII, 1898, p. 81, nota 1 (*Potosia*).

Arrow, Ann. Mag. Nat. Hist. (8) XII, 1913, p. 407 (*Protastia*).

(*P. aeneiventris*) Kraatz, Deutsche Ent. Zeitschr. XXIII, 1879, p. 238 (*Cetonia*).

Reitt. Verh. Nat. Ver. Brünn XXXVII, 1898, p. 81 (*Potosia*); Best.-Tab. 38, 1898, p. 63.

(*Patomaria*) Fairm. Ann. Soc. Ent. Belg. XXXI, 1887, p. 116 (*Cetonia*).

(*P. minula*) Har. Bull. Soc. Ent. Belg. 1880, p. VI (*Cetonia*).

Jans. Cist. Ent. III, 1882-85 (1884), p. 110.

Reitt. Deutsche Ent. Zeitschr. 1891, p. 60 (*Potosia*).

Verh. Nat. Ver. Brünn XXXVII, 1898, p. 73 81; Best.-Tab. 38, 1898, p. 55, 63.

產地 Mongolei, Yünnan, China; 青島

體長 16 幅 9 mm.

長橢圓形ニシテ銅金色ヲナシ、少シク綠色光澤アリ。

頭楯ハ略ボ四角形ニシテ前縁ノ中央部ハ小ナル二片狀ヲナシテ強ク上反ス。上面密ナル點刻ヲ有ス。前頭部ハ中央縦ニ隆起シ點刻強クシテ密ナリ。

胸背板ハ凡ソ三雙ノ小白點アリ。後縁ニ近ク上面ノ兩側ニ密ナル點刻ヨリ成レル白斑アリ。中央ノ縦條部平滑ナリ。

翅鞘ハ稜狀板ノ兩側點刻少ナク、第一中間帶ノ後方三分ノ二ハ甚密ナル點刻ヲ有ス。しゐてんはなむぐりト略ボ同位置ニ小白斑ヲ存スルモ甚ダ不明ナリ。

尾節板ハ甚ダ密ナル皺刻ヲ有ス。

下面ハ光澤アル綠黑色ヲナシ、腹節ノ兩側ニ各二ノ白斑ヲ存ス。點刻粗布シ短カキ白色毛ヲ生ズ。脚ハ黑色ニシテ後腿節及ビ脛節ハ銅光ヲ帶ブ。

本種ノ我國ニ存スルモノハ前ニ掲記セル亞種 (Subsp. *amurensis* Heyd.) ナルガベルリン博物館ヨリ青島産ノ標本一個ヲ得タルヲ以テ之ヲ記載シタリ。本亞種ハ朝鮮産トシテ知ラレ上面金屬光澤アリ、下面綠色ヲナスモノナリ。予等ノ標本ニ之ヲ缺ク。

こあをはなむぐり

Oxycetonia jucunda Falderm.

甚ダシク色彩ノ變化ニ富メル種類ナルガ次ノ三亞種ヲ得タリ。

ab. *bealiae* Gory et Perch.

甚ダ美麗ナル種類ニシテ翅鞘上ニ帶狀ノ赤色斑ヲ有ス。臺灣産ナリ。

ab. *Kuperi* Schaum.

翅鞘綠色ニ白色ノ小斑ヲ有シ、赤色ノ帶狀斑紋ヲ具フ。朝鮮産ナリ。

ab. *dolens* Kraatz.

黒色ニシテ斑紋ヲ缺ク。臺灣及ビ北海道産ノ標本多數ヲ有ス。

だびどほそこがね

Callynomes Davidis Fairm.

Taf. II. fig. 27.

Ann. Soc. Ent. France (5) VIII, 1878, p. 107, t. 3, f. 6.

Hell. Notes Leyden Mus. XIX, 1897, p. 182.

產地 Zentralchina; 臺灣シルビヤ、能高山、大甲

體長 18,7 幅 7,2 mm.

體長方形黑色ニシテ光澤強シ。上面扁平翅鞘上ニハ黃褐色ノニツノ大ナル長方形狀ノ斑點アリ。

頭部黑色ニシテ幅稍ヤ廣シ。大ナル點刻ヲ密布ス。眼ハ小ニシテ著シク現ハレズ。頭楯ハ前頭トノ會線全ク不明ニシテ前頭部ニ對シ直角ニ下方ニ向ヒ垂直ニ垂ル。前縁上反シ側縁ヨリ前縁圓味ヲ帶ブ黑褐色ニシテ光澤アリ。上面點刻ヲ密布ス。

胸背板ハ扁平ニシテ深黑色、淺キ圓形ノ點刻ヲ散布ス。前縁ハ直線ヲナセドモ後縁角圓クシテ後縁及ビ側縁ハ半圓形ヲナス。

稜狀板ハ長三角形、先端長クシテ尖ル。上面黑色ニシテ僅カニ點刻ヲ有ス。

翅鞘ハ基部ニ於テ胸背板ヨリ幅廣ク後方稍ヤ狹細シ。上面扁平ナリ。稜狀板ノ下方部ハ少シク窪メリ。縱隆線ハ會合線ノモノ、外明瞭ナラズ、淺クシテ長キ點線狀ノ點刻ヲ縱列ス。黃褐斑紋ハ會合線ノ兩側ニ沿ヒ黃褐色ニシテ不規則ナル長方形ヲナス。其ノ一端ハ伸ビテ翅鞘ノ肩部ニ至ル。

尾節板ハ圓味ヲ帶ビ中央稍ヤ突出シ橢圓狀ノ稍ヤ大ナル點刻ヲ散布ス。

腹部ハ各節稍ヤ淺キ點刻ヲ密布ス。最終節ノ氣孔ハ突出シテ小疣狀ヲナス。

脚ハ比較的短クシテ強シ。前脛節ハ前方ニ向ヘル二齒ノ外、外方ニ一個ノ短齒ヲ有ス。跗節ハ四節ヨリ成リ短カシ。

本教室ニハ加藤及ビ鹿野兩氏ニヨリ採集セラレタル標本三個ヲ藏ス。本種ハ支那ヨリ記載セラレタルモノナルガ亦臺灣ニ稀ナラザルガ如シ。

6. とらはなむぐり亞科

Trichiinae.

本亞科中特ニ訂正又ハ加記ヲ要スルモノ次ノ如シ。

たいわんとらはなむぐり *Gnorimus formosanus* Nijima et Matsumura ハ

Trichius bifasciatus Moser

Berl. Ent. Zeitschr. XLVI, 1901, p. 532.

產地 Tonkin: Mauson-Berge.

ノ異名ナリ。

くろあしとらはなむぐり *Gnorimus Otsukae* Nijima et Matsumura ハおほと
らふこがね *Paratrichius Doenitzi* Harold ノ雄ナルヲ以テ異名トナル。但シ雄標
本中ニ此ノ色彩ヲ異ニスルモノ稀ニ存在ス。予等ハ朝鮮産 ガロア氏 (Gall
ois) 採集ニ一個ヲ檢スルヲ得タリ。

Gnorimus subopacus Motsch. ノ產地ニ Ostsibirien ヲ脱ス。

十七ほしはなむぐり *Trichius septemdecimguttatus* Snell. Voll. ノ屬名ヲ *Gnorimus*
ニ移ス。同種ノ產地ニ China ヲ脱ス。

とらはなむぐり屬 *Trichius* ノ中次ノ四種ヲ脱セリ。

Trichius lagopus Fairm.

Bull. Soc. Ent. France 1897, p. 166.

產地 Liu-Kiu

Trichius Ferriei Pouillaude

Insecta III, 1913, p. 125

產地 Liu-Kiu: Oshima

Trichius diversicolor Bourg.

Bull. Soc. Ent. France 1915, p. 177.

產地 Formosa.

Trichius cupreipes Bourg.

I. c. p. 175.

產地 Formosa.

未ダ此等ノ標本ヲ得ズ。

てふせんひめとらはなむぐり *Trichius succinctus* Pall. ノ屬名ヲらじをと
りきうす *Lasiotrichius* ニ改ム。此ノ屬ノ特性トシテ擧グベキモノ次ノ如シ。

らじをとりにきうす屬

Lasiotrichius Reitt.

前脛節ハ外縁ニ二齒ヲ有ス先端ノ内方ニ一端棘ヲ有ス。前附節ハ簡單ニシテ其ノ第一節ハ脛節ノ端棘ヨリ短カシ後脛節ハ後角ニ於テ一齒狀ノ突起ヲ存ス。

稜狀部ハ長形ニシテ先端圓味ヲ帶ブ。全體ニ毛ヲ有ス。此ノ屬ニハ唯一種テふせんひめとらはなむぐりガ記載セラル、ノミナリ。

7. ひらたはなむぐり亞科

Valginae

本亞科中とげひらたはなむぐり *Valgus tuberculatus* Lew. ノ屬名ヲ *Dasyvalgus* ニ改ム。

注 意

1. 本研究ハ第三回林業試験場主任者會議ノコがねむし研究ニ關スル決議ニ基キ各關係試験場ヨリ材料ヲ得タルモノ多シ。
2. 本號ニ記シタル昆蟲ノ和名ハ總テ新稱ニ屬ス。
3. 產地ノ外國字ニテ記シタルモノハ既記歐文ニテ發表セラレタル地名ニシテ邦字ニテ記セルハ實驗セル材料ノ產地ナリ。又活弧内ニ記セルハ採收者ノ名ナリ。

Beschreibung der neuen Arten.

Nachdem wir 1923 unsere Arbeit über „Melolonthiden Japans und ihre Verbreitung“ in Vol. II. Nr. 2 dieser Beiträge veröffentlicht haben, sammelten und erhielten wir wieder reichliches Material, welches wir unserer Sammlung beigelegt haben. Darunter befinden sich noch viele unbeschriebene Arten, 1925 unternahm der Autor Nijima eine Reise nach Europa; hier konnte er wichtige Literatur sehen, und auch bot sich ihm Gelegenheit typische Exemplare zu untersuchen, darauf hin ergab sich die Notwendigkeit einer Korrektur der vorher erwähnten Arbeit. In der vorliegenden Arbeit haben wir im Ganzen 12 neue Arten beschrieben und noch einige in Japan nicht gekannte Arten aufgeführt.

Unter den *Sericanien* sind dieses Mal 5 neue Arten, davon gehören 3 der Gattung *Autoserica*, 2 der *Sericania* an. Die aus dem Thibet stammende *Serica thibetana* Brenske wurde auch in Korea gefunden, drei chinesische *Autoserica*-Arten *stridula* Brenske, *laboriosa* Brenske und *gibbiventris* Brenske wurden in Formosa gesammelt und *gibbiventris* Brenske in Korea. Herr T. R. Gardner schickte uns 4 Exemplare *Autoserica castanea* Arrow die in Minnesota und Mt. Vernon gesammelt wurden um dieselben mit *Autoserica japonica* Motsch. zu vergleichen. Zwischen beiden Arten besteht kein Unterschied in den äusserlichen Merkmalen und der männlichen Genitalenbildung; auch die Originalbeschreibung ist fast die gleiche; darauthin reihen wir *A. castanea* Arrow als Synonymie der *A. japonica* Motsch. ein.

Von *Melolonthinen* ist die früher von uns als neu beschriebene Art *Holotrichia pruinosa* eine Synonymie der *H. lata* Brenske und war früher in China bekannt; ferner gehört; *Lepidiota cratacea* zu *Cyphochilus insulanus* Moser. Die von China und den sibirischen Gebieten beschriebene Arten *Apogonia chinensis* Moser, *Holotrichia sichotana* Brenske, *H. Titanis* Reitt. und *Sophrops striata* Brenske fanden wir in Korea; *Holotrichia Geilenkeuseri* Brenske und *Lasiopsis Sahlbergi* Mannerh. wurden in Formosa gesammelt.

Dichelomorpha Delauneyi Fleutiaux von der *Hoplinae* ist früher aus Annam beschrieben; wir fanden die gleiche Art in Formosa.

Die von uns beschriebene Art *Anomala tokioensis* ist ein Synonymie der *A. lucens* Ballion und *Popillia comma* ist eine der *P. insularis* Lew. *A. paleola* Gyll. aus Ostindien, *A. sinica* Arrow und *aulax* Wiedem. aus Süd-China beschrieben kommen auch in Formosa vor. *A. dimidiata* Hope aus Indien ist in Formosa gefunden worden. 2 Arten der *Ruterinen* haben wir als neu beschrieben.

Die von den *Cetoniinen* beschriebene Art *Macronota formosana* ist eine Synonymie von *M. Perraudieri* Fairm. diese war schon in Indochina und Assam gekannt. *M. fuscomaculata* ist eine Synonymie der *Euselates tonkinensis* Moser subsp. *formosana* Moser und *M. hopponus* der *Coelodera nigroscutellaris* Moser subsp. *formosana* Moser.

An dieser Stelle möchten wir den Herren Hauptmann a. D. Moser aus Ellrich im Harz und Dr. Ohaus aus Mainz unseren herzlichsten Dank für ihre Bemühungen aussprechen. Beide Herren haben in liebenswürdigsterweise Niijima während seines dortigen Aufenthaltes unterstützt, in dem sie erlaubten wertvolles Material zu untersuchen und bei der Bestimmung der Exemplare behilflich waren.

***Serica horishana* Niijima et Kinoshita n. sp.**

Taf. I, fig. 3, (♂) 4. (♀)

Fundort, Formosa: Horisha

Länge 8,2—11,4 Breite 4,3—5,5 mm.

Die Fühler sind gelbbraunlich, 10 gliedrig; der dreigliedrige Fächer ist beim Männchen sehr lang, fast doppelt so lang wie der Stiel. Der Körper ist länglich oval, dunkel braun, sehr schwach glänzend, die Grundfarbe der Flügeldecken ist rötlich braun; die Zwischenräume der Punktstreifen sind schwarz mit zerstreuten hellgelblichen Haaren, und haben weisse Haarflecken. Die Augen sind stark vortretend.

Der Kopfschild ist schwärzlich braun glänzend, fast so breit wie lang, Vorderrand leicht ausgerandet, fein dicht punktirt, zerstreut lang behaart mit deutlicher Naht. Stirn und Scheitel sind schwarz, fein punktirt, gelblich fein geschuppt mit wenigen langen bräunlichen Haaren spärlich besetzt. Das Halsschild ist schwarz etwas bräunlich scheinend, fast matt, oben grünlich metalisch glänzend, fein dicht punktirt, beide Oberseiten gleichmässig fein gelb geschuppt; beide Seiten nach vorne verschmälert, Vorderecken abgerundet, Hinterecken fast rechtwinklich etwas ausgezogen, an den Rändern lang beborstet. Das Schildchen ist etwas länglich, stumpf zugespitzt, Mitte schwarz, kahl, an den Seiten rotbräunlich, fein punktirt mit gelblichen Schüppchen. Die Flügeldecken sind deutlich punktirt gestreift, die Zwischenräume sind schwarz, schwach gewölbt, mit zerstreuten gelblichen Schuppenhärcchen. Beim Weibchen sind die Schuppenhärcchen punktartig zusammen gestellt und auf dem Zwischenraum in Reihen stehend, beim Männchen befinden sich die Haarflecken etwas vor der Mitte und an den Flügelspitzen. Die Seitenränder sind reihenartig beborstet. Das Pygidium ist fein dicht punktirt, in der Mitte einen

Längsstreifen aufweisend. Das Abdomen ist fein dicht punktirt, am Vorderrande sind feine Schuppenhäarchen vorhanden und einige lange Borsten. Die Hinterschenkel sind glänzend, fein punktirt, reihenartig behaart; nach vorne verjüngt. Die Hinterschienen sind schmal gestreckt, auf der Fläche mit vielen feinen Längsleisten. Der Enddorn ist wenig länger als das erste schlanke Tarsenglied.

Unsere Exemplare sind zwei Männchen und zwei Weibchen, sie sind sämtlich in Horisha gesammelt. Die weiblichen Exemplare sind grösser als die Männchen; auch sind die weissen Schuppenpunkte reihenartig gestellt und geben dünne Querlinien wogegen beim Männchen an den Stellen dicke Flecken zu finden sind.

Diese Art scheint der Beschreibung nach *Serica nigroguttata* Brenske sehr ähnlich zu sein. Weibliche Exemplare der letzteren Art wurden auch in Formosa gesammelt, jedoch hat unsere Art 10 gliedrige Fühler wogegen die andere nur 9 Glieder aufweist, ferner ist die Zeichnung der Flügeldecken eine andere.

Autoserica Saitoi Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. I. fig. 7, Taf. III, fig. 1.

Fundort, Formosa: Horisha (Saito coll. ♂ ♀)

Länge 6—6,5 Breite 4—4,5 mm.

Oben und unten gleichmässig dunkelbraun, matt, schwach opalisierend.

Das Clypeus ist stark glänzend, nach vorne verschmälert, Vorderrand aufgebogen, grob etwas runzlig punktirt, in der Mitte deutlich erhaben, Borstenpunkte fehlen. Die Stirne ist matt, sehr fein punktirt, mit wenigen Borsten an beiden Seiten. Das Halsschild ist vorne gerade, Vorderecke vorgezogen, an den Seiten nach vorn hin schwach gerundet, die Punktierung fein und bewimpert, die Seitenränder bräunlich beborstet. Das Schildchen ist verhältnismässig gross, zugespitzt, etwas heller getönt.

Der zweite Zwischenraum ist am breitesten dazu schwach gewölbt, der dritte ist viel schmaler und höher gewölbt, die Zwischenräume sind auf den oberen Streifen unpunktirt; auf den Punkten befinden sich winzige Härchen. Das Pygidium ist stumpf zugespitzt, fein punktirt und bewimpert an der Spitze mit wenigen Haaren versehen.

Die Flügeldecken haben reihenartig dicht punktirte Streifen und sind daneben zerstreut punktirt. Der Bauch ist fein punktirt, die Borstenreihen sind schwach erkennbar. Die Hinterschenkel sind opac, vor der Spitze leicht gebuchtet, die Borstenreihe ist schwach aber deutlich. Die Hinterschienen sind glänzend, glatt, sehr schwach zerstreut punktirt, aussen mit zwei Borstengruppen, der Enddorn ist fast so lang wie das erste Tarsenglied. Der Fühler ist neungliedrig, der Fächer ist beim Männchen etwas länger, beim Weibchen kürzer als der Stiel. Der Forceps ist wie

Taf. III. fig. I. zeigt.

Zwei Exemplare dieser Art wurden von Herrn Saito im Universitätswald in Formosa gesammelt und haben diese der Beschreibung nach viele Ähnlichkeit mit *A. laboriosa* Br. nur die Flügeldecken sind anders gebaut.

Autoserica takaoana Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. III, fig. 2

Fundort, Prov. Awa Mt. Takao (E. Gallois coll.)

Länge 10 Breite 6—6,5 mm.

Die Oberseite ist dunkelbraun bis schwarzbraun, wenig opalisierend, die Unterseite fast wie die Oberseite.

Der Clypeus ist glänzend, am Vorderrande ziemlich stark aufgebogen, fein aber nicht dicht punktiert, hinter dem Vorderrande gewölbt wenig beborstet. Die Stirn ist matt, die Punktierung ist sehr fein kaum merkbar mit einigen abstehenden gelblichen Borsten. Die Fühler sind zehngliedrig, der Fächer ist bei beiden Geschlechtern etwas kürzer als der Stiel. Das Halsschild ist von der Basis nach vorne verschmälert, fein zerstreut punktiert, die Vorderecken sind vorgezogen, die Hinterecken fast rechteckig. Beide Seiten sind mit wenigen Borsten besetzt. Das Schildchen ist wie das Halsschild fein punktiert. Die Flügeldecken zeigen linienartig gedruckte Streifen, welche fein einreihig punktiert sind; die Zwischenräume sind schwach gewölbt fast gleichmässig fein punktiert. Die Seitenränder sind einreihig stark beborstet.

Das Pygidium ist etwas weitläufig fein punktiert; an Vorderteil mit wenigen Borsten. Jedes Bauchsegment hat eine Querreihe von Borstenpunkten. Die Hinterhüften sind etwas stark punktiert und an den Seitenrändern mit Borsten besetzt. Die Hinterschenkel sind matt; vor dem Hinterrande und Vorderecken stehen einreihige Borstenpunkte. Die Hinterschienen sind glänzend, der Enddorn ist fast so lang wie das erste Tarsenglied. Die männliche Genitalia ist wie Taf. III. fig. 2.

Diese Art hat viel Ähnlichkeit mit *Auts. stridula* Brenske, aber sie unterscheidet sich durch die Skulptur der Flügeldecken.

Autoserica Uyei Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. I. fig. 8, Taf. III, fig. 3

Fundort, Oita (Uyei coll.)

Länge 10—10,5 Breite 6,5 mm.

Schwarzbraun, matt, die Zwischenräume der Flügeldecken glänzend.

Der Clypeus ist nach vorne verschmälert, vorne stark gerandet, schwach gebuchtet, oben glänzend, nach der Naht matt werdend, die Punktierung ist vorne stark nach der Naht hin feiner. Die Stirn ist matt, fein punktirt; die Naht ist schwach gebuchtet undeutlich, hat reihenartige Borstenhaaren neben den Augen. Das Halsschild ist an der Basis am breitesten nach vorne verschmälert, fein punktirt, der Vorderrand ist in der Mitte leicht vorgezogen, die Vorderecken sind auch etwas vorgezogen, an beider Seiten nach vorne beborstet. Das Schildchen ist dreieckig fein punktirt. Die Flügeldecken haben breit gedruckte Streifen welche matt, fast dreireihig dicht fein punktirt sind; die Zwischenräume sind viel schmaler als die Streifen, glänzend und zerstreut punktirt; die Seitenränder sind beborstet. Das Pygidium ist leicht gerundet und gewölbt, schwach punktirt, am Rande mit wenigen Borstenhaaren. Die Brust ist an beiden Seiten der Mittellinie bräunlich beborstet. Die Bauchsegmente mit je einer Borstenreihe versehen, das letzte Segment ist behaart. Der Fühler ist 10 gliedrig, der Fächer ist beim Männchen länger als der Stiel, beim Weibchen kürzer. Der Hinterschenkel ist glänzend spärlich fein punktirt, vor der Spitze schwach gebuchtet; die reihenartigen Borstenpunkte sind nicht dicht besetzt; die Hinterschienen sind verbreitert und haben zwei Borstengruppen am Aussenrande, der Enddorn ist etwas kürzer als das erste Tarsenglied. Die Forceps ist wie Taf. III, fig. 3.

Diese von Herrn Uyei in Prov. Oita gessammelte Art hat grosse Ähnlichkeit mit *A. stridula*, nur die Flügeldeckenzwischenräume sind ganz anders.

***Sericania fulgida* Nijima et Kinoshita n. sp.**

Taf. III, fig. 4

Fundort, Chuzenji bei Nikko (E. Gallois coll.)

Länge 8,5—9 Breite 4,5 mm.

Die Oberseite ist gelblich braun, der Bauch dunkelbraun glänzend ohne Reif, die Beine dunkelbraun. Die Fühler sind 9 gliedrig, der 4 gliedrige Fächer ist beim Männchen viel länger als der Stiel, wogegen der 3 gliedrige Fächer des Weibchens kürzer als der Stiel ist.

Der Kopf ist schwarz schwach glänzend. Der Clypeus ist nach vorn verschmälert, ohne Behaarung, der Vorderrand aufgebogen und schwach ausgebuchtet; der Querkiehl hinter dem Vorderrande ist nicht undeutlich. Die Punktierung ist stark und nach der Naht zu dichter. Die Stirn ist stärker und zerstreuter punktirt als der Clypeus; der Mittelkiehl ist beim Männchen deutlich, beim Weibchen nicht zu sehen. Der Hinterkopf ist glatt und glänzend ohne Punktierung. Das Halsschild ist oben schwarzbraun,

am Rande gelblich, stark aber nicht dicht punktirt. Die Seitenränder sind gebogen, die Mittellinie leicht vertieft. Das Schildchen ist dunkelbraun, länglich schildförmig, an beiden Seiten etwas dicht punktirt. Die Flügeldecken sind von der Basis nach der Spitze hin verbreitert ohne Behaarung, die Streifen sind unregelmässig punktirt. Die Zwischenräume sind stark gewölbt, oben nicht punktirt, die beiden an der Naht sind dunkel- oder schwarzbraun. Das Pygidium ist glänzend, nicht dicht punktirt, an den vorderen Randspitzen matt und gereift. Der Bauch ist dunkel bis schwarzbraun, glänzend gleichmässig weitläufig punktirt, ohne deutliche Borstenpunkte. Die Enddornen der Hinterschienen sind gleich lang, kürzer als das erste Tarsenglied.

Die von Herrn E. Gallois gesammelte Art ähnelt sehr mit *Autoserica fuscolineata*, aber diese ist viel kleiner und gelblich, auch die Genitalienform ist eine andere.

Sericania Galloisi Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. III, fig. 5

Fundort, Chuzenji bei Nikko (E. Gallois coll.)

Länge 10 Breite 5 mm.

Der Körper ist länglich, dunkelbraun, nicht glänzend; die Beine sind dagegen glänzend und bräunlich.

Der viergliedrige Fühlerfächer ist beim Männchen fast so lang wie der Stiel. Das innerste Fächerglied ist fast zweidrittel kürzer als die andern drei Glieder. Der Clypeus ist bräunlich, glänzend, fast gleich breit, die Vorderecken sind abgerundet. Der Vorderrand ist aufgebogen und wenig ausgebuchtet, dicht runzlig punktirt. Die Stirn ist schwärzlichbraun, hat einen Längskiel in der Mitte, und ist etwas weitläufiger als der Clypeus punktirt. Der Halsschild ist breit, oben sehr schwach glänzend, ziemlich dicht und grob punktirt, die Vorderecken sind vorgezogen, die Hinterecken rechtwinklig, an beiden Seiten mit nur wenig kurzen Borstenhaaren besetzt, die Mittellinie ist unvertieft. Der Schildchen ist länglich, stumpfzugespitzt, sehr schwach punktirt. Die Flügeldecken sind matt, etwas gereift, ohne Behaarung an den Schultern schwach beulenartig erhöht; die Streifen sind breit dicht fein punktirt. Die Zwischenräume sind schmal, wenig zerstreut punktirt. Das Pygidium ist matt, fein, dichtpunktirt, und hat kurze Borstenhaare. Das Abdomen ist viel dunkler als die Brust gefärbt, gleichmässig ziemlich dicht punktirt, ohne deutliche Borstenpunktreihen. Die Hinterschenkel sind schwach glänzend, etwas weitläufig punktirt, am Hinterrande ohne Borstenpunkte. Die Enddorne der Hinterschienen sind fast gleich lang, kürzer als das erste Tarsalglied.

Diese Art ist auch von Herrn E. Gallois in Chuzenji gesammelt worden; in

Grösse und Gestalt ist sie *Sericania fuscolineata* ähnlich, aber die oben beschriebene Art ist glanzlos und auch die männliche Genitalienbildung ist anders.

Lasiopsis formosanus Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. I. fig. 14, Taf. III, fig. 6

Fundort, Formosa: Horisha.

Länge 10,3—11,2 Breite 5,0—5,5 mm.

Der Körper ist länglich oval, gelbbraun, glänzend.

Der Kopf ist bräunlich, klein, mit dicken Punkten dicht besetzt. An der Stirn zwischen den Augen ist eine erhabene Querleiste. Der Clypeus ist breit, die Vorderseite desselben ist an der Mitte eingebogen, und der Vorderrand abgerundet, oben punktirt, Stirnnaht gerade. Der Halsschild ist bräunlich, glänzend, doppelt so breit als lang, die Vorderecken sind fast recht winklig, Hinterecken stumpf zugespitzt. Der Vorderrand ist fein gerandet, der Basalrand ist ausser der Mitte ebenso gerandet, mit seichten Ringpunkten unregelmässig zerstreut besetzt. Das Schildchen ist halbkreisförmig stumpf zugespitzt, bräunlich, glänzend, oben glatt mit wenigen kleinen Punkten. Die Flügeldecken sind gelblichbraun, glänzend, ausser der Naht sind drei Rippen auf der Scheibe, die äusserste Rippe ist sehr schwach, auf den Zwischenräumen sind die schwachen Ringpunkte dicht gestellt. Das Pygidium ist fast dreieckig, flach, oben mit Ringpunkten besetzt. Die Brust ist fein punktirt, gelblich dünn lang behaart. Jedes Bauchsegment ist auch fein punktirt, kurz fein zerstreut gelblich behaart. Die Beine sind gelblich braun, am Aussenrande der Vorderschienen sind drei Zähne, auf dem Innenrande steht ein Sporn und zwar zwischen dem ersten und zweiten Zahn gegenüber. Der Forceps ist wie Taf. III. fig. 6 zeigt.

Der Beschreibung nach ähnelt diese Art etwas *Lasiopsis Lederi* Reitt. von der nördlichen Mongolei, doch unterscheidet sie sich durch das unbehaarte Halsschild und eine völlig andere Punktirung desselben.

Brahmina ishigakiensis Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. I, fig. 18, Taf. III, fig. 7

Fundort, Ishigakijima

Länge 13,3 Breite 7,2 mm.

Der Körper ist rötlich dunkelbraun, glänzend, oben und unten gelblichweiss anliegend kurz borstenartig behaart.

Der Kopf ist schwärzlich braun, auf der Stirn dicht, sehr grob punktirt, mit

zerstreute gelbliche Borsten. Der Clypeus ist breit, bräunlich, stark glänzend, die Vorderecken sind abgerundet, die Vorderseite ist fast gerade und aufgebogen; oben stark runzlig punktirt. Die Naht läuft fast gerade und ist schwarz. Der Halsschild ist breit mit kleinen Ringpunkten dicht besetzt, gelblich dicht anliegend behaart. Die Vorderecken sind wenig vortretend fast rechtwinklig, die Hinterecken sind abgerundet; die Seiten sind in der Mitte stark ausgebogen nach vorne stark verschmälert, der Vorderrand ist ungerandet, die Seiten- und Basalrand sind stark bewimpert. Das Schildchen ist halbkreisförmig, dunkelbraun, auf der Mitte spärlich punktirt, mit langen, dünnen, gelblichen Haaren. Die Flügeldecken sind auch dunkelbraun, glänzend, oben mit seichten Ringpunkten besetzt, gelblich anliegend behaart, dagegen an den Seiten aufrecht stehend lang behaart. Drei kaum bemerkbare Rippen sind vorhanden. Das Pygidium ist fast dreieckig, fein dicht punktirt, gelblich dünn behaart, mit einigen zerstreuten Borstenhaaren besetzt. Die Spitze ist etwas gebuchtet. Die Brust ist mit dünnen, langen gelblichen Haaren dicht besetzt. Jedes Bauchsegment ist zerstreut fein punktirt, dicht anliegend und fast zweireihig aufrecht stehend lang behaart. Die Beine sind gelblichbraun, fein behaart, die Behaarung der Hinterschienen ist besonders lang und dicht. Die Vorderschienen tragen drei Seitenzähne, davon ist der erste klein, der Innendorn steht dem ersten Zahn gegenüber. Die Klauen sind an der Spitze tief eingeschnitten und nicht rechtwinklig. Die Fühler sind gelblichbraun, 10 gliederig, der dreigliedrige Fächer ist beim Männchen so lang wie der Stiel. Der Forceps ist wie Taf. III, fig. 7 zeigt.

Unsere Exemplare sind zwei männliche, sie sind von Herrn Hirayama auf der Insel Ishigaki die zu den Liu-Kiu Inseln gehört gesammelt worden.

Heptophylla formosana Nijima et Kinoshita n. sp.

Taf. I, fig 20, Taf. III, fig. 8

Fundort, Formosa; Horisha.

Länge 13,5—14 Breite 6,4—7 mm.

Länglich oval, nach hinten etwas erweitert, gelblichbraun, matt, die Rippen auf den Flügeldecken sind undeutlich bemerkbar.

Der Kopf ist rötlichbraun, glänzend. Der Clypeus ist kurz und breit, nach vorne abgerundet, stark glänzend, fein und dicht punktirt, der Vorderrand ist in der Mitte eingebuchtet, leicht aufwärts gebogen. Die Naht ist fast gerade und fein gefurcht. Die Stirn ist gross rundlich punktirt, dazwischen sind sehr feine unregelmässige Punkte, lang aufstehend zerstreut bräunlich borstenbehaart. Der Halsschild ist rötlich braun, doppelt so breit als lang, oben matt, fein punktirt, am Vorder und Seitenrande sind

lange gelblichbraune Borsten vorhanden. Das Schildchen ist flach und hat nur einige feine Punkte. Auf den Flügeldecken sind vier Rippen bemerkbar, die erste Rippe ist breit und deutlich, die ganze Oberfläche ist fast gleichmässig fein punktirt, am Seitenrande sind wenige lange gelbbraunliche Borsten. Die Brust ist glänzend, gelbbraunlich lang dicht behaart. Am Aussenrande der Vorderschienen sind drei Zähne und ein innerer Sporn. Der Fühler ist gelbbraunlich, der Fächer ist bei dem Männchen länger als der Stiel, 7gliederig, das dritte Fühlerglied ist lang, wenig kürzer als das Basalglied und hat einen grossen nach hinten gerichteten Zahn, das erste innerste Fächerglied ist ungefähr nur $\frac{2}{3}$ so lang wie die übrigen Glieder. Beim Weibchen ist der Fächer kürzer als der Stiel, 7gliederig, da aber die zwei inneren Glieder sehr klein sind erscheint er 5gliederig das dritte Fühlerglied hat keinen Zahn. Fig. 2 zeigt die Fühler. Der Forceps ist gebildet wie Taf. III, fig. 8 zeigt.

Von dieser Gattung ist bis jetzt als einzige Art *Heptophylla picea* Mots. beschrieben worden. Unsere neue Art ist mit dieser sehr ähnlich nur etwas grösser und oben matt, auch die Fühlerfächer und Forcepsbildung ist anders.

***Anomala holosericioides* Nijima et Kinoshita n. sp.**

Taf. II, fig. 11, Taf. III, fig. 9

Fundort, Formosa: Taihoku.

Länge 14,5 Breite 7,5—8 mm.

Anomala holosericea Fabr. ähnlich, aber kleiner und ohne Prosternalfortsatz; Oberseite lebhaft metallisch dunkelgrün. Zwischenräume der Flügeldecken dicht und gedrängt punktirt.

Der Clypeus ist gelblich braun, breit, grob und gedrängt punktirt; die Vorderecken sind abgerundet. Der Kopf ist dunkelgrün, die Stirn ist grob und sehr gedrängt punktirt, die Punkte sind teilweise in einander verflossen. Der Halsschild ist doppelt so breit als lang, lebhaft dunkelgrün, nur an beiden Seiten gelblich gesäumt grob gedrängt punktirt; die mittlere Längslinie ist undeutlich eingedrückt. Die Vorderecken sind spitz vortretend, die Hinterecken fast rechtwinklig. Das Schildchen ist halb kreisförmig oben grob am Vorderrande fein punktirt. Die Flügeldecken sind wie der Halsschild dunkelgrün gefärbt, alle drei Rippen sind schmal, die breiten Zwischenräume sind grob und gedrängt tief punktirt, matt aussehend. Das Pygidium ist glänzend grün nach dem Vorderteil hin gelblich gefärbt; fein nicht zusammenhängend punktirt, mit langen Borstenhaaren am Vorderrande. Die Bauchseite ist schwarz stark glänzend, mit grünlichem Schimmer, und zerstreuter feiner Punktirung, mit wenig dünnen Borstenhaaren. Die Fühler und Beine sind bräunlichgelb. Der Forceps ist wie Taf.

III, fig. 9; die beiden Parameren sind ziemlich lang vortretend.

Unsere Exemplare sind fünf, sie sind von Herrn Kato in Taihoku in Formosa gesammelt. Diese Art hat äusserlich viele Ähnlichkeit mit *Anomala holosericea* Fabr., doch ist sie durch die kleinere Gestalt gleich unterscheidbar, ferner ist die Unterseite besonders an der Brust fast unbehaart und auch die Forcepsbildung ist eine andere.

***Anomala Ishidai* Nijima et Kinoshita n. sp.**

Taf. II, fig. 2, Taf. III, fig. 10

Fundort, Formosa.

Länge 13,5 Breite 7 mm.

Anomala Motschulskyi Har. ähnlich, Körper bräunlich, die Flügeldecken etwas gelblich; die Brust dicht behaart.

Der Clypeus ist von den Seiten nach vorne etwas abgerundet, schwach aufgebogen, fein und dicht punktirt, die Naht ist in der Mitte schwach gebogen mit wenigen Borsten besetzt. Die Stirn ist wie der Clypeus dicht fein punktirt. Der Halsschild ist fast doppelt so breit als lang, stark glänzend und nach vorne etwas verschmälert, wie der Scheitel fein punktirt, die Vorderecken sind vortretend stumpfzugespitzt, auch ist der Halsschild von dem Vorderrande bis über zweidrittel der Mitte länglich gefurcht, die Seitengrübchen sind etwas gross. Das Schildchen ist hellgelb, stumpf zugespitzt fein spärlich punktirt. Die Flügeldecken sind glänzend braun etwas gelblich, an der Naht dunkel gefärbt, mit fünf Rippen auf jeder Fläche. Die Rippen sind unpunktirt, die Zwischenräume sind zerstreut punktirt. Der Epipleuralkiel der Flügelseiten ist nicht scharf und reicht bis zur Mitte. Das Pygidium ist gelblichbraun glänzend, an beiden Seiten dunkelbraun gefleckt, fein punktirt mit wenigen Borsten. Die Brust ist gelblich dicht lang behaart, am Bauchsegmente mit einreihigen Borstenpunkten. Die Fühlerfächer sind beim Männchen etwas kürzer als der Stiel. Der Vorderzahn der Vorderschienen ist gross, jedoch ist der nächste viel kleiner. Die Hinterschienen sind nach vorne verschmälert, der Enddorn ist kürzer als das erste Tarsalglied. Männliche Genitalienbildung ist wie Taf. III. fig. 10 zeigt.

Äusserlich ähnelt diese Art mit *Anomala Motschulskyi* und *rufocuprea*, nur sind die Rippen der Flügeldecken viel schärfer und die Gestalt des Halsschildes ist anders; der Forceps weist keine Ähnlichkeit auf.

***Phyllopertha formosana* Nijima et Kinoshita n. sp.**

Taf. II, fig. 15

Fundort, Formosa.

Länge 13 Breite 7 mm.

Phyllopertha pallidipennis Reitt. ähnlich, aber grösser und hat genaue Furchenstreifen auf den Flügeldecken; gelblichbraun mit grünlichem Kupferschimmer.

Der Clypeus ist gelblichbraun an der Naht schwärzlich, breit und kurz, beide Seiten parallellaufend, der Vorderrand ist gerade und aufgebogen, die Vorderecken sind abgerundet, dicht runzlich punktirt. Der Kopf ist schwarzbraun metallisch glänzend. Die Stirn ist wie der Clypeus dicht punktirt; der Scheitel ist stärker aber nicht dichter als die Stirn punktirt. Der Halsschild ist fast halb so lang wie breit, von der Mitte der Seiten nach vorne stark verschmälert, Hinterecken etwas zugespitzt, Vorderecken stumpf vortretend; die Scheibe gelblichbraun, oben grösstenteils schwärzlich gefleckt; die Punktirung ist stark aber nicht besonders dicht, an beiden Seiten lang dünn behaart. Das Schildchen ist schwarzbraun unregelmässig punktirt. Die Flügeldecken sind gelbbraun stark metallisch glänzend. Der Epipleuralkiel der Flügeldecken ist bis zur Mitte der beiden Seiten scharf ausgeprägt; der primäre Streifen ist seicht gefurchtet, der erste der drei Rippen ist am genauesten und unpunktirt.

Der erste Zwischenraum ist breit und hat zweierlei Punktirung, der zweite Zwischenraum ist zerstreut Punktirt und hat viele Quersfältchen. Das Pygidium ist breitreieckig, am Apex abgerundet, dunkelbraun, kupferig glänzend, fein runzlig punktirt, oben dünn an der Spitze lang weissbehaart. Unterseite ist schwarzbraun, kupferig glänzend; ziemlich stark punktirt, weissbehaart, das letzte und vorletzte Glied ist am Vorderrande gelbbraunlich gesäumt, die anderen Segmente sind an beiden Seiten gelbbraunlich gefleckt; die Brust ist dicht runzlig punktirt, lang weiss behaart. Die Beine sind gelblichbraun, Vorderschienen haben einen starken Enddorn und zwei kleine Zähne. Der Fühler ist neungliederig, der drei gliederiger Fächer ist schwarz, und fast halb so lang wie der Stiel, der Stiel ist gelblich, das fünfte Glied ist länger als das vorige, das sechste ist am kürzesten.

Unser Exemplar ist von Herrn R. Takahashi in Taihoku gesammelt, es ist nur ein Weibchen, aber des besonderen Körperbaues halber haben wir es als eine neue Art beschrieben.

本邦こがねむし類分布表(追加及訂正)		Sachalin.	Hokkaido.	Honshu.	Shikoku.	Kyushu.	Liukiu.	Formosa.	Korea.	
Sericinae.		樺太	北海道	本州	四国	九州	琉球	臺灣	朝鮮	
びらうどこがね 亞科										
<i>Serica thibetana</i> Brenske.	ちべつとびらうどこがね								—	Tibet.
<i>S. horishana</i> N. et K.	ほりしやびらうどこがね							—		
<i>Autoserica ovatula</i> Fairm.	ちやいろびらうどこがね							—	—	China.
<i>A. infusata</i> Moser.	すいろびらうどこがね							—	—	China.
<i>A. stridula</i> Brenske.	しなびらうどこがね							—		China.
<i>A. cariniceps</i> Moser.	てうせんかばいろびらうどこがね								—	
<i>A. laboriosa</i> Brenske.	たいなんくろびらうどこがね							—		China.
<i>A. gibbiventris</i> Brenske.	ひだびらうどこがね								—	China.
<i>A. Saitoi</i> N. et K.	さいとうびらうどこがね							—		
<i>A. takaoana</i> N. et K.	たかをびらうどこがね			—	—					
<i>A. Uyei</i> N. et K.	すじびらうどこがね					—				
<i>Sericania fuscolineata</i> Mots.	くろちやいろこがね			—					..	Ostsibirien.
<i>S. fulgida</i> N. et K.	つやちやいろこがね			—						
<i>S. Galloisi</i> N. et K.	がろあちやいろこがね			—						
Melolonthinae.										
こふきこがね 亞科										
<i>Apogonia chinensis</i> Moser.	しなかんしよこがね								—	China.
<i>A. Sauteri</i> Moser.								..		
<i>Cyphochilus insulanus</i> Moser.	しろこがね							—		
<i>Holotrichia lata</i> Brenske.	たいわんおほくろこがね							—		China.
<i>H. sichotana</i> Brenske.	けいじょうくろこがね								—	Sibirien.
<i>H. Titanis</i> Reitt.	おほちやいろこがね								—	Ussuri.
<i>H. Geilenkeuseri</i> Brenske.	がいれんけうせるこがね							—		China.
<i>Lasiopsis Sahlbergi</i> Mannerh.	ざーべるぐこがね							—		Daurien, Sibirien.
<i>L. formosanus</i> N. et K.	たいわんきこがね							—		
<i>Brahmina excisiceps</i> Moser.	あかちやこがね								—	China.
<i>Br. ishigakiensis</i> N. et K.	りうきうあかちやこがね						—			
<i>Sophrops striata</i> Brenske.	てうせんあかちやこがね								—	China.
<i>S. Heydeni</i> Brenske.	はいてんあかちやこがね								—	
<i>Trematodes tenebrioides</i> Pall.	ごみむしもどきこがね									Daurien, Mongolei, China.

こふきこがね(承前)		Sachalin.	太	樺	Hokkaido.	北海道	Honshiu.	本	州	Shikoku.	四	Kiushiu.	九州	琉	球	Formosa.	臺灣	Korea.	朝鮮
Heptophylla formosana N. et K. たいわんながちやこがね																—			
Hoplinae. あしながこがね亜科																			
Hoplia aureola Pall.	くろほしあしながこがね																—		Ostsibirien, Mongolei, China.
H. Reini Heyden.	らいにあしながこがね											..				—			
H. koreana Moser.																	..		
Ectinohoplia sulphuriventris (Dohrn) Redtb.																..			Honkong, Shanghai.
E. formosana Moser.																			
E. formosana Arrow.																	..		
Dichelomorpha Delauneyi Fleut.	でらうれいこがね															—			Annam.
Rutelinae. すじこがね亜科																			
Parastasia canaliculata Westw.	たいなんばらすたじあこがね															—			Philippinen.
P. formosana Ohaus.	たいわんばらすたじあこがね															—			
P. Ferrieri Nonfr.												..							
Anomala chamaeleon Fairm.	かめれをんこがね																—		Nordchina, Amur.
A. difficilis Waterh.	つやこがね					—		—		—									
A. corrugata Bates.	りうきうすじこがね													—	—				
A. inconcinna Bates.	くろちやすじこがね															—			
A. plagiicollis Fairm.	くろあしこがね																—		Ostsibirien, China: Peking bis Yunnan
A. pleurimargo Reitter.	きいろひめこがね											—					..		Nordchina.
A. polyanor Ohaus.	ひめすじこがね															—	—		
A. triangularis Schönf.	さんかくこがね													—					
A. palleola Gyll.																	..		Ostindien.
A. sinica Arrow.																	..		Süd-China.
A. aulax Wiedem.																	..		Süd-China.
A. fasciolata Ohaus.	きをびすじこがね																—		
A. Nijijinae Ohaus.	にいじますじこがね													—					
A. badia Ohaus.	たいわんちやいろすじこがね															—			

すじこがね亞科(承前)		Sachalin. 樺太	Hokkaido. 北海道	Honshu. 本州	Shikoku. 四国	Kiushiu. 九州	Liukiu. 琉球	Formosa. 臺灣	Korea. 朝鮮	
A. edentula Ohaus.	むしすじこがね						—	—		China, Tonkin.
A. phacogastra Ohaus.	たいなんすじこがね							—		
A. erubescens Ohaus.	くろひめすじこがね							—		
A. hoplocosmeta Ohaus.								..		
A. holosericioides N. et K.	ひめきんすじこがね							—		
A. dimidiata Hope.	いんどあなどうがね							—		India.
A. Ishidai N. et K.	いしだすじこがね							—		
A. castaneoventris Bates.	はらあかどうがね							—		
A. chloroterma Arrow.	おほしまどうがね					—	..			
A. cupripes Hope.	あかあしどうがね							—		Burma, Siam, Annam, Borneo, Malay, Peninsula.
A. xanthopleura Arrow.	りうきうどうがね						—	—		
Mimela splendens Gyll.	こがねむし			—		—			—	
var. corrusca Heyd.				—						
var. cyanicollis Ohaus.								—		
M. testaceoviridis Blanch.	きいろつやこがね							—	—	China.
M. excisipes Reitt.	たいわんつやこがね							—		Centr. China
Phyllopertha okiwaensis Ohaus.	たいわんせまだらこがね							—		
Ph. chalcoides Ohaus.	たいわんくろひめすじこがね							—		
Ph. formosana N. et K.	たいわんうすちやこがね							—		
Adoretus sinicus Burm.	しなちやいろこがね							—		China, Hinter-India, Java bis, Form. Hawai.
A. hirsutus Ohaus.	あらげちやいろこがね							—		Süchchina, Java.
A. formosanus Ohaus.	たいわんちやいろこがね							—		
Cetoniinae.										
はなむぐり亞科										
Dicranocephalus Adamsi Pasc.	てうせんつのこがね								—	Tsibet, Moupin, Westchina.
D. Bourgoini Pouil.	たいわんつのこがね							—		
Cosmiomorpha similis Fairm.	たいわんちやいろかなぶん							—		
var. nigra N. et K.							—			
Rhomborrhina fulvopilosa Moser.	げばねかなぶん							—		China: Canton.

はなむぐり 亞科(承前)		Sachalin. 樺太	Hokkaido. 北海道	Honshu. 本州	Shikoku 四國	Kiushu. 九州	Liukiu. 琉球	Formosa. 臺灣	Korea. 朝鮮	
Clinteria aeneofusca Bourg.	くろはなむぐり							—		
Macronota Perraudieri Fairm.	よつぼしゑぐり こがね							—		Indochina, Assam.
M. nigroscutellaris Mos. subsp. formosana Mos.	はつばうゑぐり こがね							—		
Euselates tonkinensis Moser.	ちやいろゑぐり こがね							—		Tonkin.
Potosia formosana Moser.	たいわんしろてんはなむぐり							—		
P. famelica Jans.	しなはなむぐり								..	Mongolei, Yunnan, China, Föng-tschou
Callynomes Davidis Fairm.	だびどほそこがね							--		Zentralchina.
Trichiinae. とらはなむぐり 亞科										
Trichius bifasciatus Moser.	たいわんとらはなむぐり							—		Tonkin.
T. cupreipes Bourg.								..		
T. diversicolor Bourg.								..		
T. lagopus Fairm.							..			
T. Ferriei Pouillaude.							..			

注意 一ハ標本ヲ有スルモノハ記載ノミノモノヲ示ス

和 名 索 引

あ

あかあしどうがね	頁 55
あかちやこがね	22
あかちやこがね屬	24
あしながこがね亞科	29
あらげちやいろこがね	63

い

いしだすじこがね	52, 86
いんどあなどうがね	51

う

うすちやこがね屬	59
----------	----

お

おほしまどうがね	54
おほちやいろこがね	18

か

かめれなんこがね	38
がいれんけうせるこがね	19
がろあちやいろこがね	15, 82

き

きいろつやこがね	57
きいろひめこがね	42
きおびすじこがね	44

く

くりんてりあ屬	66
くろあしこがね	41
くろちやいろこがね	13
くろちやすじこがね	40
くろはなむぐりもどき	70
くろひめすじこがね	49
くろほしあしながこがね	29

け

けいじょうくろこがね	17
げばれかなぶん	69

こ

こあをはなむぐり	73
こがねむし	35, 56
こすみをもるふあ屬	66
こふきこがね亞科	16
こみむしもどきこがね	27

さ

さいしうこがね	35
さいとうびろうどこがね	10
さんかくこがね	43
ざーるべるぐこがね	20

し

しなかんしょこがね	16
しなちやいろこがね	62
しなはなむぐり	72
しなびろうどこがね	6
しろこがね	16
しろてんはなむぐり屬	66

す

すじこがね亞科	33
すじびろうどこがね	12
すすいろびろうどこがね	6

た

たいなんすじこがね	48
たいなんばらすたじあこがね	36
たいなんびろうどこがね	8
たいわんうすちやこがね	61, 86
たいわんおほくろこがね	16
たいわんきこがね	21, 83
たいわんくろひめすじこがね	60
たいわんしろてんはなむぐり	71
たいわんせまだらこがね	59
たいわんちやいろかなぶん	68
たいわんちやいろこがね	64
たいわんちやいろすじこがね	46
たいわんつのがね	66
たいわんつやこがね	58

たいわんとらはなむぐり	74
たいわんながちやこがれ	28, 84
たいわんばらすたじあこがれ	37
たかをびろうどこがれ	11
たびどほそこがれ	73

ち

ちべつとびろうどこがれ	2
ちやいろびろうどこがれ	5
ちやいろゑぐりこがれ	65
ぢけるもるふあ屬	32

つ

つきがたまめこがれ	35
つやこがれ	34
つやちやいろこがれ	14

て

てうせんあかちやこがれ	24
てうせんかばいろびろうどこがれ	7
てうせんひめこがれ	34
てうせんひめすじこがれ	35
てうせんひめとらはなむぐり	75
てうせんつのこがれ	66
てらうれいこがれ	32

と

とうきようこがれ	34
とげひらたはなむぐり	76
とらはなむぐり亞科	74
とらはなむぐり屬	75
とれまとうです屬	26

に

にいじますじこがれ	45
-----------	----

は

はいでんあかちやこがれ	25
はなむぐり亞科	65
はらあかどうがれ	53
ばらすたじあ屬	35

ひ

ひだびろうどこがれ	9
ひめきんすじこがれ	50, 85
ひめすじこがれ	42
ひらたはなむぐり亞科	76
びろうどこがれ亞科	2

ほ

ほそすじこがれ	34
ほそはなむぐり	66
ほつほうゑぐりこがれ	66
ほりしやびろうどこがれ	3

む

むしすじこがれ	47
---------	----

よ

よつすじゑぐりこがれ	65
------------	----

ら

らいんあしながこがれ	30
らじなとりきうす屬	76
らじなぶしす屬	20

り

りうきうあかちやこがれ	23, 83
りうきうすじこがれ	39
りうきうどうがれ	56

ゑ

ゑぐりこがれ屬	65
---------	----

學 名 索 引

A

Adoretus formosanus Ohs.	64
Adoretus sinicus Burm.	62
Adoretus hirsutus Ohs.	63
Anomala aulacoides Ohs.	34
Anomala aulax Wied.	34
Anomala badia Ohs.	46
Anomala castaneiventris. H. Bates	53
Anomala chamaeleon Fairm.	38
Anomala chloroderma Arrow.	54
Anomala corrugata Bates.	39
Anomala cupripes Hope.	55
Anomala difficilis Waterh.	34
Anomala dimidiata Hope.	51
Anomala dubia Ball.	39
Anomala edentula Ohs.	47
Anomala erubescens Ohs.	49
Anomala fasciolata Ohs.	44
Anomala holosericioides N. et K.	50, 85
Anomala hoplocosmeta Ohs.	50
Anomala inconcinna Bates.	40
Anomala Ishidai N. et K.	52, 86
Anomala lucens Ballion	34
Anomala Niijimai Ohs.	45
Anomala palleola Gyll.	34
Anomala phaeogastra Ohs.	48
Anomala plagiicollis Fairm.	41
Anomala pleurimargo Reitter	34, 42
Anomala poecilochalcea Ohs.	34
Anomala polyanor Ohs.	35, 42
Anomala quelparta Okamoto.	35
Anomala sinica Arrow	34
Anomala triangularis Schönf.	43
Anomala xanthopleura Arrow.	56
Apogonia chinensis Moser.	16
Apogonia Sauteri Moser	17
Autoserica cariniceps Moser.	7
Autoserica castanea Arrow.	2
Autoserica gibbiventris Brenske.	9
Autoserica infusata Moser.	6
Autoserica japonica Mots.	2
Autoserica laboriosa Brenske.	8
Autoserica ovatula Fairm.	5
Autoserica Saitoi N. et K.	10, 79
Autoserica stridula Brenske.	6
Autoserica takaoana N. et K.	11, 80
Autoserica Uyei N. et K.	12, 80

B

Brahmina excisiceps Moser.	22
Brahmina Heydeni Brenske	25
Brahmina ishigakiensis N. et K.	23, 83
Brahmina striata Brenske	24

C

Callynemes Davidis Fairm.	73
Callynemes obsoletus Fairm.	66
Calopotisia formosana Moser.	71
Cetoniinae.	65
Chaetadoretus formosanus Ohs.	64
Chaetadoretus hirsutus Ohs.	63
Clienteria aeneofusca Bourg.	70
Cosmiomorpha similis Fairm.	68
var. nigra N. et K.	69
Cyphochilus insulanus Moser.	16

D

Dasyvalgus tuberculatus Lew	76
Dichelomorpha Burm.	32
Dichelomorpha Dejeania Fleut.	32
Dichelomorpha Delauneyi Fleut.	32
Dicranocephalus Adamsi Pasc.	66
Dicranocephalus Bourgoini Pouil.	67
Diplomala quelparta Okamoto.	35

E

Ectinohoplia	31
Ectinohoplia formosana Arrow.	32
Ectinohoplia formosana Moser.	32
Ectinohoplia sulphuriventris Redtb.	31
Euchlora castaneiventris H. Bates.	53
Euchlora chloroderma Arrow.	54
Euchlora cupripes Hope.	55
Euchlora xanthopleura Arrow.	56
Euselates tonkinensis Mos.	65

G

Gnorimus formosanus N. et M.	74
Gnorimus Otsukae N. et M.	75
Gnorimus septemdecimguttatus Snell. Vol.	75
Gnorimus subopacus Motsch.	75

H

Heptophylla formosana N. et K.	28, 84
Holotricha Geilenkeuseri Brenske.	19
Holotrichia lata Brenske.	16
Holotrichia pruinosa N. et K.	16
Holotrichia sichotana Brenske.	17
Holotrichia Titanis Reitt.	18

<i>Hoplia aureola</i> Pall.	29
<i>Hoplia duodecimpunctata</i> Ol.	29
<i>Hoplia Reini</i> Heyden.	30
<i>Hoplia koreana</i> Moser.	31
Hoplinae.	29

L

<i>Lasiopsis</i> Er.	20
<i>Lasiopsis formosanus</i> N. et K.	21, 83
<i>Lasiopsis Sahlbergi</i> Mannh.	20
<i>Lasiotrichius</i> Reitt.	76
<i>Lasiotrichius succinctus</i> Pall.	75
<i>Lepadoretus sinicus</i> Burm.	62

M

<i>Macronota formosana</i> N. et K.	65
<i>Macronota fuscomaculata</i> N. et K.	65
<i>Macronota hopponus</i> N. et M.	66
<i>Coelodera nigroscutellaris</i> Mos. subsp. <i>formosana</i> Mos.	66
<i>Macronota Perraudieri</i> Fairm.	65
Melolonthinae.	16
<i>Mimela concolor</i> Blanch.	57
<i>Mimela Davidis</i> Faim.	57
<i>Mimela excisipes</i> Reitt.	58
<i>Mimela fusania</i> Bates.	34
<i>Mimela Gaschkewitchi</i> Mots.	57
<i>Mimela Lathani</i> Hope.	57
<i>Mimela lucidula</i> Hope.	35, 57
<i>Mimela Simplex</i> H. Bts.	57
<i>Mimela splendens</i> Gyll.	35, 56
<i>Mimela surigera</i> Heyd.	57
<i>Mimela testaceoviridis</i> Blanch.	57
<i>Mimela testaceoviridis</i> Blanch, subsp. <i>chryseis</i> Bates.	58

O

<i>Oxycetonia jucunda</i> Falderm.	73
ab. <i>bealiae</i> Gory et Perch.	73
ab. <i>dolens</i> Kraatz.	73
ab. <i>Kuperi</i> Schaum.	73

P

<i>Parastasia bipunctata</i> Westw.	36
<i>Parastasia canaliculata</i> Westw.	36
<i>Parastasia Ferrieri</i> Nonfr.	38
<i>Parastasia formosana</i> Ohs.	37
<i>Parastasia rubrotessellata</i> Blanch.	36
<i>Parastasia</i> Westw.	35
<i>Paratrichius Doenitzi</i> Harold.	75
<i>Phyllopertha chalcoides</i> Ohs.	60
<i>Phyllopertha diversa</i> Waterh.	35, 59

<i>Phyllopertha formosana</i> N. et K.	61
<i>Phyllopertha maculicollis</i> Reitt.	35, 59
<i>Phyllopertha okiwaensis</i> Ohs.	59
<i>Phyllopertha</i> Stephen.	59
<i>Popillia comma</i> N. et M.	35
<i>Popillia insularis</i> Lew.	35
<i>Potosia aeneiventris</i> Kraats.	72
<i>Potosia atomaria</i> Fairm.	72
<i>Potosia famelica</i> Jans.	72
<i>Potosia famelica</i> Jans. subsp. <i>amurensis</i> Heyd.	73
<i>Proaetia inquinata</i> Arrow.	71
<i>Potosia formosana</i> Moser.	71
<i>Potosia mimula</i> Har.	72

R

Rutelinae.	33
<i>Rhizotrogus Sahlbergi</i> Mannerh.	20
<i>Rhomborrhina fulvopilosa</i> Mos.	69
subsp. <i>formosana</i> Mos.	70

S

<i>Scarabeus tenebrioides</i> Pall.	27
<i>Serica horishana</i> N. et K.	3, 78
<i>Serica ovatula</i> Brenske.	5
<i>Serica thibetana</i> Brenske.	2
<i>Sericania fulgida</i> N. et K.	14
<i>Sericania fuscolineata</i> Mots.	13
<i>Sericania Galloisi</i> N. et K.	15, 82
Sericinae.	2
<i>Sophrops</i> Fairm.	24
<i>Sophrops Heydeni</i> Brenske.	25
<i>Sophrops striata</i> Brenske.	24

T

<i>Torynorrhina fulvopilosa</i> Mos.	69
<i>Trematodes</i> Falderm.	26
<i>Trematodes Pallasii</i> Falderm.	27
<i>Trematodes tenebrioides</i> Pall.	27
Trichiinae.	74
<i>Trichius bifasciatus</i> Moser.	75
<i>Trichius cupreipes</i> Bourg.	75
<i>Trichius diversicolor</i> Bourg.	75
<i>Trichius Ferrieri</i> Pouillaude.	75
<i>Trichius lagopus</i> Fairm.	75
<i>Trichius septemdecimguttatus</i> Snell. Voll.	75
<i>Trichius succinctus</i> Pall.	75

V

Valginae.	76
<i>Valgus tuberculatus</i> Lew.	76

圖 版 説 明

第 一 圖 版 (Taf. I)

Fig.	Figure Name	Scientific Name	Page
1.	すすいろびろうどこがね	<i>Autoserica infuscata</i> Moser.	6
2.	ちやいろびろうどこがね	<i>Autoserica ovatula</i> Fairm.	5
3.	ほりしやびろうどこがね	<i>Serica horishana</i> N. et K. (♂)	3,78
4.	〃	<i>Serica horishana</i> N. et K. (♀)	3,78
5.	たいなんびろうどこがね	<i>Autoserica laboriosa</i> Brenske.	8
6.	ひだびろうどこがね	<i>Autoserica gibbiventris</i> Brenske.	9
7.	さいとうびろうどこがね	<i>Autoserica Saitoi</i> N. et K.	10,79
8.	すじびろうどこがね	<i>Autoserica Uyei</i> N. et K.	12,80
58.	がろあちやいろこがね	<i>Sericania Galloisi</i> N. et K.	15,82
59.	つやちやいろこがね	<i>Sericania fulgida</i> .	14,81
9.	くろちやいろこがね	<i>Sericania fuscolineata</i> Mots.	13
10.	けいじょうくろこがね	<i>Holotrichia sichotana</i> Brenske.	17
11.	おほちやいろこがね	<i>Holotrichia Titanis</i> Reitt.	18
12.	がいれんけうせるこがね	<i>Holotrichia Geilenkeuseri</i> Brenske.	19
13.	ざーべるぐこがね	<i>Lasiopsis Sahlbergi</i> Mannenh.	20
14.	たいわんきこがね	<i>Lasiopsis formosanus</i> N. et K.	21
15.	てうせんあかちやこがね	<i>Sophrops striata</i> Brenske.	24
16.	はいでんあかちやこがね	<i>Sophrops Heydeni</i> Brenske.	25
17.	あかちやこがね	<i>Brahmina excisiceps</i> Moser.	22
18.	りうきうあかちやこがね	<i>Brahmina ishigakiensis</i> N. et K.	23,83
19.	こみむしもどきこがね	<i>Trematodes tenebrioides</i> Pall.	27
20.	たいわんながちやこがね	<i>Heptophylla formosana</i> N. et K.	28,84
21.	しなかんしょこがね	<i>Apogonia chineasis</i> Moser.	16
22.	くろほしあしながこがね	<i>Hoplia aureola</i> Pall.	29
23.	らいんあしながこがね	<i>Hoplia Reini</i> Heyden.	30
24.	でらうれいこがね	<i>Dichelomorpha Delauneyi</i> Fleut.	32
25.	たいなんばらすたじあこがね	<i>Parastasia canaliculata</i> Westw.	36
26.	かめれなんこがね	<i>Anomala chamaeleon</i> Fairm.	38
27.	りうきうすじこがね	<i>Anomala corrugata</i> Bates.	39
28.	くろちやすじこがね	<i>Anomala innconcinna</i> Bates.	40
29.	くろあしこがね	<i>Anomala plagiicollis</i> Fairm.	41
30.	きいろひめこがね	<i>Anomala pleurimargo</i> Reitter.	42

第 二 圖 版 (Taf. II)

Fig. 1.	ひめすじこがね	<i>Anomala polyanor</i> Ohs.	42
2.	いしだすじこがね	<i>Anomala Ishidai</i> N. et K.	52,86
3.	さんかくこがね	<i>Anomala triangularis</i> Schönf.	43
4.	むしすじこがね	<i>Anomala edentula</i> Ohs.	47

5. くらひめすじこがれ	<i>Anomala erubescens</i> Ohs.	49
6. あかあしどうがれ	<i>Anomala cupripes</i> Hope.	55
7. おほしまどうがれ	<i>Anomala chloroderma</i> Arrow.	54
8. リうきうどうがれ	<i>Anomala xanthopleura</i> Arrow.	56
9. はらあかどうがれ	<i>Anomala castaneovenstris</i> Bates.	53
10. いんどあなどうがれ	<i>Anomala dimidiata</i> Hope.	51
11. ひめきんすじこがれ	<i>Anomala holosericioides</i> N. et K.	50,85
12. きいろつやこがれ	<i>Mimela testaceoviridis</i> Blanch.	57
13. たいわんつやこがれ	<i>Mimela excisipes</i> Reitt.	58
14. たいわんくらひめすじこがれ	<i>Phyllopertha chalcoides</i> Ohs.	60
15. たいわんうすちやこがれ	<i>Phyllopertha formosana</i> N. et K.	61
16. しなちやいろこがれ	<i>Adoretus sinicus</i> Burm.	62
17. あらげちやいろこがれ	<i>Adoretus hirsutus</i> Ohs.	63
18. たいわんちやいろこがれ	<i>Adoretus formosanus</i> Ohs.	64
19. たいわんつこのがれ	<i>Dicranoccephalus Bourgoini</i> Pouil. (♀)	67
20. 〃	<i>Dicranoccephalus Bourgoini</i> Pouil. (♂)	67
21. てうせんつこのがれ	<i>Dicranoccephalus Adamsi</i> Pasc.	66
22. くらはなむぐりもどき	<i>Clinteria aeneofusca</i> Bourg.	70
23. たいわんちやいろかなぶん	<i>Cosmiomorpha similis</i> Fairm.	68
24. たいわんしろてんはなむぐり	<i>Potosia formosana</i> Moser.	71
25. しなはなむぐり	<i>Potosia famelica</i> Jans.	72
26. けばねかなぶん	<i>Rhomborrhina fulvopilosa</i> Moser.	69
27. だひどほそこがれ	<i>Callynomes Davidis</i> Fairm.	73

第 三 圖 版 (Taf. III)

こがれむし類の雄交尾器 Forceps

Fig. 1. さいとうびらうどこがれ	<i>Autoserica Saitoi</i> N. et K.	10,79
2. たかをびらうどこがれ	<i>Autoserica takaoana</i> N. et K.	11,80
3. すじびらうどこがれ	<i>Autoserica Uyei</i> N. et K.	12,80
4. つやちやいろこがれ	<i>Sericania fulgida</i> N. et K.	14,81
5. がろあちやいろこがれ	<i>Sericania Galloisi</i> N. et K.	15,82
6. たいわんきこがれ	<i>Lasiopsis formosanus</i> N. et K.	21,83
7. リうきうあかちやこがれ	<i>Brahmina ishigakiensis</i> N. et K.	23,83
8. たいわんながちやこがれ	<i>Heptophylla formosana</i> N. et K.	28,84
9. ひめきんすじこがれ	<i>Anomala holosericioides</i> N. et K.	50,85
10. いしだすじこがれ	<i>Anomala (Euchlora) Ishidai</i> N. et K.	52,86
11. たいわんちやいろかなぶん	<i>Cosmiomorpha similis</i> Fairm.	68



1



2



3



4



5



6



7



8



58



59



9



10



11



12



13



14



15



16



17



18



19



20



21



22



23



24



25



26



27



28



29



30

